

逗子市介護保険事業計画策定

要介護認定者調査・介護者調査

結果報告書

平成 20 年 3 月

逗 子 市

目次

アンケート調査の概要

1	調査の目的	3
2	調査対象及び方法	3
	(1)調査対象	3
	(2)調査方法	3
3	回収状況	3
4	報告書を読む際の注意点	3

要介護認定者調査の集計結果

1	回答の前提	7
2	回答者の属性	8
	(1)性・年齢	8
	(2)自宅	11
	(3)心身の状況	13
	(4)介護保険料	20
	(5)介護者について	23
	(6)日常生活について	26
	(7)介護保険サービスの利用状況	30
3	介護保険サービス非利用の状況	33
4	在宅サービスの利用状況	35
	(1)ケアプランについて	35
	(2)ケアマネジャーについて	38
	(3)在宅サービスの利用状況・利用希望	40
	(4)在宅サービスの評価	47
	(5)支給限度額とサービスの利用	52
	(6)介護保険以外の希望サービス	58
	(7)介護保険施設等への入所・入居希望	60
5	施設への入所・入居状況	67
	(1)入所・入居の経緯	67
	(2)入所・入居施設への評価	70
	(3)希望する生活の場	72
	(4)ケアプランについて	74
6	サービス一般について	75
	(1)高齢者福祉サービス	75
	(2)相談について	77
	(3)医療と福祉にかかる費用	79
	(4)心配なこと・困っていること	84
7	意見（自由記述）	86
	(1)市の高齢者保健福祉サービスについて	86

(2)介護保険制度全般について	91
-----------------------	----

介護者調査の集計結果

1 介護者について	97
(1)介護者の状況	97
(2)介護者の属性	99
(3)要介護者との同居状況	103
2 要介護者について	104
(1)要介護者の現在の状況	104
(2)介護保険サービスの利用	109
3 在宅サービスの利用状況	110
(1)ケアプランについて	110
(2)ケアマネジャーについて	113
(3)在宅サービスの利用状況	116
4 施設への入所・入居状況	122
(1)ケアプランについて	122
(2)要介護認定調査	124
(3)入所・入居施設への評価	125
(4)希望する要介護者の生活の場	127
5 介護保険以外のサービスについて	129
(1)介護者支援サービス	129
(2)高齢者福祉サービス	134
(3)相談について	135
6 意見（自由記述）	136
(1)介護保険制度全般について	136
(2)市の高齢者保健福祉サービスや介護者のための支援策について	140

アンケート調査の概要

1 調査の目的

逗子市では、平成 21 年度以降の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するにあたり、基礎調査の一環として、サービスを利用する側（要支援・要介護認定者、介護者、一般高齢者）と提供する側（サービス提供事業所、介護支援専門員（ケアマネジャー））に対するアンケート調査を実施した。

本報告書は、そのうち、サービスを利用する立場にある要支援・要介護認定者（調査名は「要介護認定者調査」と略称）、その介護者に対する調査の結果をとりまとめたものである。

介護保険制度は、予防重視、地域密着型サービスの展開など、新たな時代を目指しつつある。市民が高齢期を安心して心豊かに過ごしていくためには、地域の中で、要支援・要介護期にあっても自立的に生活や健康づくりを実践していけるような環境づくり、サービス利用環境づくりが望まれる。

このような認識に立ち、要介護認定者調査、介護者調査では、日常生活の実態・実感、サービス利用の現状（サービス評価を含む）、今後の住まい方やサービスの利用意向などについて把握することを目的に実施した。

2 調査対象及び方法

(1) 調査対象

平成 19 年 11 月 1 日現在で逗子市在住の介護保険の要支援・要介護認定を受けている方及びその主な介護者

(2) 調査方法

抽出対象	: 調査対象者全員
抽出数	: 1,000 名
調査票の配布・回収方法	: 郵送による配布・回収（督促 1 回）
調査実施時期	: 平成 19 年 11 月 1 日～12 月 10 日

3 回収状況

調査対象者	配布数	有効回収票数	有効回収率
要介護認定者	1,000 票	604 票	60.4%
介護者	1,000 票	472 票	47.2%

4 報告書を読む際の注意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

要介護認定者調査の集計結果

1 回答の前提

回答者

最初にこの調査にご回答いただく方についておたずねします。(は1つ)

1. ご本人自らが回答

2. ご本人の回答を、別の方が代筆

3. ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答

【2、3とお答えの方におたずねします】

それは、ご本人からみてどなたですか。(は1つ)

1. 配偶者 3. 子ども(義理も含む) 5. 孫

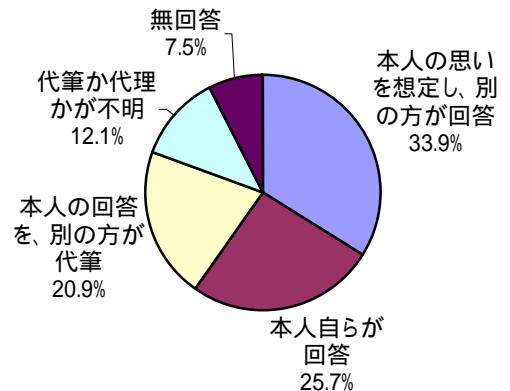
2. 親 4. 兄弟姉妹 6. その他()

本アンケートへの 回答者 については、「本人自らが回答」は25.7%で、「本人の思いを想定し、別の方が回答」33.9%、「本人の回答を、別の方が代筆」20.9%と、過半数のケースが本人以外の方の代理・代筆による回答となった。

本人以外が回答した404人について、回答者の内訳をみると、「子ども」が60.4%、「配偶者」が26.7%で、このほか「兄弟姉妹」4.7%、「親」2%、また「6.その他」のなかでは「甥姪」1.7%(回答者数=7人)などもみられた。

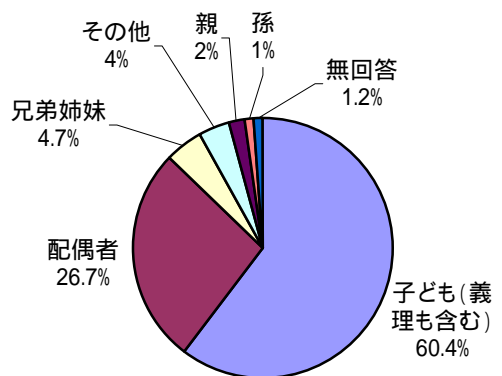
回答者

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	本人自らが回答	155	25.7
2	本人の回答を、別の方が代筆	126	20.9
3	本人の思いを想定し、別の方が回答	205	33.9
4	代筆か代理かが不明	73	12.1
	無回答	45	7.5
	全体	604	100



本人との関係

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	配偶者	108	26.7
2	親	8	2
3	子ども(義理も含む)	244	60.4
4	兄弟姉妹	19	4.7
5	孫	4	1
6	その他	16	4
	無回答	5	1.2
	全体	404	100



2 回答者の属性

(1)性・年齢

性別

問1 あなたの性別・年齢をおたずねします。

(1)性別

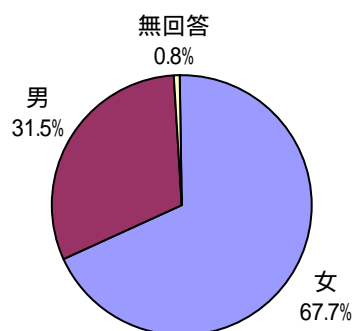
1.男

2.女

回答のあった要介護認定者の性別分布をみると、女性67.7%、男性31.5%と、女性：男性の割合が、概ね7：3となっている。

性別

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	男	190	31.5
2	女	409	67.7
	無回答	5	0.8
	全体	604	100



年齢別にみると、65～74歳では、男性48.6%、女性51.4%と性別により、それほど大きな差はみられないが、64歳以下、75歳以上については、女性が7割以上と高い割合を示している。

		全体	性別		
			男	女	無回答
合計		604	190	409	5
		100	31.5	67.7	0.8
年齢	64歳以下	22	6	16	0
		100	27.3	72.7	0
	65～74歳	72	35	37	0
	100	48.6	51.4	0	
75歳以上	507	148	356	3	
	100	29.2	70.2	0.6	
要介護度	要支援1、2	188	56	131	1
		100	29.8	69.7	0.5
	要介護1	67	24	43	0
		100	35.8	64.2	0
	要介護2、3	201	66	134	1
		100	32.8	66.7	0.5
要介護4、5	137	41	94	2	
	100	29.9	68.6	1.5	
知らない	4	2	2	0	
	100	50	50	0	
居住圏域	東部圏域	297	94	202	1
		100	31.6	68	0.3
	西部圏域	295	96	197	2
	100	32.5	66.8	0.7	

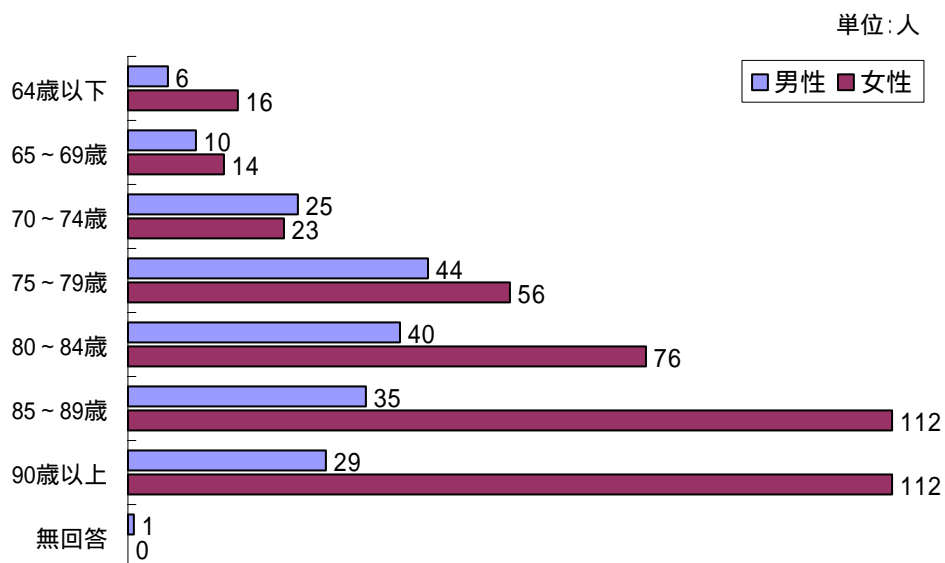
年齢

(2) 年齢			
1. 64歳以下	3. 70～74歳	5. 80～84歳	7. 90歳以上
2. 65～69歳	4. 75～79歳	6. 85～89歳	

年齢別（5歳階級）では、「85～89歳」24.3%、「90歳以上」23.7%、「80～84歳」19.4%、「75～79歳」16.6%と、後期高齢者が84%を占めている。

年齢

No.	カテゴリー名	回答者数	%	男性	%	女性	%
1	64歳以下	22	3.6	6	3.2	16	3.9
2	65～69歳	24	4	10	5.3	14	3.4
3	70～74歳	48	7.9	25	13.2	23	5.6
4	75～79歳	100	16.6	44	23.2	56	13.7
5	80～84歳	117	19.4	40	21.1	76	18.6
6	85～89歳	147	24.3	35	18.4	112	27.4
7	90歳以上	143	23.7	29	15.3	112	27.4
	無回答	3	0.5	1	0.5	0	0
	全体	604	100	190	100	409	100



要介護度別では、要支援 1、2 で 26.6%、要介護 1 で 34.3%が「85～89 歳」と比較的高くなっている。また、要介護 2、3 で 27.9%、要介護 4、5 で 33.6%が「90 歳以上」となっており、要介護度が高くなるほど、年齢の分布も高くなる傾向がみられる。

居住圏域別では、東部圏域で「85～89 歳」が 25.9%、西部圏域では「90 歳以上」が 25.8%と、他の年齢に比べて、やや高くなっている。

上段:人
下段:%

	全体	年齢								
		64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答	
合計	604	22	24	48	100	117	147	143	3	
	100	3.6	4	7.9	16.6	19.4	24.3	23.7	0.5	
要介護度	要支援1、2	188	6	6	19	38	38	50	30	1
		100	3.2	3.2	10.1	20.2	20.2	26.6	16	0.5
	要介護1	67	1	2	3	8	21	23	9	0
		100	1.5	3	4.5	11.9	31.3	34.3	13.4	0
	要介護2、3	201	6	12	17	28	37	44	56	1
		100	3	6	8.5	13.9	18.4	21.9	27.9	0.5
要介護4、5	137	9	4	6	23	20	29	46	0	
	100	6.6	2.9	4.4	16.8	14.6	21.2	33.6	0	
知らない	4	0	0	1	1	0	0	2	0	
	100	0	0	25	25	0	0	50	0	
居住圏域	東部圏域	297	11	12	31	48	54	77	64	0
		100	3.7	4	10.4	16.2	18.2	25.9	21.5	0
西部圏域	西部圏域	295	11	12	15	51	62	66	76	2
		100	3.7	4.1	5.1	17.3	21	22.4	25.8	0.7

(2) 自宅

家族構成

問2 あなたの住まい方についておたずねします。施設や病院等に入所・入院中の場合は、ご自宅の状況についてお答えください。

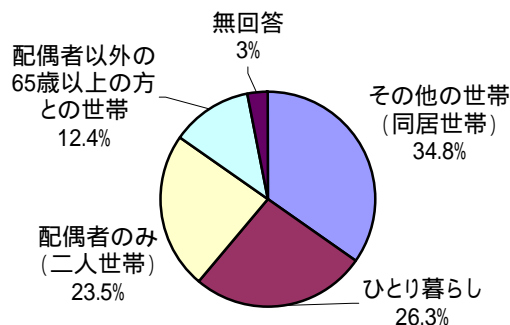
(1) 家族構成についておたずねします。(は1つ)

- 1. ひとり暮らし
- 2. 配偶者のみ(あなたと二人世帯)
- 3. 配偶者以外の65歳以上の方との世帯
- 4. その他の世帯(同居世帯)

家族構成 については、子ども等との「同居世帯」は34.8%、高齢者世帯が35.9%(夫婦二人23.5%、配偶者以外の65歳以上の方との世帯12.4%)、「ひとり暮らし」は26.3%である。

家族構成

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	ひとり暮らし	159	26.3
2	配偶者のみ(二人世帯)	142	23.5
3	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	75	12.4
4	その他の世帯(同居世帯)	210	34.8
	無回答	18	3
	全体	604	100



年齢別にみると、「ひとり暮らし」では75歳以上の割合が高く、65~74歳では「配偶者のみ」43.1%が最も高い。

要介護度別では、要介護度が高いほど、「同居世帯」の割合が高くなる傾向がみられる。

上段: 人
下段: %

		全体	家族構成				
			ひとり暮らし	配偶者のみ(二人世帯)	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	その他の世帯(同居世帯)	無回答
合計		604	159	142	75	210	18
		100	26.3	23.5	12.4	34.8	3
年齢	64歳以下	22	5	5	1	9	2
		100	22.7	22.7	4.5	40.9	9.1
	65~74歳	72	11	31	7	21	2
	100	15.3	43.1	9.7	29.2	2.8	
	75歳以上	507	143	106	67	178	13
	100	28.2	20.9	13.2	35.1	2.6	
要介護度	要支援1, 2	188	67	40	19	55	7
		100	35.6	21.3	10.1	29.3	3.7
	要介護1	67	25	19	3	19	1
		100	37.3	28.4	4.5	28.4	1.5
	要介護2, 3	201	47	45	27	77	5
		100	23.4	22.4	13.4	38.3	2.5
要介護4, 5	137	19	36	23	55	4	
	100	13.9	26.3	16.8	40.1	2.9	
知らない	4	1	0	2	1	0	
	100	25	0	50	25	0	
居住圏域	東部圏域	297	83	65	33	110	6
		100	27.9	21.9	11.1	37	2
	西部圏域	295	73	76	42	96	8
	100	24.7	25.8	14.2	32.5	2.7	

居住地区

(2)本市では、地理的条件や人口、交通事情その他社会的条件に配慮し、介護保険サービス等の利用に地域格差が生じることがないように、2か所の日常生活圏域を設定しています。

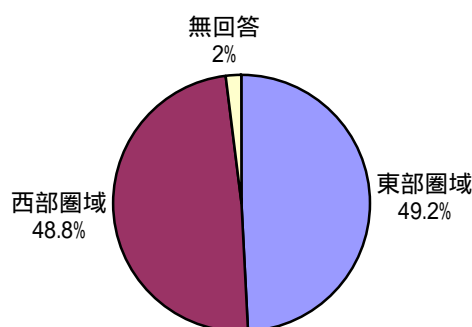
あなたのご自宅は、どちらの日常生活圏域にありますか。(は1つ)

1. 東部圏域 (・逗子3・4丁目
・桜山全域 ・沼間全域 ・池子全域)
2. 西部圏域 (・逗子1・2・5・6・7丁目
・山の根全域 ・久木全域 ・新宿全域
・小坪全域)

居住地区 について日常生活圏域別に聞いたところ、「東部圏域」49.2%、「西部圏域」48.8%であり、概ね5割ずつの分布がみられる。

居住圏域

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	東部圏域	297	49.2
2	西部圏域	295	48.8
	無回答	12	2
	全体	604	100



年齢別では、65～74歳の人では、「東部圏域」が59.7%、75歳以上の人では「西部圏域」が50.3%と、他の圏域に比べやや高くなっている。

		全体	居住圏域		
			東部圏域	西部圏域	無回答
合計		604	297	295	12
		100	49.2	48.8	2
年齢	64歳以下	22	11	11	0
		100	50	50	0
	65～74歳	72	43	27	2
	100	59.7	37.5	2.8	
75歳以上		507	243	255	9
		100	47.9	50.3	1.8
要介護度	要支援1、2	188	100	86	2
		100	53.2	45.7	1.1
	要介護1	67	30	35	2
		100	44.8	52.2	3
	要介護2、3	201	95	102	4
		100	47.3	50.7	2
要介護4、5	137	69	66	2	
	100	50.4	48.2	1.5	
知らない	4	2	2	0	
	100	50	50	0	

(3)心身の状況

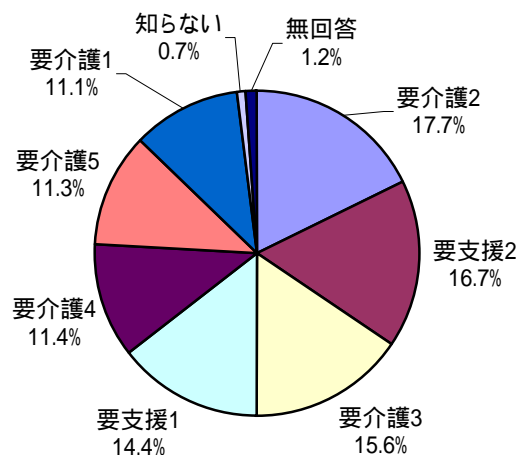
要介護度

問3 現在の、あなたの心身の状況についておたずねします。
 (1) あなたの要介護度は、現在どれにあてはまりますか。(は1つ)
 1. 要支援1 3. 要介護1 5. 要介護3 7. 要介護5
 2. 要支援2 4. 要介護2 6. 要介護4 8. 知らない

要介護度 については、「要支援1」14.4%と「要支援2」16.7%、そして「要介護2」17.7%と「要介護3」15.6%が、それぞれ全体の3割近くを占めている。「要介護1」は11.1%、「要介護4～5」は約2割となっている。

要介護度

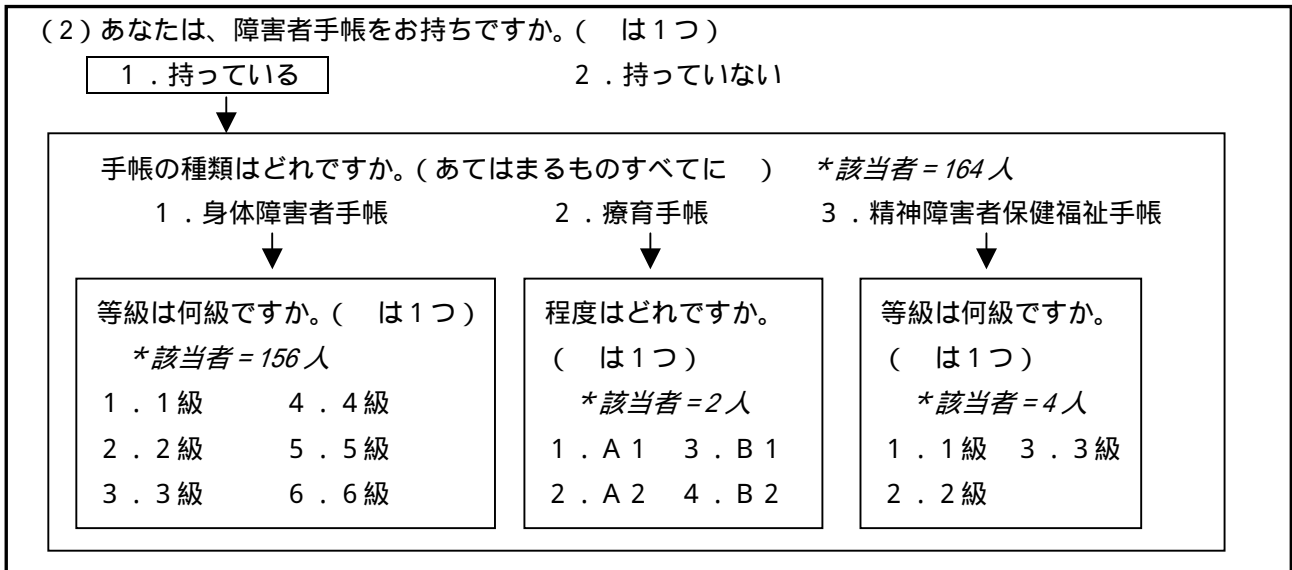
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	要支援1	87	14.4
2	要支援2	101	16.7
3	要介護1	67	11.1
4	要介護2	107	17.7
5	要介護3	94	15.6
6	要介護4	69	11.4
7	要介護5	68	11.3
8	知らない	4	0.7
	無回答	7	1.2
	全体	604	100



上段:人
下段:%

	全体	要介護度									
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	知らない	無回答	
合計	604	87	101	67	107	94	69	68	4	7	
	100	14.4	16.7	11.1	17.7	15.6	11.4	11.3	0.7	1.2	
年齢	64歳以下	22	3	3	1	1	5	3	6	0	0
		100	13.6	13.6	4.5	4.5	22.7	13.6	27.3	0	0
	65～74歳	72	11	14	5	15	14	3	7	1	2
		100	15.3	19.4	6.9	20.8	19.4	4.2	9.7	1.4	2.8
	75歳以上	507	73	83	61	91	74	63	55	3	4
		100	14.4	16.4	12	17.9	14.6	12.4	10.8	0.6	0.8
居住圏域	東部圏域	297	41	59	30	52	43	37	32	2	1
		100	13.8	19.9	10.1	17.5	14.5	12.5	10.8	0.7	0.3
	西部圏域	295	44	42	35	53	49	31	35	2	4
		100	14.9	14.2	11.9	18	16.6	10.5	11.9	0.7	1.4

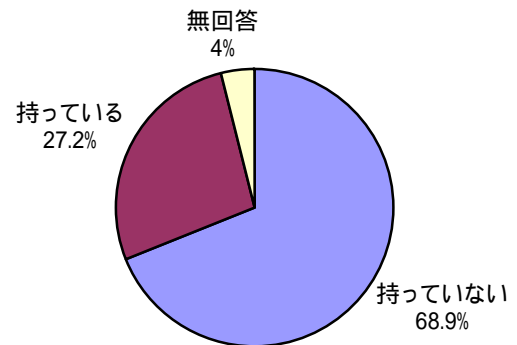
障害者手帳の所持



障害者手帳 は、「持っている」との回答が 27.2%みられる。「持っている」と答えた 164 人のうち、95.1%が「身体障害者手帳」所持者で、うち 66%が 1~2 級の重度者である。「精神障害者保健福祉手帳」は手帳所持者の 2.4%、「療育手帳」は 1.2%が所持している。

障害者手帳の所持

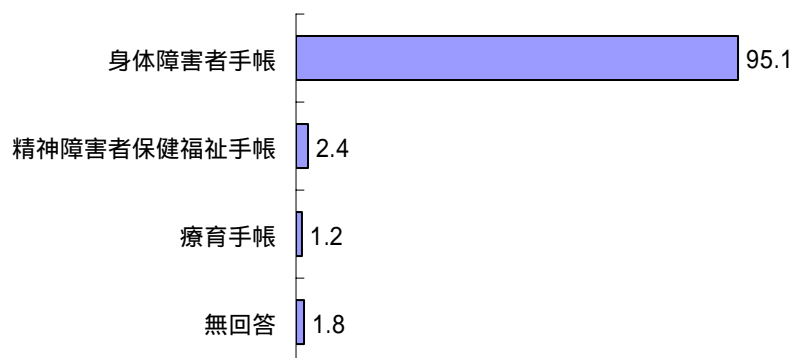
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	持っている	164	27.2
2	持っていない	416	68.9
	無回答	24	4
	全体	604	100



手帳の種類(複数回答) *該当者 = 164人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	身体障害者手帳	156	95.1
2	療育手帳	2	1.2
3	精神障害者保健福祉手帳	4	2.4
	無回答	3	1.8
	全体	164	100

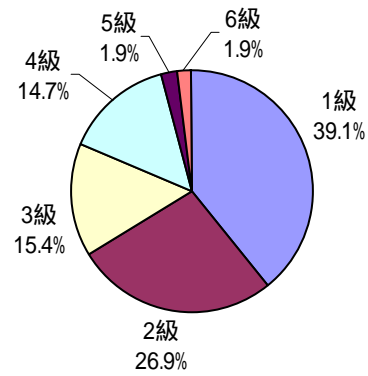
単位: %



1.身体障害者手帳の等級

* 該当者 = 156人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	1級	61	39.1
2	2級	42	26.9
3	3級	24	15.4
4	4級	23	14.7
5	5級	3	1.9
6	6級	3	1.9
	無回答	0	0
	全体	156	100



2.療育手帳の程度

* 該当者 = 2人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	A1	1	50
2	A2	0	0
3	B1	1	50
4	B2	0	0
	無回答	0	0
	全体	2	100

3.精神障害者手帳の等級

* 該当者 = 4人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	1級	1	25
2	2級	3	75
3	3級	0	0
	無回答	0	0
	全体	4	100

年齢別にみても、65～74歳の人の半数以上が障害者手帳所持者であることがわかる。64歳以下の人では45.5%、75歳以上の人では約2割の所持率となっている。

要介護度別では、「要支援1、2」「要介護1」で約2割、「要介護2、3」で約3割、「要介護4、5」では約4割の所持率である。

上段:人
下段:%

		全体	障害者手帳の所持		
			持っている	持っていない	無回答
合計		604	164	416	24
		100	27.2	68.9	4
年齢	64歳以下	22	10	12	0
		100	45.5	54.5	0
	65～74歳	72	41	31	0
	100	56.9	43.1	0	
75歳以上		507	111	372	24
		100	21.9	73.4	4.7
要介護度	要支援1、2	188	40	139	9
		100	21.3	73.9	4.8
	要介護1	67	13	51	3
		100	19.4	76.1	4.5
	要介護2、3	201	55	142	4
		100	27.4	70.1	2
要介護4、5	137	53	77	7	
	100	38.7	56.2	5.1	
知らない	4	0	4	0	
	100	0	100	0	
居住圏域	東部圏域	297	78	208	11
		100	26.3	70	3.7
	西部圏域	295	84	199	12
	100	28.5	67.5	4.1	

病気やけがの治療状況

(3) あなたは、病気やけがで治療を受けていますか。(あてはまるものすべてに)

1. 最近1年間で、2週間以上の入院経験がある 4. 現在往診を受けている
 2. 現在入院中 5. 特に医者にはかかっていない
 3. 現在通院中

【「3. 現在通院中」とお答えの方におたずねします。】

どのような方法で通院していますか。(あてはまるものすべてに)

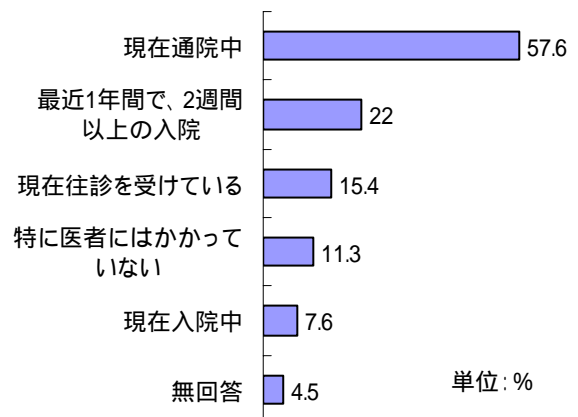
1. 徒歩(自力歩行・杖歩行など) 5. 民間による移送サービス
 2. 車いす 6. 特殊車両(ストレッチャーや車いすで乗れるもの)
 3. 自家用車(家族が運転) 7. その他()
 4. タクシー

病気やけがの治療状況 について聞いてみたところ、「現在通院中」が57.6%、「現在往診を受けている」15.4%、「現在入院中」7.6%で、現在受療中の人が多いことがわかった。「最近1年間で、2週間以上の入院経験がある」も22%みられる。「特に医者にはかかっていない」は11.3%にとどまっている。

「現在通院中」と答えた348人に対して 通院方法 を聞いたところ、「自家用車(家族が運転)」39.1%、「タクシー」34.8%、「徒歩」27.6%の順に多い。このほか、「民間による移送サービス」18.1%、「車いす」11.5%、また「その他」のなかでは、「バス」8.6%、「電車」3.7%がみられる。

病気やけがの治療状況(複数回答)

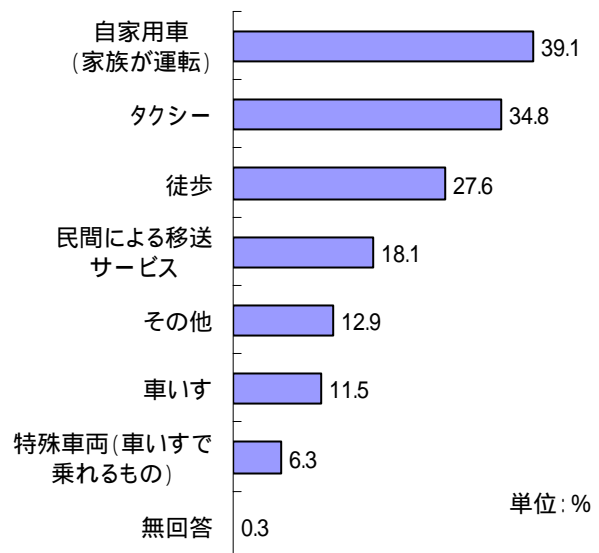
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	最近1年間で、2週間以上の入院	133	22
2	現在入院中	46	7.6
3	現在通院中	348	57.6
4	現在往診を受けている	93	15.4
5	特に医者にはかかっていない	68	11.3
	無回答	27	4.5
	全体	604	100



通院方法(複数回答)

* 該当者 = 348人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	徒歩	96	27.6
2	車いす	40	11.5
3	自家用車(家族が運転)	136	39.1
4	タクシー	121	34.8
5	民間による移送サービス	63	18.1
6	特殊車両(車いすで乗れるもの)	22	6.3
7	その他	45	12.9
	無回答	1	0.3
	全体	348	100



「特に医者にはかかっていない」の比率が比較的高いのは、75歳以上の12.8%である。64歳以下の45.5%が「最近1年間で、2週間以上の入院経験がある」と答えている。

要介護度別では、要支援1、2の約8割、要介護1の約7割が「現在通院中」であり、他の層に比べ高い割合を示している。

上段:人
下段:%

		全体	病気やけがの治療状況(複数回答)					無回答
			最近1年間で、2週間以上の入院	現在入院中	現在通院中	現在往診を受けている	特に医者にはかかっていない	
合計		604	133	46	348	93	68	27
		100	22	7.6	57.6	15.4	11.3	4.5
年齢	64歳以下	22	10	1	12	4	0	1
		100	45.5	4.5	54.5	18.2	0	4.5
	65～74歳	72	16	3	50	10	3	4
	100	22.2	4.2	69.4	13.9	4.2	5.6	
	75歳以上	507	107	40	285	79	65	22
		100	21.1	7.9	56.2	15.6	12.8	4.3
要介護度	要支援1、2	188	32	3	153	18	8	4
		100	17	1.6	81.4	9.6	4.3	2.1
	要介護1	67	10	3	48	5	9	2
		100	14.9	4.5	71.6	7.5	13.4	3
	要介護2、3	201	54	15	108	37	25	13
		100	26.9	7.5	53.7	18.4	12.4	6.5
	要介護4、5	137	35	23	33	31	25	8
		100	25.5	16.8	24.1	22.6	18.2	5.8
	知らない	4	2	0	2	1	0	0
		100	50	0	50	25	0	0
居住圏域	東部圏域	297	59	16	181	39	36	19
		100	19.9	5.4	60.9	13.1	12.1	6.4
	西部圏域	295	74	26	162	53	30	7
		100	25.1	8.8	54.9	18	10.2	2.4

健康のために行いたいこと

(4) あなたが、お体の状態を良くするために行いたいことはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに)

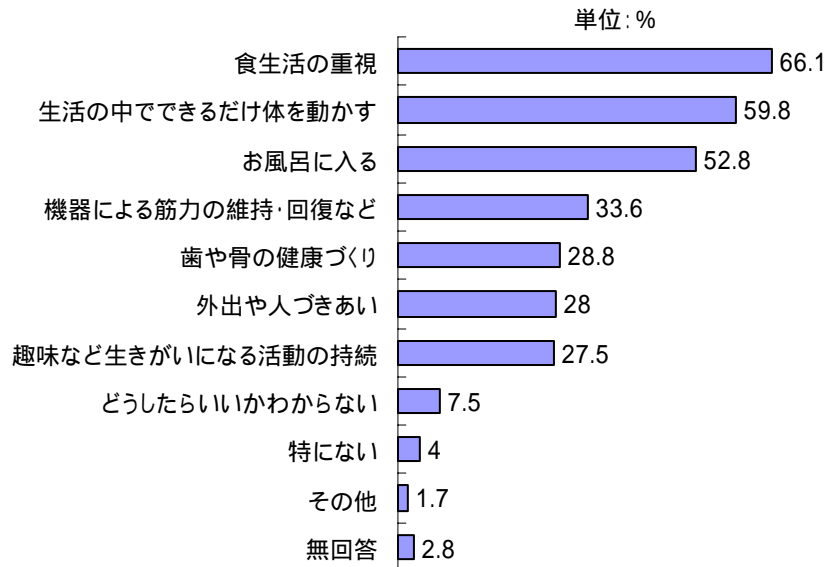
- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 食生活の重視 (食事の量、パランスのよい食べ合わせなど) | 5. 生活の中でできるだけ体を動かすこと |
| 2. お風呂に入る | 6. 外出や人づきあい |
| 3. 歯や骨の健康づくり | 7. 趣味など生きがいになる活動の持続 |
| 4. リハビリテーション機器による筋力の維持・回復など | 8. どうしたらよいかわからない |
| | 9. その他 () |
| | 10. 特にない |

健康のために行いたいこと としては、66.1%が「食生活の重視」、59.8%が「生活の中でできるだけ体を動かす」であり、次いで「お風呂に入る」52.8%、「リハビリテーション機器による筋力の維持・回復など」33.6%、「歯や骨の健康づくり」28.8%、「外出や人づきあい」28%、「趣味など生きがいになる活動の持続」27.5%となっている。

「どうしたらよいかわからない」は7.5%みられた。

健康のために行いたいこと(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	食生活の重視	399	66.1
2	お風呂に入る	319	52.8
3	歯や骨の健康づくり	174	28.8
4	リハビリ機器による筋力の維持・回復など	203	33.6
5	生活の中でできるだけ体を動かす	361	59.8
6	外出や人づきあい	169	28
7	趣味など生きがいになる活動の持続	166	27.5
8	どうしたらよいかわからない	45	7.5
9	その他	10	1.7
10	特にない	24	4
	無回答	17	2.8
	全体	604	100



年齢別では、64歳以下よりも、65歳以上の層で、全体的に高い割合を示している。また、64歳以下では、「どうしたいかわからない」13.6%で、他の年代に比べ高くなっている。

要介護度別では、要支援1、2と要介護1で、全体的に割合が高くなっている。

居住圏域別では、「リハビリテーション機器による筋力の維持・回復など」と「外出や人づきあい」で、東部圏域のほうが若干高い割合を示している。

上段:人
下段:%

		健康のために行いたいこと(複数回答)											
		食生活の重視	お風呂に入る	歯や骨の健康づくり	機器による筋力の維持・回復など	生活の中でできるだけ体を動かす	外出や人づきあい	趣味など活動の持続	どうしたらいいかわからない	その他	特にない	無回答	
合計	604	399	319	174	203	361	169	166	45	10	24	17	
	100	66.1	52.8	28.8	33.6	59.8	28	27.5	7.5	1.7	4	2.8	
年齢	64歳以下	22	11	9	3	11	13	4	5	3	0	1	2
		100	50	40.9	13.6	50	59.1	18.2	22.7	13.6	0	4.5	9.1
	65～74歳	72	46	38	25	35	45	25	24	6	1	3	2
		100	63.9	52.8	34.7	48.6	62.5	34.7	33.3	8.3	1.4	4.2	2.8
	75歳以上	507	340	271	146	155	302	140	137	35	9	20	13
		100	67.1	53.5	28.8	30.6	59.6	27.6	27	6.9	1.8	3.9	2.6
要介護度	要支援1、2	188	142	107	70	59	127	76	81	6	3	4	0
		100	75.5	56.9	37.2	31.4	67.6	40.4	43.1	3.2	1.6	2.1	0
	要介護1	67	47	30	24	21	47	23	23	5	1	0	0
		100	70.1	44.8	35.8	31.3	70.1	34.3	34.3	7.5	1.5	0	0
	要介護2、3	201	125	104	41	70	128	53	49	20	5	6	4
		100	62.2	51.7	20.4	34.8	63.7	26.4	24.4	10	2.5	3	2
要介護4、5	137	77	72	36	49	53	12	8	11	1	14	13	
	100	56.2	52.6	26.3	35.8	38.7	8.8	5.8	8	0.7	10.2	9.5	
知らない	4	3	3	2	2	2	2	2	2	0	0	0	
	100	75	75	50	50	50	50	50	50	0	0	0	
居住圏域	東部圏域	297	202	164	88	104	175	94	81	17	6	13	11
		100	68	55.2	29.6	35	58.9	31.6	27.3	5.7	2	4.4	3.7
	西部圏域	295	192	152	83	94	179	72	79	28	4	11	6
		100	65.1	51.5	28.1	31.9	60.7	24.4	26.8	9.5	1.4	3.7	2

(4)介護保険料

介護保険料の負担者

問4 あなたの介護保険料についておたずねします。

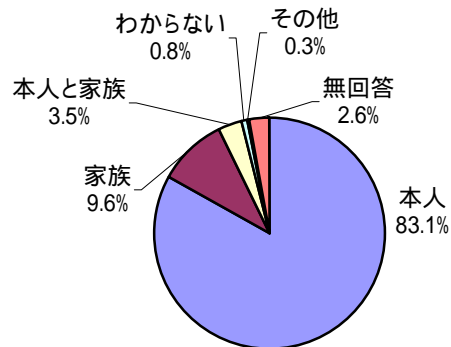
(1) 介護保険料は、どなたがご負担していますか。(は1つ)

1. 本人 2. 家族 3. 本人と家族 4. その他 () 5. わからない

40歳以上の市民全員が支払う 介護保険料の負担者 については、「本人」が83.1%と高率で、「家族」は9.6%、「本人と家族」が3.5%である。

介護保険料の負担者

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	本人	502	83.1
2	家族	58	9.6
3	本人と家族	21	3.5
4	その他	2	0.3
5	わからない	5	0.8
	無回答	16	2.6
	全体	604	100



「本人」以外で、「家族」の割合が高いのは、64歳以下で22.7%、要介護2、3で13.4%、そして要介護4、5の13.9%である。

上段:人
下段:%

		全体	介護保険料の負担者					
			本人	家族	本人と家族	その他	わからない	無回答
合計		604	502	58	21	2	5	16
		100	83.1	9.6	3.5	0.3	0.8	2.6
年齢	64歳以下	22	14	5	0	0	0	3
		100	63.6	22.7	0	0	0	13.6
	65～74歳	72	60	6	4	1	0	1
		100	83.3	8.3	5.6	1.4	0	1.4
	75歳以上	507	427	47	17	1	4	11
		100	84.2	9.3	3.4	0.2	0.8	2.2
要介護度	要支援1、2	188	166	8	5	2	2	5
		100	88.3	4.3	2.7	1.1	1.1	2.7
	要介護1	67	59	4	3	0	0	1
		100	88.1	6	4.5	0	0	1.5
	要介護2、3	201	160	27	5	0	1	8
		100	79.6	13.4	2.5	0	0.5	4
要介護4、5	137	108	19	8	0	1	1	
	100	78.8	13.9	5.8	0	0.7	0.7	
知らない	4	4	0	0	0	0	0	
	100	100	0	0	0	0	0	
居住圏域	東部圏域	297	249	30	9	1	1	7
		100	83.8	10.1	3	0.3	0.3	2.4
	西部圏域	295	241	28	12	1	4	9
		100	81.7	9.5	4.1	0.3	1.4	3.1

介護保険料の支払額の認識

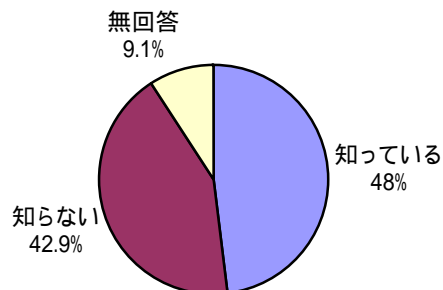
(2) 納めている額がいくらかご存じですか。(は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

介護保険料の支払額の認識 について聞いたところ、「知っている」は48%、「知らない」も42.9%みられる。

介護保険料支払額の認識

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	知っている	290	48
2	知らない	259	42.9
	無回答	55	9.1
	全体	604	100



年齢別にみると、64歳以下では、「知っている」が40.9%と低い割合になっており、他方、65～74歳では55.6%と高い割合になっている。

要介護度別では、要支援1、2で「知っている」の割合が高く、要介護2、3では37.3%にとどまっている。

介護保険料の負担者が家族である場合は、本人や本人と家族の場合に比べ、「知らない」の割合が高くなっている。

		全体	介護保険料支払額の認識		
			知っている	知らない	無回答
合計		604	290	259	55
		100	48	42.9	9.1
年齢	64歳以下	22	9	9	4
		100	40.9	40.9	18.2
	65～74歳	72	40	24	8
	100	55.6	33.3	11.1	
75歳以上		507	240	225	42
		100	47.3	44.4	8.3
要介護度	要支援1、2	188	118	52	18
		100	62.8	27.7	9.6
	要介護1	67	29	33	5
		100	43.3	49.3	7.5
	要介護2、3	201	75	110	16
		100	37.3	54.7	8
要介護4、5		137	64	60	13
		100	46.7	43.8	9.5
知らない		4	1	2	1
		100	25	50	25
介護保険料の負担者	本人	502	258	209	35
		100	51.4	41.6	7
	家族	58	18	38	2
		100	31	65.5	3.4
	本人と家族	21	13	5	3
		100	61.9	23.8	14.3
	その他	2	1	1	0
		100	50	50	0
わからない	5	0	5	0	
	100	0	100	0	

上段:人
下段:%

介護保険料の支払額の負担感

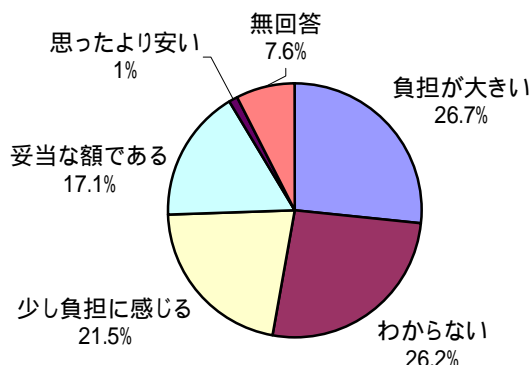
(3) 介護保険料の支払額について、どのように感じですか。(1 は 1 つ)

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| 1. 負担が大きい | 3. 妥当な額である | 5. わからない |
| 2. 少し負担を感じる | 4. 思ったより安い | |

介護保険料の支払額の負担感 については、約 5 割 (48.2%) が『負担』と感じている (「負担が大きい」26.7%、「少し負担を感じる」21.5%) ことがわかった。「わからない」との回答も 26.2%みられる。「妥当な金額である」は 17.1%、「思ったより安い」は 1%にとどまっている。

介護保険料の支払額の負担感

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	負担が大きい	161	26.7
2	少し負担を感じる	130	21.5
3	妥当な額である	103	17.1
4	思ったより安い	6	1
5	わからない	158	26.2
	無回答	46	7.6
	全体	604	100



年齢別では、負担に感じている人の割合は、65～74 歳で最も高くなっている。

介護保険料の負担者が本人である場合、「妥当な金額である」が高い割合であるが、家族が負担している場合や、本人と家族で負担している場合は、「負担が大きい」が最も多い。

上段:人
下段:%

		全体	介護保険料の支払額の負担感					無回答
			負担が大きい	少し負担に感じる	妥当な額である	思ったより安い	わからない	
合計		604	161	130	103	6	158	46
		100	26.7	21.5	17.1	1	26.2	7.6
年齢	64歳以下	22	3	4	3	0	8	4
		100	13.6	18.2	13.6	0	36.4	18.2
	65～74歳	72	30	18	10	0	11	3
	100	41.7	25	13.9	0	15.3	4.2	
75歳以上		507	128	108	89	6	138	38
		100	25.2	21.3	17.6	1.2	27.2	7.5
居住圏域	東部圏域	297	85	57	52	5	75	23
		100	28.6	19.2	17.5	1.7	25.3	7.7
西部圏域		295	74	71	49	1	77	23
		100	25.1	24.1	16.6	0.3	26.1	7.8
介護保険料の負担者	本人	502	137	113	94	6	129	23
		100	27.3	22.5	18.7	1.2	25.7	4.6
	家族	58	16	10	5	0	21	6
		100	27.6	17.2	8.6	0	36.2	10.3
	本人と家族	21	8	7	3	0	2	1
		100	38.1	33.3	14.3	0	9.5	4.8
その他	2	0	0	0	0	2	0	
	100	0	0	0	0	100	0	
わからない	5	0	0	0	0	4	1	
	100	0	0	0	0	80	20	

(5) 介護者について

主な介護者と介護者の状況

問5 あなたの主な介護者についておたずねします。介護者が複数の場合はどなたか1名を決めてお答えください。入所・入院中の方はご自宅での状況をお答えください。

(1) あなたの主な介護者はどなたですか。(は1つ)

1. 配偶者 3. 別居の家族 5. 施設の職員 7. 介護者はいない
2. 同居の家族 4. その他の親族 6. その他()

▶(2) 主な介護者の状況についてお知らせください。(あてはまるものすべてに)

1. 特に問題はない 5. 仕事のために十分介護ができない
2. 高齢である 6. 子育てのために十分介護ができない
3. 病弱である 7. ほかに介護しなければならない人がいる
4. 介護者も要介護認定を受けている 8. その他の問題がある()

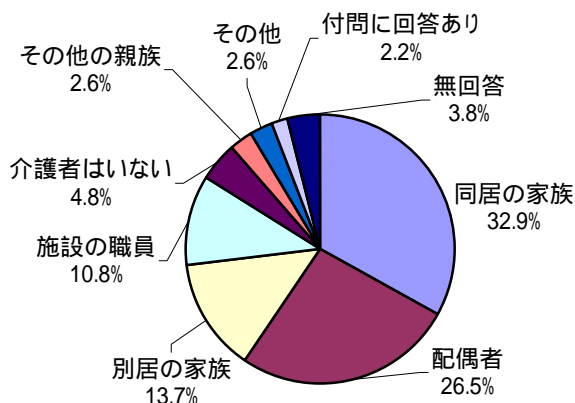
主な介護者 について聞いたところ、「同居の家族」32.9%、「配偶者」26.5%、その他の家族・親族 16.3%(別居の家族 13.7%、その他の親族 2.6%)の順で多くみられた。他には「施設の職員」10.8%、また「介護者はいない」も 4.8%であった。

主な介護者が身内である場合(471人) その状況を見ると、介護者も「高齢である」38.2%、「仕事のため十分介護できない」22.9%が高い割合になっている。

「特に問題はない」は27%であるが、「病弱である」16.6%、「その他の問題がある」8.3%、「他にも介護しなければならない人がいる」5.9%とあるなど、負担を抱えているケースが少なくない。

主な介護者

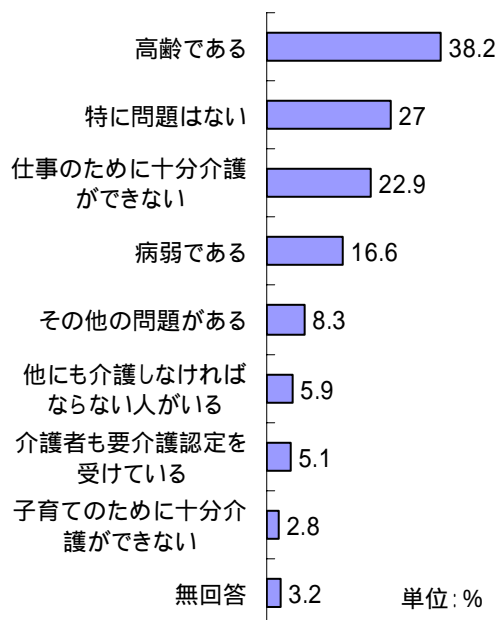
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	配偶者	160	26.5
2	同居の家族	199	32.9
3	別居の家族	83	13.7
4	その他の親族	16	2.6
5	施設の職員	65	10.8
6	その他	16	2.6
7	介護者はいない	29	4.8
8	(無回答だが付問に回答あり)	13	2.2
	無回答	23	3.8
	全体	604	100



主な介護者の状況(複数回答)

* 該当者 = 471人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	特に問題はない	127	27
2	高齢である	180	38.2
3	病弱である	78	16.6
4	介護者も要介護認定を受けている	24	5.1
5	仕事のために十分介護ができない	108	22.9
6	子育てのために十分介護ができない	13	2.8
7	他にも介護しなければならない人がいる	28	5.9
8	その他の問題がある	39	8.3
	無回答	15	3.2
	全体	471	100



主な介護者については、65～74歳で「配偶者」が59.7%と最も高くなっている。また、75歳以上では「同居の家族」が36.9%で最も高い。

要介護度別にみると、要介護2、3では、「同居の家族」37.3%、「配偶者」29.4%と同居者が66.7%を占めている。要介護4、5でも「同居の家族」は35.8%であるが、「施設の職員」も23.4%と比較的高くなっている。

上段：人
下段：%

		主な介護者									
		配偶者	同居の家族	別居の家族	その他の親族	施設の職員	その他	介護者はいない	付問に回答あり	無回答	
合計	604	160	199	83	16	65	16	29	13	23	
	100	26.5	32.9	13.7	2.6	10.8	2.6	4.8	2.2	3.8	
年齢	64歳以下	22	7	4	3	1	2	2	3	0	0
		100	31.8	18.2	13.6	4.5	9.1	9.1	13.6	0	0
	65～74歳	72	43	8	4	2	4	2	3	2	4
		100	59.7	11.1	5.6	2.8	5.6	2.8	4.2	2.8	5.6
	75歳以上	507	109	187	75	13	59	12	23	11	18
		100	21.5	36.9	14.8	2.6	11.6	2.4	4.5	2.2	3.6
要介護度	要支援1、2	188	42	58	30	3	5	6	24	8	12
		100	22.3	30.9	16	1.6	2.7	3.2	12.8	4.3	6.4
	要介護1	67	19	13	22	3	4	2	3	1	0
		100	28.4	19.4	32.8	4.5	6	3	4.5	1.5	0
	要介護2、3	201	59	75	21	8	24	4	1	2	7
		100	29.4	37.3	10.4	4	11.9	2	0.5	1	3.5
要介護4、5	137	39	49	9	1	32	4	0	2	1	
	100	28.5	35.8	6.6	0.7	23.4	2.9	0	1.5	0.7	
知らない	4	0	1	0	1	0	0	1	0	1	
	100	0	25	0	25	0	0	25	0	25	
居住圏域	東部圏域	297	72	100	44	10	31	9	17	5	9
		100	24.2	33.7	14.8	3.4	10.4	3	5.7	1.7	3
	西部圏域	295	87	94	38	6	31	7	11	8	13
		100	29.5	31.9	12.9	2	10.5	2.4	3.7	2.7	4.4

主な介護者が配偶者である場合は、「高齢である」、「病弱である」、「介護者も要介護認定を受けている」といった問題が多いことがわかる。

同居・別居の家族が介護者である場合は、「仕事のために十分介護ができない」とともに、「特に問題はない」の割合が高くなっている。

上段:人
下段:%

	全体	主な介護者の状況(複数回答)									
		特に問題はない	高齢である	病弱である	介護者も要介護認定を受けている	仕事のために十分介護ができない	子育てのために十分介護ができない	他にも介護する必要がある	その他の問題がある	無回答	
合計	471	127	180	78	24	108	13	28	39	15	
	100	27	38.2	16.6	5.1	22.9	2.8	5.9	8.3	3.2	
主な介護者	配偶者	160	23	119	37	16	12	1	6	12	4
		100	14.4	74.4	23.1	10	7.5	0.6	3.8	7.5	2.5
	同居の家族	199	69	40	30	6	59	8	16	15	5
		100	34.7	20.1	15.1	3	29.6	4	8	7.5	2.5
	別居の家族	83	27	8	8	0	33	2	5	9	5
		100	32.5	9.6	9.6	0	39.8	2.4	6	10.8	6
その他の親族	16	6	5	1	0	3	2	1	3	0	
	100	37.5	31.3	6.3	0	18.8	12.5	6.3	18.8	0	
付問に回答あり	13	2	8	2	2	1	0	0	0	1	
	100	15.4	61.5	15.4	15.4	7.7	0	0	0	7.7	

(6)日常生活について

普段一緒に過ごす相手

問6 あなたの日常の生活についておたずねします。

(1) 普段、誰と一緒に過ごしていますか。(あてはまるものすべてに)

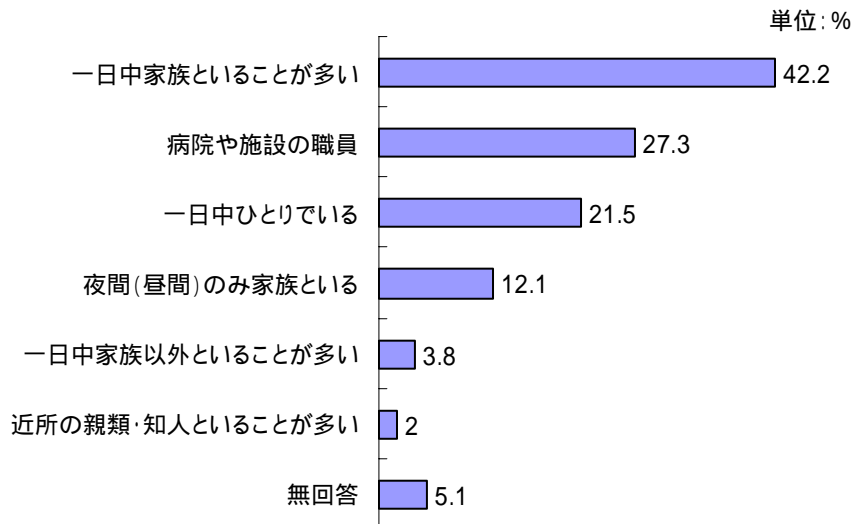
- 1. 一日中ひとりである
- 2. 昼間(夜間)はひとりで、夜間(昼間)のみ家族といる
- 3. 一日中家族といることが多い
- 4. 一日中家族以外の人といることが多い
- 5. 近所の親類・親しい知人といることが多い
- 6. 病院や施設の職員といることが多い

普段の過ごし方として、一緒に過ごす相手を聞いたところ、「一日中家族といることが多い」が42.2%と最も多い。それに次いで、「病院や施設の職員」27.3%、「一日中ひとりである」21.5%、「昼間(夜間)はひとりで、夜間(昼間)のみ家族といる」12.1%となっている。

低い割合ではあるが、「一日中家族以外といることが多い」3.8%、「近所の親類・知人といることが多い」2%もみられる。

普段一緒に過ごす相手(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	一日中ひとりである	130	21.5
2	夜間(昼間)のみ家族といる	73	12.1
3	一日中家族といることが多い	255	42.2
4	一日中家族以外といることが多い	23	3.8
5	近所の親類・知人といることが多い	12	2
6	病院や施設の職員	165	27.3
	無回答	31	5.1
	全体	604	100



年齢別では、64歳以下で「病院や施設の職員」が31.8%と最も高い。65～74歳の人の過半数が「一日中家族といることが多い」と回答している。

要介護別では、要支援1、2と要介護1で「一日中ひとりである」が比較的高くなっている。要介護4、5では「病院や施設の職員」が54.7%で最も高い。

ひとり暮らしの場合、58.5%が「一日中ひとりである」と回答している。ひとり暮らし以外の世帯では、「一日中家族といることが多い」が最も多い回答となっている。

上段:人
下段:%

		全体	普段一緒に過ごす相手(複数回答)						
			一日中ひとりである	夜間(昼間)のみ家族といえる	一日中家族といることが多い	一日中家族以外といることが多い	近所の親類・知人といることが多い	病院や施設の職員	無回答
合計		604	130	73	255	23	12	165	31
		100	21.5	12.1	42.2	3.8	2	27.3	5.1
年齢	64歳以下	22	4	2	6	2	0	7	2
		100	18.2	9.1	27.3	9.1	0	31.8	9.1
	65～74歳	72	12	9	42	4	2	8	3
	100	16.7	12.5	58.3	5.6	2.8	11.1	4.2	
	75歳以上	507	112	61	207	17	10	149	26
		100	22.1	12	40.8	3.4	2	29.4	5.1
要介護度	要支援1、2	188	63	30	81	4	5	7	13
		100	33.5	16	43.1	2.1	2.7	3.7	6.9
	要介護1	67	25	10	32	2	0	11	1
		100	37.3	14.9	47.8	3	0	16.4	1.5
	要介護2、3	201	32	26	90	10	2	72	10
		100	15.9	12.9	44.8	5	1	35.8	5
要介護4、5	137	8	7	45	7	4	75	5	
	100	5.8	5.1	32.8	5.1	2.9	54.7	3.6	
知らない	4	1	0	3	0	1	0	0	
	100	25	0	75	0	25	0	0	
居住圏域	東部圏域	297	65	35	126	10	8	84	15
		100	21.9	11.8	42.4	3.4	2.7	28.3	5.1
	西部圏域	295	63	37	127	12	4	74	16
		100	21.4	12.5	43.1	4.1	1.4	25.1	5.4
家族構成	ひとり暮らし	159	93	7	3	12	9	49	12
		100	58.5	4.4	1.9	7.5	5.7	30.8	7.5
	配偶者のみ(二人世帯)	142	11	15	96	3	1	28	7
		100	7.7	10.6	67.6	2.1	0.7	19.7	4.9
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	75	4	10	40	3	1	23	4
	100	5.3	13.3	53.3	4	1.3	30.7	5.3	
その他の世帯(同居世帯)	210	18	39	112	5	1	60	5	
	100	8.6	18.6	53.3	2.4	0.5	28.6	2.4	

地域で困ること・不便に感じること

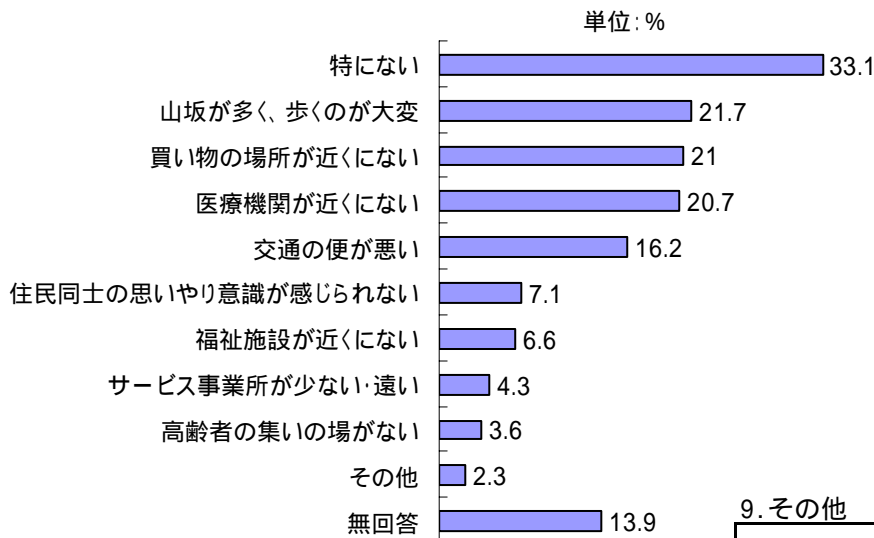
(2) 地元地域のことで、困ること・不便に感じることはありますか。(は3つまで)

1. 交通の便が悪い	6. 介護保険サービス事業所が少ない・遠い
2. 山坂が多く、歩くのが大変	7. 高齢者の集いの場がない
3. 買い物の場所が近くにない	8. 住民同士の思いやり意識が感じられない
4. 医療機関が近くにない	9. その他()
5. 福祉施設が近くにない	10. 特にな

地域で困ること・不便に感じること について聞いたところ、「特にな」が 33.1%と最も多いものの、「山坂が多く、歩くのが大変」21.7%、「買い物の場所が近くにない」21%、「医療機関が近くにない」20.7%、「交通の便が悪い」16.2%など、生活環境の不便さを挙げる回答も少なくない。

地域で困ること・不便に感じること(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	交通の便が悪い	98	16.2
2	山坂が多く、歩くのが大変	131	21.7
3	買い物の場所が近くにない	127	21
4	医療機関が近くにない	125	20.7
5	福祉施設が近くにない	40	6.6
6	サービス事業所が少ない・遠い	26	4.3
7	高齢者の集いの場がない	22	3.6
8	住民同士の思いやり意識が感じられない	43	7.1
9	その他	14	2.3
10	特にな	200	33.1
	無回答	84	13.9
	全体	604	100



9. その他

回答	回答数
道が狭く、車椅子で出かけられない。	3
道路が悪い(狭い、歩きにくい等)	2
歩く場所がない。階段が多い。	1
駐車場があって、車椅子で入れる医院が少ないように思う。	1
大きな病院が市内にない	1
介護・福祉の情報入手方法の手段が身近でない	1
歩行に困るので、一人で外出しない。	1
駐車場が不足	1
ごみ集積所が遠い	1

居住圏域別にみると、東部圏域では「医療機関が近くにない」、「福祉施設が近くにない」が、西部圏域では「交通の便が悪い」が、やや高い割合になっている。

上段:人
下段:%

		全体	地域で困ること・不便に感じること(複数回答)										
			交通の便が悪い	が山坂が多く、歩くのが大変	に買わない物の場所が近く	い医療機関が近くにない	い福祉施設が近くにない	なサービ・遠い	な高年齢者の集いの場がない	意住民が感じられない	その他	特にな	無回答
合計		604	98	131	127	125	40	26	22	43	14	200	84
		100	16.2	21.7	21	20.7	6.6	4.3	3.6	7.1	2.3	33.1	13.9
居住圏域	東部圏域	297	38	63	64	75	24	12	11	23	6	97	43
		100	12.8	21.2	21.5	25.3	8.1	4	3.7	7.7	2	32.7	14.5
	西部圏域	295	54	64	60	50	16	14	11	20	8	101	39
		100	18.3	21.7	20.3	16.9	5.4	4.7	3.7	6.8	2.7	34.2	13.2

(7)介護保険サービスの利用状況

現在の生活の場

問7 現在の生活の場と、介護保険サービスの利用状況についておたずねします。

(1) あなたは、現在、どこで生活していますか。(は1つ)

- 1. 自宅
- 2. 親族の家

一時的な入院やショートステイ利用中の方は、ここに当たります。

- 3. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
- 4. 介護老人保健施設 (老人保健施設)
- 5. 介護療養型医療施設 (療養型病床群等)
- 6. 有料老人ホーム等
- 7. グループホーム
- 8. 軽費老人ホーム・ケアハウス
- 9. その他 ()

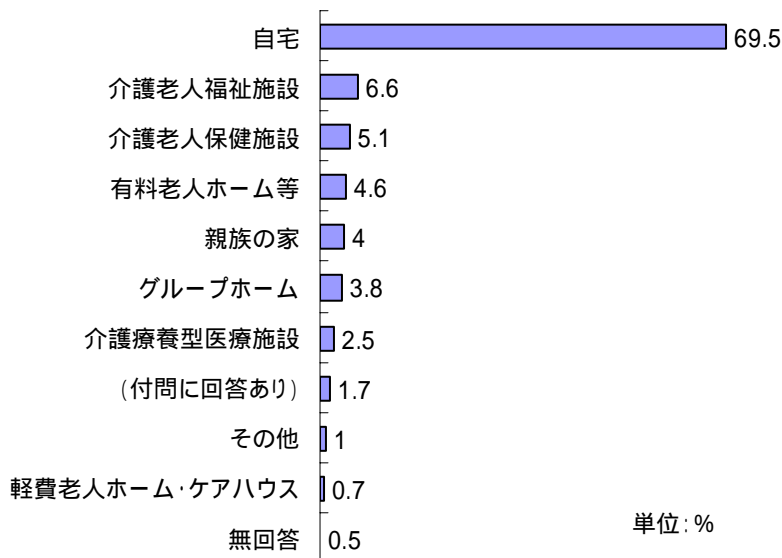
現在の生活の場 については、次のとおりの回答状況であった。

- 在宅生活者：454人(75.2%)
- 介護保険施設への入所者：86人(14.2%)
- その他の施設への入居者：55人(9.1%)
- その他および無回答：9人(1.5%)

現在の生活の場

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自宅	420	69.5
2	親族の家	24	4
x	(無回答だが付問に回答あり)	10	1.7
3	介護老人福祉施設	40	6.6
4	介護老人保健施設	31	5.1
5	介護療養型医療施設	15	2.5
6	有料老人ホーム等	28	4.6
7	グループホーム	23	3.8
8	軽費老人ホーム・ケアハウス	4	0.7
9	その他	6	1
	無回答	3	0.5
	全体	604	100

32 頁へ



年齢別にみると、64歳以下と75歳以上の約7割、65～74歳の約9割が「自宅」となっている。

要介護別にみると、要介護4、5で施設入所者が40.1%（介護老人福祉施設21.9%、介護老人保健施設10.2%、介護療養型医療施設8%）と高くなっている。

上段：人
下段：%

		現在の生活場所											
		自宅	親族の家	(付問に回答あり)	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	有料老人ホーム等	グループホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	その他	無回答	
合計		604	420	24	10	40	31	15	28	23	4	6	3
		100	69.5	4	1.7	6.6	5.1	2.5	4.6	3.8	0.7	1	0.5
年齢	64歳以下	22	15	0	0	2	2	0	1	2	0	0	0
		100	68.2	0	0	9.1	9.1	0	4.5	9.1	0	0	0
	65～74歳	72	64	0	2	2	0	1	0	0	1	2	0
		100	88.9	0	2.8	2.8	0	1.4	0	0	1.4	2.8	0
	75歳以上	507	340	24	3	36	29	14	27	21	3	4	6
		100	67.1	4.7	0.6	7.1	5.7	2.8	5.3	4.1	0.6	0.8	1.2
要介護度	要支援1、2	188	162	8	3	2	1	0	5	1	4	2	0
		100	86.2	4.3	1.6	1.1	0.5	0	2.7	0.5	2.1	1.1	0
	要介護1	67	56	4	1	1	0	0	2	3	0	0	0
		100	83.6	6	1.5	1.5	0	0	3	4.5	0	0	0
	要介護2、3	201	130	11	1	7	16	3	13	16	0	2	2
		100	64.7	5.5	0.5	3.5	8	1.5	6.5	8	0	1	1
要介護4、5	137	64	1	2	30	14	11	8	3	0	3	1	
	100	46.7	0.7	1.5	21.9	10.2	8	5.8	2.2	0	2.2	0.7	
知らない	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
居住圏域	東部圏域	297	214	11	6	25	12	5	13	9	0	2	0
		100	72.1	3.7	2	8.4	4	1.7	4.4	3	0	0.7	0
	西部圏域	295	205	10	2	13	19	10	12	14	2	5	3
		100	69.5	3.4	0.7	4.4	6.4	3.4	4.1	4.7	0.7	1.7	1

介護保険サービスの利用状況

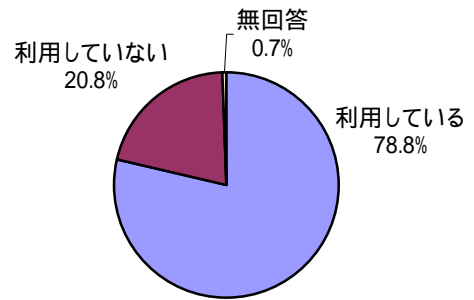
(2)【問7(1)で「1・2」とお答えの方におたずねします。】
 あなたは、現在、介護保険のサービスを利用していますか。(は1つ)
 1. 利用していない 2. 利用している

「1. 自宅」または「2. 親族の家」で生活していると答えた 453 人（無回答だが付問に回答をした人も含めて）に対して、介護保険サービスの利用状況を聞いたところ、「利用している」のは 78.8%と約 8 割で、「利用していない」は 20.8%、「無回答」は 0.7%であった。

介護保険サービスの利用状況

* 該当者 = 454人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	利用していない	94	20.8
2	利用している	357	78.8
	無回答	3	0.7
	全体	454	100



要介護度別では、「利用していない」と回答しているのは、要支援 1、2 の 30.6%、要介護 2、3 の 14.1%であった。また、「利用している」では、要介護 4、5 の 92.6%が最も高い。

		全体	介護保険サービスの利用状況		
			利用していない	利用している	無回答
合計		604	94	357	3
		100	20.8	78.8	0.7
年齢	64歳以下	15	0	15	0
		100	0	100	0
	65～74歳	66	18	48	0
		100	27.3	72.7	0
	75歳以上	371	74	294	3
		100	19.9	79.2	0.8
要介護度	要支援1、2	173	53	117	3
		100	30.6	67.6	1.7
	要介護1	61	11	50	0
		100	18	82	0
	要介護2、3	142	20	122	0
		100	14.1	85.9	0
要介護4、5	68	5	63	0	
	100	7.4	92.6	0	
	知らない	4	3	1	0
		100	75	25	0
居住圏域	東部圏域	231	45	184	2
		100	19.5	79.7	0.9
	西部圏域	218	48	169	1
		100	22	77.5	0.5

上段: 人
下段: %

3 介護保険サービス非利用の状況

今後利用を考えている介護保険サービス

* 該当者 = 94 人

問8 介護保険サービスの利用についておたずねします。

(1) 今後、利用を考えている介護保険サービスはありますか。(は1つ)

1 . 在宅で受けられるサービス

2 . 施設等への入所・入居

3 . 今はまだわからない

(2) 【(1)「1 . 在宅で受けられるサービス」とお答えの方におたずねします。】

在宅で受けられるサービスの中で利用を考えているものはどれですか。

(あてはまるものすべてに)

1 . (介護予防) 訪問介護

9 . (介護予防) 短期入所療養介護

2 . (介護予防) 訪問入浴介護

10 . (介護予防) 福祉用具貸与

3 . (介護予防) 訪問リハビリテーション

11 . (介護予防) 福祉用具購入費の支給

4 . (介護予防) 訪問看護

12 . (介護予防) 住宅改修費の支給

5 . (介護予防) 居宅療養管理指導

13 . 移送サービス

6 . (介護予防) 通所介護

7 . (介護予防) 通所リハビリテーション

8 . (介護予防) 短期入所生活介護

(3) 【(1)「2 . 施設等への入所・入居」とお答えの方におたずねします。】

入所・入居を考えている施設等はどれですか。(あてはまるものすべてに)

1 . 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

6 . グループホーム

2 . 介護老人保健施設(老人保健施設)

7 . 高齢者対応の賃貸住宅

3 . 介護療養型医療施設(療養型病床群等)

8 . 高齢者対応の生活支援施設

4 . 有料老人ホーム等

9 . その他()

5 . 軽費老人ホーム・ケアハウス

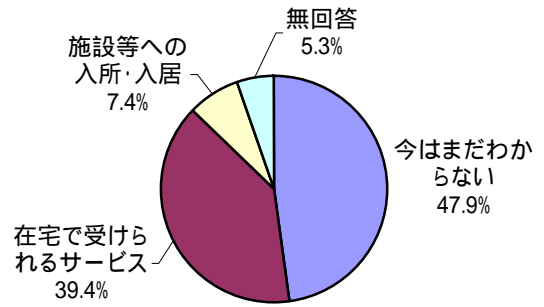
同じく在宅で「介護保険サービスを利用していない」と答えた94人に対し、今後利用を考えている介護保険サービスについて聞いたところ、39.4%が「在宅で受けられるサービス」、47.9%が「今はまだわからない」、7.4%が「施設等への入所・入居」と回答した。

「在宅で受けられるサービス」を利用したいと考えていると回答した37人に対して、利用希望のサービスメニューについて聞いたところ、「訪問介護」43.2%、「訪問入浴介護」37.8%、「福祉用具貸与」35.1%、「移送サービス」35.1%、「住宅改修費の支給」27%、「福祉用具購入費の支給」24.3%といった項目に利用ニーズの高さが示されている。

「施設等への入所・入居」を考えていると回答した7人に対して、希望の入所・入居先について聞いたところ、「介護老人福祉施設」と「介護療養型医療施設」にそれぞれ3人、「有料老人ホーム等」には2人、「介護老人保健施設」と「軽費老人ホーム・ケアハウス」と「高齢者対応の生活支援施設」にそれぞれ1人が回答している。

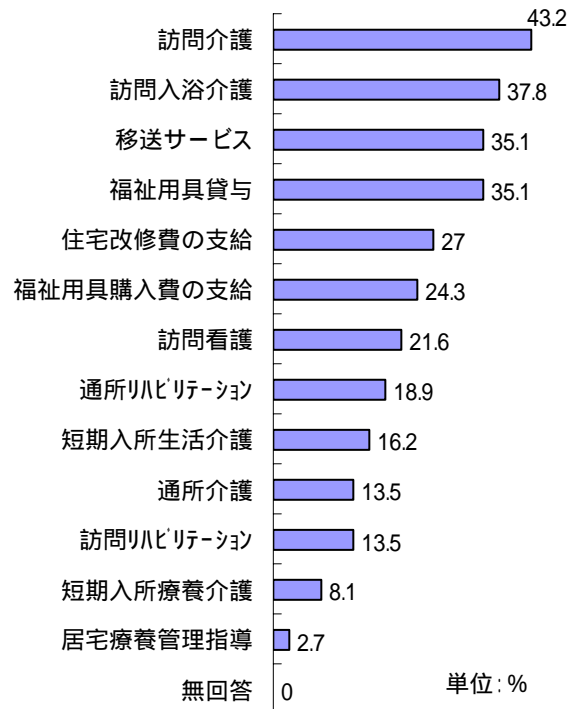
利用を考えているサービス * 該当者 = 94人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	在宅で受けられるサービス	37	39.4
2	施設等への入所・入居	7	7.4
3	今はまだわからない	45	47.9
	無回答	5	5.3
	全体	94	100



利用を考えている在宅サービス(複数回 * 該当者 = 37人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	(介護予防)訪問介護	16	43.2
2	(介護予防)訪問入浴介護	14	37.8
3	(介護予防)訪問リハビリテーション	5	13.5
4	(介護予防)訪問看護	8	21.6
5	(介護予防)居宅療養管理指導	1	2.7
6	(介護予防)通所介護	5	13.5
7	(介護予防)通所リハビリテーション	7	18.9
8	(介護予防)短期入所生活介護	6	16.2
9	(介護予防)短期入所療養介護	3	8.1
10	(介護予防)福祉用具貸与	13	35.1
11	(介護予防)福祉用具購入費の支給	9	24.3
12	(介護予防)住宅改修費の支給	10	27
13	移送サービス	13	35.1
	無回答	0	0
	全体	37	100



入所・入居を考えている施設等(複数回答) * 該当者 = 7人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	介護老人福祉施設	3	42.9
2	介護老人保健施設	1	14.3
3	介護療養型医療施設	3	42.9
4	有料老人ホーム等	2	28.6
5	軽費老人ホーム・ケアハウス	1	14.3
6	グループホーム	0	0
7	高齢者対応の賃貸住宅	0	0
8	高齢者対応の生活支援施設	1	14.3
9	その他	0	0
	無回答	0	0
	全体	7	100

4 在宅サービスの利用状況

(1) ケアプランについて

ケアプランの認識 * 該当者 = 357 人

問9 介護（予防）サービス計画（以下「ケアプラン」といいます。）についておたずねします。

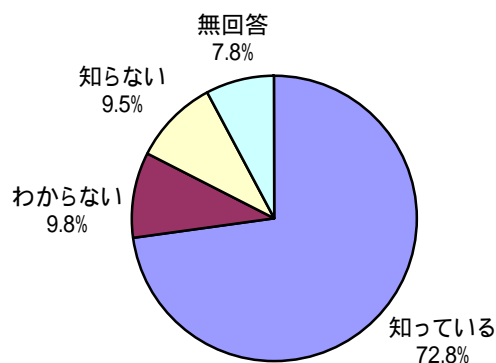
あなたは、ご自身のケアプランをご存じですか。（ は1つ）

1. 知っている 2. 知らない 3. わからない

ケアプランの認識 について聞いたところ、72.8%が自分のケアプランについて「知っている」と答えた。「知らない」は9.5%、「わからない」は9.8%であった。

ケアプランの認識 * 該当者 = 357人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	知っている	260	72.8
2	知らない	34	9.5
3	わからない	35	9.8
	無回答	28	7.8
	全体	357	100



年齢別で見ると65～74歳で、要介護別では、要介護2、3および要介護4、5において、「知らない」の割合が高くなっている。

上段: 人
下段: %

		全体	ケアプランの認識			
			知っている	知らない	わからない	無回答
合計		357	260	34	35	28
		100	72.8	9.5	9.8	7.8
年齢	64歳以下	15	10	1	0	4
		100	66.7	6.7	0	26.7
	65～74歳	48	33	5	8	2
	100	68.8	10.4	16.7	4.2	
	75歳以上	293	217	28	27	21
	100	74.1	9.6	9.2	7.2	
要介護度	要支援1、2	117	99	5	3	10
		100	84.6	4.3	2.6	8.5
	要介護1	50	34	5	7	4
		100	68	10	14	8
	要介護2、3	122	88	14	15	5
		100	72.1	11.5	12.3	4.1
	要介護4、5	62	38	8	10	6
	100	61.3	12.9	16.1	9.7	
	知らない	4	0	1	0	3
	100	0	25	0	75	
居住圏域	東部圏域	184	138	19	15	13
		100	75	10.3	8.2	7.1
	西部圏域	168	121	12	20	15
	100	72	7.1	11.9	8.9	

ケアプランへの評価

現在のご自身のケアプランについて、どう思いますか。

- 全体的なサービスの量
- 利用するサービスの数
- サービスの組み合わせ
- サービスの利用日時の設定
- 事業所の選択
- 利用者負担への配慮
- ケアプラン作成への本人の参加
- ケアプラン作成への家族の参加
- ケアプラン見直し・評価の体制
- 総合的な満足度

自分のケアプランを「知っている」と答えた 260 人に対して、ケアプランへの評価 について聞いたところ、「総合的な評価」としては 81.9%が『満足』と答えた（満足 46.9%、やや満足 35%）。

項目別にみると、「事業所の選択」56.2%、「サービス利用日時の設定」48.8%、「ケアプラン作成への本人の参加」48.5%の順になっており、その他の項目でも 4 割以上が『満足』と回答している。

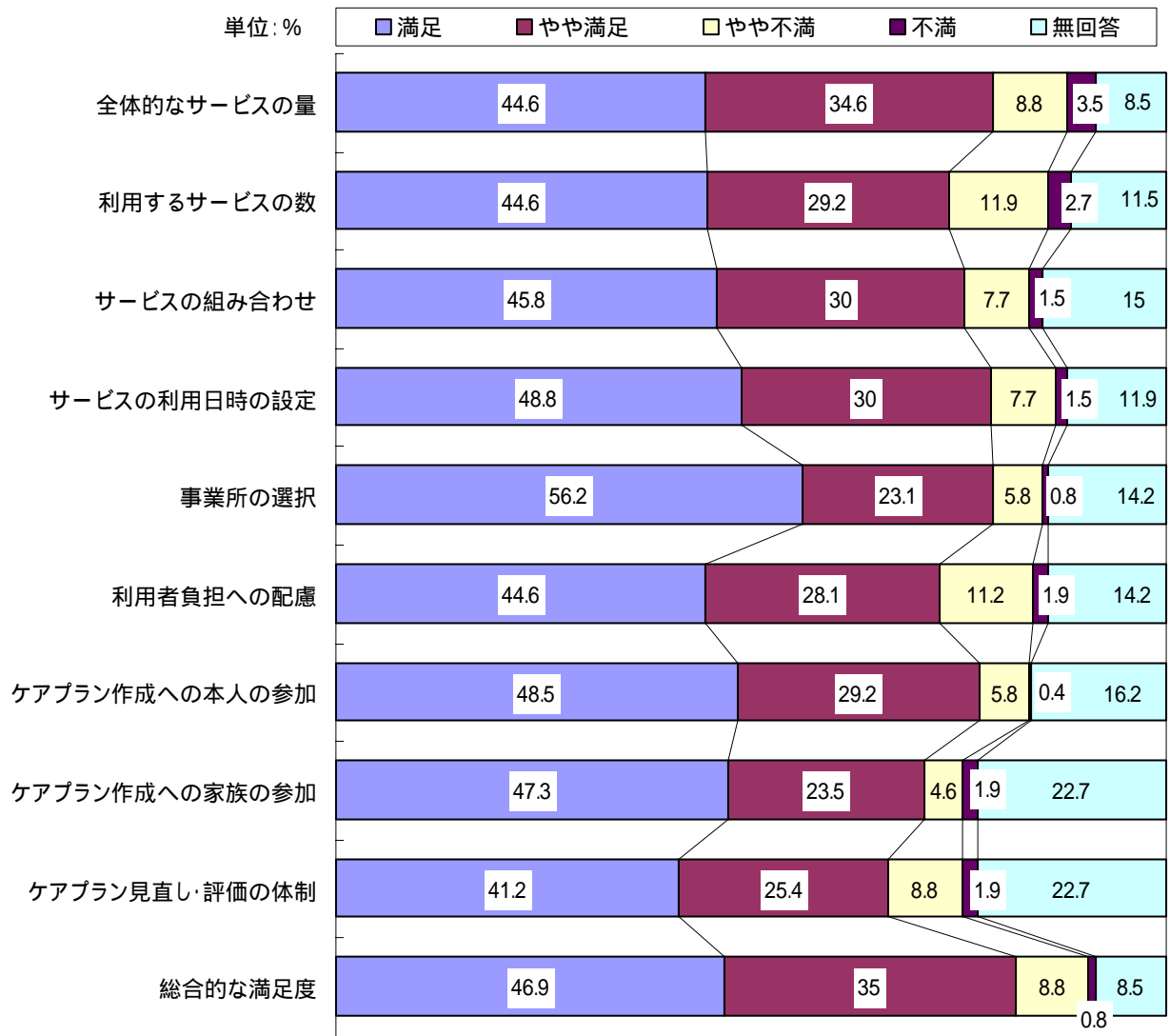
「やや不満」と「不満」を合わせた割合が比較的高いのは、「利用するサービスの数」14.6%、「利用者負担への配慮」13.1%であった。

ケアプランへの評価

* 該当者 = 260人

上段:人
下段:%

項目	全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体的なサービスの量	260	116	90	23	9	22
	100	44.6	34.6	8.8	3.5	8.5
利用するサービスの数	260	116	76	31	7	30
	100	44.6	29.2	11.9	2.7	11.5
サービスの組み合わせ	260	119	78	20	4	39
	100	45.8	30	7.7	1.5	15
サービスの利用日時の設定	260	127	78	20	4	31
	100	48.8	30	7.7	1.5	11.9
事業所の選択	260	146	60	15	2	37
	100	56.2	23.1	5.8	0.8	14.2
利用者負担への配慮	260	116	73	29	5	37
	100	44.6	28.1	11.2	1.9	14.2
ケアプラン作成への本人の参加	260	126	76	15	1	42
	100	48.5	29.2	5.8	0.4	16.2
ケアプラン作成への家族の参加	260	123	61	12	5	59
	100	47.3	23.5	4.6	1.9	22.7
ケアプラン見直し・評価の体制	260	107	66	23	5	59
	100	41.2	25.4	8.8	1.9	22.7
総合的な満足度	260	122	91	23	2	22
	100	46.9	35	8.8	0.8	8.5



(2) ケアマネジャーについて

担当ケアマネジャーや地域包括支援センター職員への評価

* 該当者 = 357 人

問 1 0	現在のケアプラン等を作成しているケアマネジャーや地域包括支援センター職員について どう思われますか。	
	説明の丁寧さ・適切さ	事業所・医師・市役所との連携
	本人・家族の希望の反映	知識や情報量
	相談時間や訪問回数	態度やマナー
	納得できるケアプランの策定や見直し	緊急時(急変時)やサービス変更等の対応
	事業所やサービスの決め方	総合的な満足度

現在の ケアプラン等を作成しているケアマネジャーや地域包括支援センター職員への評価 については、「総合的な満足度」では 80.4%が『満足』と回答した(満足 53.2%、やや満足 27.2%)

「満足」の回答では、「説明の丁寧さ・適切さ」64.7%、「態度やマナー」62.2%、「本人・家族の希望の反映」53.2%、「相談時間や訪問回数」51.8%が半数を越えている。

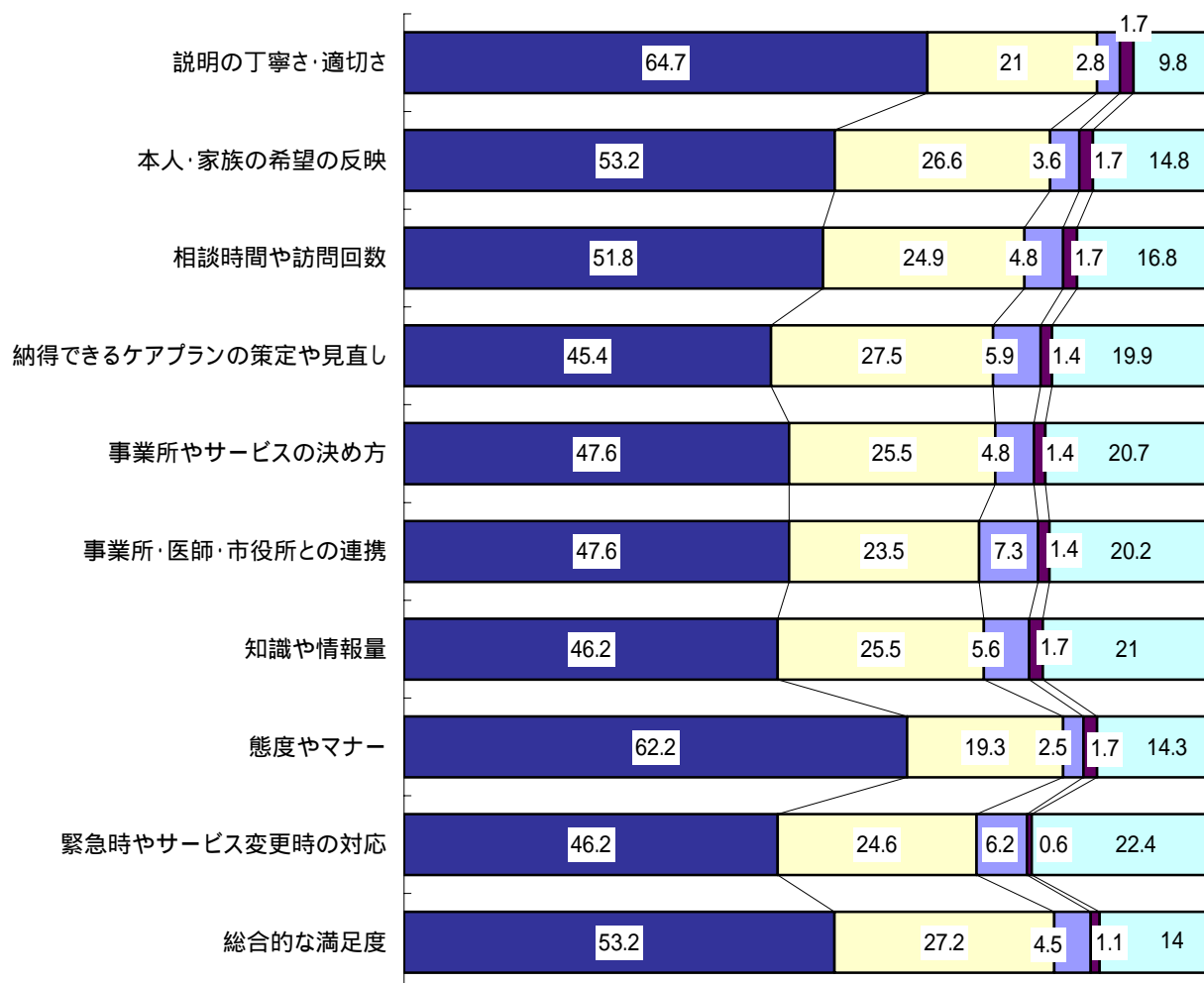
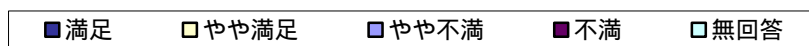
「やや不満」と「不満」を合わせた割合が比較的高いのは、「事業所・医師・市役所との連携」9.7%であるが、『不満』との回答は全ての項目で 1 割以下であった。

ケアマネジャー、地域包括支援センター職員への評価

上段:人
下段:%

項目	全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
説明の丁寧さ・適切さ	357	231	75	10	6	35
	100	64.7	21	2.8	1.7	9.8
本人・家族の希望の反映	357	190	95	13	6	53
	100	53.2	26.6	3.6	1.7	14.8
相談時間や訪問回数	357	185	89	17	6	60
	100	51.8	24.9	4.8	1.7	16.8
納得できるケアプランの策定や見直し	357	162	98	21	5	71
	100	45.4	27.5	5.9	1.4	19.9
事業所やサービスの決め方	357	170	91	17	5	74
	100	47.6	25.5	4.8	1.4	20.7
事業所・医師・市役所との連携	357	170	84	26	5	72
	100	47.6	23.5	7.3	1.4	20.2
知識や情報量	357	165	91	20	6	75
	100	46.2	25.5	5.6	1.7	21
態度やマナー	357	222	69	9	6	51
	100	62.2	19.3	2.5	1.7	14.3
緊急時やサービス変更時の対応	357	165	88	22	2	80
	100	46.2	24.6	6.2	0.6	22.4
総合的な満足度	357	190	97	16	4	50
	100	53.2	27.2	4.5	1.1	14

単位：%



(3)在宅サービスの利用状況・利用希望

介護保険サービスの利用状況・利用希望 * 該当者 = 357 人

問 1 1 介護保険サービスの利用状況・利用希望についておたずねします。

(1) 次の在宅サービスについて、利用状況、今後の利用希望はいかがですか。

(ア～ソについて 欄ごとに1～3のいずれか1つずつを で囲み、()には利用回数を数字で記入してください。)

在宅で利用する 介護保険サービスの利用状況・利用希望 について聞いたところ、次のような回答状況であった。

- 今後の利用希望が現在の利用を下回るサービス：「訪問介護」、「訪問入浴介護」、「訪問看護」、「通所介護」、「住宅改修費の支給」
- 今後の利用希望が現在の利用を上回るサービス：「訪問リハビリテーション」、「居宅療養管理指導」、「短期入所生活介護」、「短期入所療養介護」、「移送サービス」
- 「通所リハビリテーション」は、今後の利用希望と現在の利用が同数であった。

現在「利用している」サービスについては、「訪問介護」35.9%、「通所介護」27.7%が高く示された。次いで、「通所リハビリテーション」18.8%、「訪問入浴介護」14.8%、「住宅改修費の支給」13.4%、「移送サービス」13.4%、「訪問看護」11.5%、「短期入所生活介護」9.5%、「訪問リハビリテーション」9%、「居宅療養管理指導」4.5%、「短期入所療養介護」0.6%となっている。

「利用したことはある」サービスとしては、「住宅改修費の支給」11.5%、「移送サービス」7.8%、「短期入所生活介護」5.9%などとなっている。

今後「利用したい」サービスでも、「訪問介護」が27.2%で最高率、次いで「通所介護」19%、「通所リハビリテーション」18.8%、「移送サービス」15.4%、「訪問入浴介護」12.3%、「住宅改修費の支給」12%、「短期入所生活介護」11.2%、「訪問リハビリテーション」10.9%、「訪問看護」9.8%、「居宅療養管理指導」6.7%、「短期入所療養介護」3.9%となっている。

現在の利用に比べると、「移送サービス」、「訪問リハビリテーション」、「短期入所生活介護」、「短期入所療養介護」が、相対的に高い利用ニーズを示していることがわかる。

高齢者賃貸住宅、高齢者生活支援施設、グループホーム、有料老人ホーム等の『介護保険施設以外の施設』については、「入居している」との回答は限られているが、今後の利用希望をみると、いずれも現状を上回る希望が示されている。

在宅サービス
利用状況

今後の利用希望
上段：人
下段：%

サービスの種類	全体	利用している	利用したことがある	利用したことがない	無回答
ア.訪問介護	357	128	19	110	100
	100	35.9	5.3	30.8	28
イ.訪問入浴介護	357	53	9	159	136
	100	14.8	2.5	44.5	38.1
ウ.訪問リハビリテーション	357	32	14	165	146
	100	9	3.9	46.2	40.9
エ.訪問看護	357	41	10	159	147
	100	11.5	2.8	44.5	41.2
オ.居宅療養管理指導	357	16	5	176	160
	100	4.5	1.4	49.3	44.8
カ.通所介護	357	99	14	119	125
	100	27.7	3.9	33.3	35
キ.通所リハビリテーション	357	67	9	141	140
	100	18.8	2.5	39.5	39.2
ク.短期入所生活介護	357	34	21	138	164
	100	9.5	5.9	38.7	45.9
ケ.短期入所療養介護	357	2	13	158	184
	100	0.6	3.6	44.3	51.5
コ.住宅改修費の支給	357	48	41	97	171
	100	13.4	11.5	27.2	47.9
サ.移送サービス	357	48	28	114	167
	100	13.4	7.8	31.9	46.8

利用したい	利用はしない	未定	無回答
97	21	88	151
27.2	5.9	24.6	42.3
44	40	105	168
12.3	11.2	29.4	47.1
39	36	109	173
10.9	10.1	30.5	48.5
35	33	112	177
9.8	9.2	31.4	49.6
24	36	117	180
6.7	10.1	32.8	50.4
68	28	93	168
19	7.8	26.1	47.1
67	32	94	164
18.8	9	26.3	45.9
40	22	108	187
11.2	6.2	30.3	52.4
14	24	119	200
3.9	6.7	33.3	56
43	22	94	198
12	6.2	26.3	55.5
55	20	93	189
15.4	5.6	26.1	52.9

サービスの種類	全体	入居している	入居していない	わからない	無回答
シ.高齢者賃貸住宅	357	1	206	22	128
	100	0.3	57.7	6.2	35.9
ス.高齢者生活支援施設	357	1	201	25	130
	100	0.3	56.3	7	36.4
セ.グループホーム	357	0	198	25	134
	100	0	55.5	7	37.5
ソ.有料老人ホーム等	357	3	197	23	134
	100	0.8	55.2	6.4	37.5

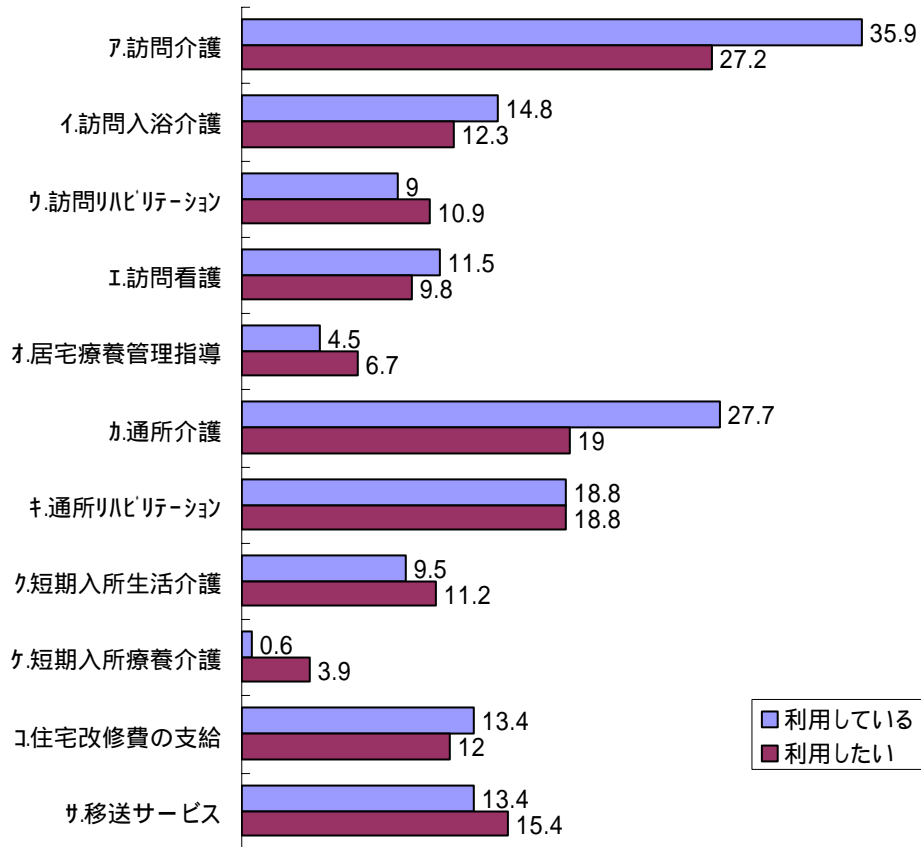
入居したい	入居はしない	未定	無回答
14	102	103	138
3.9	28.6	28.9	38.7
18	85	111	143
5	23.8	31.1	40.1
5	96	108	148
1.4	26.9	30.3	41.5
9	88	118	142
2.5	24.6	33.1	39.8

回数 (上段:回答数 / 下段:平均回数)

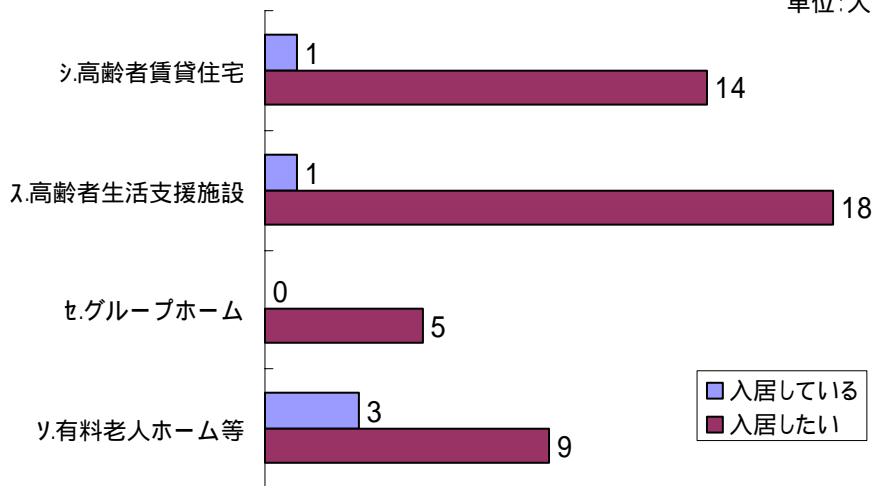
サービスの種類	利用状況
ア.訪問介護	125
	週(2.8)回
イ.訪問入浴介護	50
	月(5.2)回
ウ.訪問リハビリテーション	31
	月(4.5)回
エ.訪問看護	39
	月(4.9)回
オ.居宅療養管理指導	13
	月(2.5)回
カ.通所介護	97
	週(2.7)回
キ.通所リハビリテーション	66
	週(1.9)回
ク.短期入所生活介護	32
	半年(33.4)日
ケ.短期入所療養介護	2
	半年(8)日
サ.移送サービス	44
	月(2.8)回

利用希望
84
週(2.9)回
34
月(5.7)回
31
月(3.6)回
27
月(4.4)回
18
月(2.3)回
60
週(2.8)回
57
週(2.1)回
26
半年(24.5)日
6
半年(31.3)日
45
月(3.0)回

単位：%



単位：人



在宅サービスの利用状況と今後の利用意向

上段:人
下段:%

		全体	今後の利用希望			
			利用したい	利用はしない	未定	無回答
ア.訪問介護	利用している	128	83	0	10	35
		100	64.8	0	7.8	27.3
	利用したことはある	19	6	1	8	4
		100	31.6	5.3	42.1	21.1
	利用したことがない	110	6	20	68	16
		100	5.5	18.2	61.8	14.5
イ.訪問入浴介護	利用している	53	33	0	3	17
		100	62.3	0	5.7	32.1
	利用したことはある	9	3	1	2	3
		100	33.3	11.1	22.2	33.3
	利用したことがない	159	7	38	96	18
		100	4.4	23.9	60.4	11.3
ウ.訪問リハビリテーション	利用している	32	18	0	2	12
		100	56.3	0	6.3	37.5
	利用したことはある	14	0	3	9	2
		100	0	21.4	64.3	14.3
	利用したことがない	165	18	32	94	21
		100	10.9	19.4	57	12.7
エ.訪問看護	利用している	41	25	0	2	14
		100	61	0	4.9	34.1
	利用したことはある	10	1	2	6	1
		100	10	20	60	10
	利用したことがない	159	7	31	100	21
		100	4.4	19.5	62.9	13.2
オ.居宅療養管理指導	利用している	16	12	0	0	4
		100	75	0	0	25
	利用したことはある	5	0	1	3	1
		100	0	20	60	20
	利用したことがない	176	11	32	108	25
		100	6.3	18.2	61.4	14.2
カ.通所介護	利用している	99	58	0	9	32
		100	58.6	0	9.1	32.3
	利用したことはある	14	3	1	4	6
		100	21.4	7.1	28.6	42.9
	利用したことがない	119	5	25	77	12
		100	4.2	21	64.7	10.1
キ.通所リハビリテーション	利用している	67	47	0	4	16
		100	70.1	0	6	23.9
	利用したことはある	9	3	2	3	1
		100	33.3	22.2	33.3	11.1
	利用したことがない	141	13	28	84	16
		100	9.2	19.9	59.6	11.3
ク.短期入所生活介護	利用している	34	20	0	3	11
		100	58.8	0	8.8	32.4
	利用したことはある	21	5	6	6	4
		100	23.8	28.6	28.6	19
	利用したことがない	138	11	16	94	17
		100	8	11.6	68.1	12.3
ケ.短期入所療養介護	利用している	2	1	0	1	0
		100	50	0	50	0
	利用したことはある	13	2	5	2	4
		100	15.4	38.5	15.4	30.8
	利用したことがない	158	7	19	111	21
		100	4.4	12	70.3	13.3

		全体	今後の利用希望			
			利用したい	利用はしない	未定	無回答
ユ.住宅改修費の支給	利用している	48	21	3	16	8
		100	43.8	6.3	33.3	16.7
	利用したことはある	41	10	7	14	10
		100	24.4	17.1	34.1	24.4
	利用したことがない	97	10	12	62	13
		100	10.3	12.4	63.9	13.4
サ.移送サービス	利用している	48	32	0	2	14
		100	66.7	0	4.2	29.2
	利用したことはある	28	7	6	8	7
		100	25	21.4	28.6	25
	利用したことがない	114	10	14	79	11
		100	8.8	12.3	69.3	9.6

		全体	今後の利用希望			
			入居したい	入居はしない	未定	無回答
シ.高齢者賃貸住宅	入居している	1	1	0	0	0
		100	100	0	0	0
	入居していない	206	8	91	83	24
		100	3.9	44.2	40.3	11.7
	わからない	22	1	3	16	2
		100	4.5	13.6	72.7	9.1
ス.高齢者対応の生活支援施設	入居している	1	0	0	0	1
		100	0	0	0	100
	入居していない	201	13	77	90	21
		100	6.5	38.3	44.8	10.4
	わからない	25	3	2	18	2
		100	12	8	72	8
セ.グループホーム	入居している	0	0	0	0	0
		100	0	0	0	0
	入居していない	198	2	87	86	23
		100	1	43.9	43.4	11.6
	わからない	25	1	3	18	3
		100	4	12	72	12
ソ.有料老人ホーム等	入居している	3	0	0	2	1
		100	0	0	66.7	33.3
	入居していない	197	7	80	91	19
		100	3.6	40.6	46.2	9.6
	わからない	23	0	3	19	1
		100	0	13	82.6	4.3

(2) 福祉用具の 利用状況・ 今後の利用希望についておたずねします。

福祉用具の利用状況・利用希望 について聞いたところ、 現在の利用状況については、「特殊寝台」が 28.5%(借りている 20.4%、所有 8.1%)、「車いす」は 25.2%(借りている 15.1%、所有 10.1%)、「歩行者」は 11.2%(借りている 6.7%、所有 4.5%) であった。

今後の利用希望では、「車いす」21.3%(借りたい 20.7%、買いたい 0.6%)、「特殊寝台」(借りたい 19%、買いたい 0.3%)、「歩行者」10.4%(借りたい 10.1%、買いたい 0.3%) となっている。

「移動用リフト」6.5%(借りたい 6.2%、買いたい 0.3%)、「認知症徘徊感知機器」5.9%(借りたい)でも、いずれも現状の利用を大きく上回る希望がみられる。

福祉用具
利用状況

サービスの種類	全体	既に所有	現在借りている	使っていない	無回答
ア.車いす	357	36	54	159	108
	100	10.1	15.1	44.5	30.3
イ.歩行者	357	16	24	190	127
	100	4.5	6.7	53.2	35.6
ウ.特殊寝台	357	29	73	151	104
	100	8.1	20.4	42.3	29.1
エ.移動用リフト	357	2	5	214	136
	100	0.6	1.4	59.9	38.1
オ.認知症徘徊感知機器	357	1	0	215	141
	100	0.3	0	60.2	39.5

今後の利用希望
上段:人
下段:%

買いたい	借りたい	必要ない	無回答
2	74	108	173
0.6	20.7	30.3	48.5
1	36	136	184
0.3	10.1	38.1	51.5
1	68	110	178
0.3	19	30.8	49.9
1	22	154	180
0.3	6.2	43.1	50.4
0	21	159	177
0	5.9	44.5	49.6

「カ.その他」として記入されたもの

購入済みのもの

回答	回答数
ポータブルトイレ	12
便座、便器	4
風呂・浴槽用椅子、シャワーチェア	24
手すり(浴室用を含む)	10
すべり止めマット	4
杖	8
歩行者、シルバーカー	7
防水シート	1
介護用バギー	1
外出用車椅子	1
ドアやガス台のつまみを回す器具	1
段のロープ	1
風呂用車椅子	1
靴履き椅子	1
浴室踏み台	1

借りているもの

回答	回答数
杖、四点杖	6
ベッド手すり	5
トイレ手すり	4
その他手すり	3
エアーマット(介助、床ずれ防止等)	6
スロープ	3
室内用車椅子	1
特殊クッション	1
寝台付属器	1
電動立ち上がり補助椅子	1
座椅子	1
リハビリ用椅子	1
押し車	1

買いたいもの

回答	回答数
手すり(浴室用を含む)	3
入浴補助用具	4
車椅子用低反発クッション	1
円座	1
補聴器	1
足温器	1
ポータブルトイレ	1
非常通報機器	1
ステッキ	1

借りたいもの

回答	回答数
非常通報機器(非常ベル)	2
特殊クッション	1
自動車椅子	1
電動立ち上がり補助椅子	1
段差用スロープ	1

現在『使っていない』で、今後『借りたい』ものとしては、「車いす」が 23.3%で比較的高く、次いで「特殊寝台」17.9%がある。

現在『借りている』で、今後『借りたい』ものでは、「車いす」「歩行器」「特殊寝台」「移動用リフト」で5割を超える利用希望が示されている。

福祉用具の利用状況と今後の利用意向

上段:人
下段:%

		全体	今後の利用希望			
			買いたい	借りたい	必要ない	無回答
ア.車いす	既に所有	36	0	1	15	20
		100	0	2.8	41.7	55.6
	現在借りている	54	0	29	0	25
		100	0	53.7	0	46.3
	使っていない	159	2	37	91	29
		100	1.3	23.3	57.2	18.2
イ.歩行器	既に所有	16	1	1	2	12
		100	6.3	6.3	12.5	75
	現在借りている	24	0	13	0	11
		100	0	54.2	0	45.8
	使っていない	190	0	21	127	42
		100	0	11.1	66.8	22.1
ウ.特殊寝台	既に所有	29	0	0	8	21
		100	0	0	27.6	72.4
	現在借りている	73	0	39	3	31
		100	0	53.4	4.1	42.5
	使っていない	151	1	27	97	26
		100	0.7	17.9	64.2	17.2
エ.移動用リフト	既に所有	2	0	0	0	2
		100	0	0	0	100
	現在借りている	5	0	3	1	1
		100	0	60	20	20
	使っていない	214	0	18	146	50
		100	0	8.4	68.2	23.4
オ.認知症老人徘徊感知機器	既に所有	1	0	0	0	1
		100	0	0	0	100
	現在借りている	0	0	0	0	0
		100	0	0	0	0
	使っていない	215	0	19	151	45
		100	0	8.8	70.2	20.9

(4)在宅サービスの評価

在宅サービスの満足度 * 該当者 = 357 人

問 12 現在利用しているサービスの評価についておたずねします。

(1) 満足度はいかがですか。(はそれぞれ1つ)

在宅サービスの利用者に対して、サービスの種類ごとに 満足度 を聞いたところ、『満足』との回答は、「訪問介護」33.9% (満足 21%、やや満足 12.9%)、「通所介護」27.1% (満足 17.6%、やや満足 9.5%)、「福祉用具貸与」26.6% (満足 18.2%、やや満足 8.4%)、「移送サービス」19.3% (満足 15.1%、やや満足 4.2%)、「住宅改修費の支給」18.8% (満足 10.4%、やや満足 8.4%)、「通所リハビリテーション」18.2% (満足 8.1%、やや満足 10.1%)、「訪問入浴介護」14.8% (満足 9.5%、やや満足 5.3%)であった。

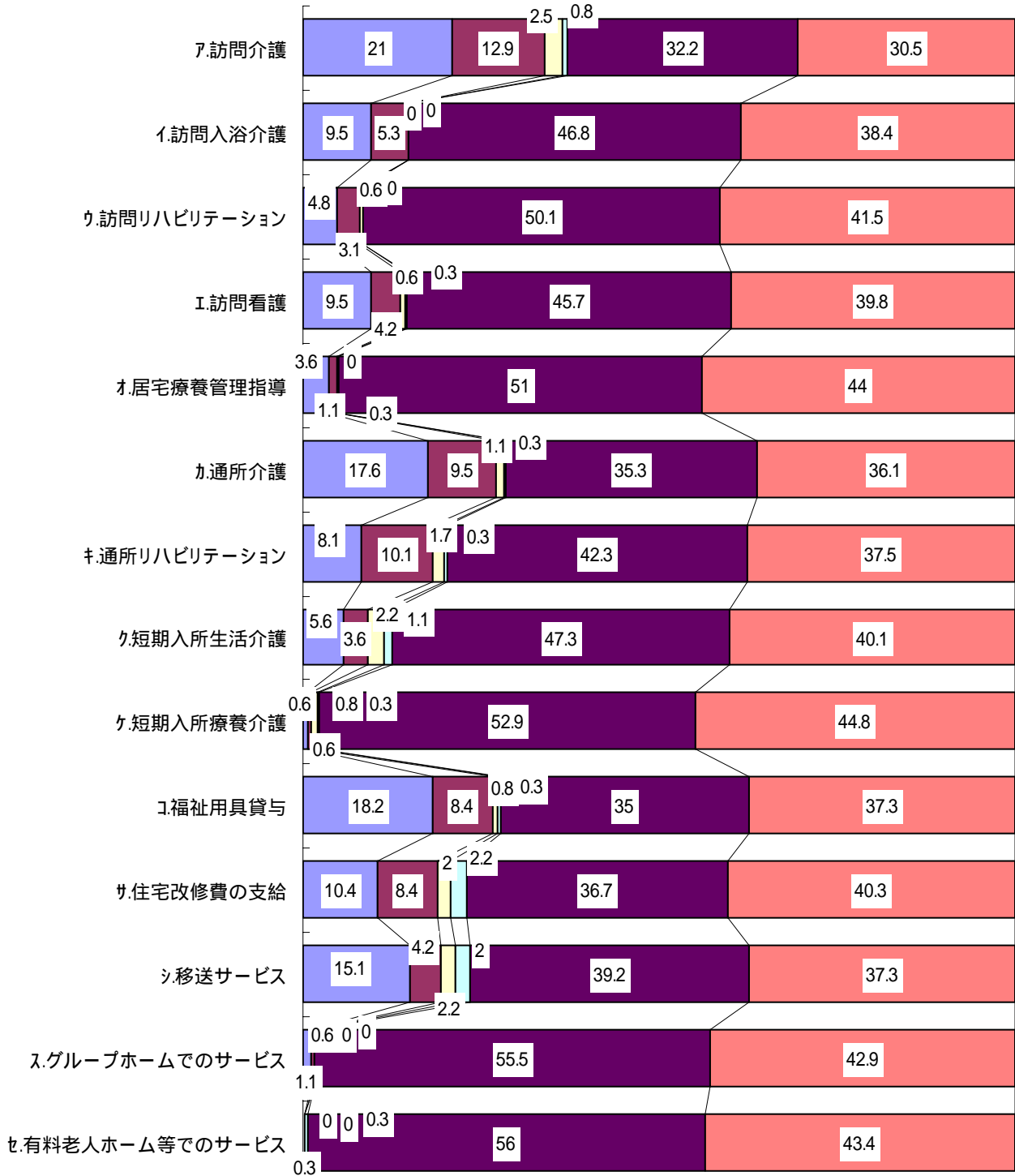
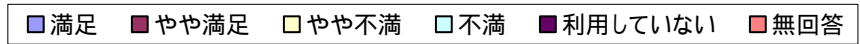
満足度が、現在の利用状況(問 11(1)「利用している」と、概ね比例している(利用しているサービスに満足している)ことがわかる。

利用しているサービスへの評価

上段:人
下段:%

サービスの種類	全体	満足	やや満足	やや不満	不満	利用していない	無回答
ア.訪問介護	357	75	46	9	3	115	109
	100	21	12.9	2.5	0.8	32.2	30.5
イ.訪問入浴介護	357	34	19	0	0	167	137
	100	9.5	5.3	0	0	46.8	38.4
ウ.訪問リハビリテーション	357	17	11	2	0	179	148
	100	4.8	3.1	0.6	0	50.1	41.5
エ.訪問看護	357	34	15	2	1	163	142
	100	9.5	4.2	0.6	0.3	45.7	39.8
オ.居宅療養管理指導	357	13	4	0	1	182	157
	100	3.6	1.1	0	0.3	51	44
カ.通所介護	357	63	34	4	1	126	129
	100	17.6	9.5	1.1	0.3	35.3	36.1
キ.通所リハビリテーション	357	29	36	6	1	151	134
	100	8.1	10.1	1.7	0.3	42.3	37.5
ク.短期入所生活介護	357	20	13	8	4	169	143
	100	5.6	3.6	2.2	1.1	47.3	40.1
ケ.短期入所療養介護	357	2	2	3	1	189	160
	100	0.6	0.6	0.8	0.3	52.9	44.8
コ.福祉用具貸与	357	65	30	3	1	125	133
	100	18.2	8.4	0.8	0.3	35	37.3
サ.住宅改修費の支給	357	37	30	7	8	131	144
	100	10.4	8.4	2	2.2	36.7	40.3
シ.移送サービス	357	54	15	8	7	140	133
	100	15.1	4.2	2.2	2	39.2	37.3
ス.グループホームでのサービス	357	4	2	0	0	198	153
	100	1.1	0.6	0	0	55.5	42.9
セ.有料老人ホーム等でのサービス	357	1	0	0	1	200	155
	100	0.3	0	0	0.3	56	43.4

単位：%



サービス事業所の選択で重視すること * 該当者 = 357 人

(2) サービス事業所を選ぶ際に重視したいことはどのようなことですか。

(それぞれあてはまるものすべてに)

<p>家庭を訪問するサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(介護予防)訪問介護 ・(介護予防)訪問入浴介護 ・(介護予防)訪問リハビリテーション ・(介護予防)訪問看護 ・(介護予防)居宅療養管理指導 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 仕事の正確さ(時間や契約内容の履行) 2. 職員の技術や態度 3. 連絡のとりやすさ(日頃の意思疎通や緊急対応) 4. 事業所の規模 5. 事業所の知名度や評判 6. 事業所の近さ 7. 提携施設や紹介便宜 8. その他
<p>施設へ通所・入所するサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(介護予防)通所リハビリテーション ・(介護予防)通所介護 ・(介護予防)短期入所生活介護 ・(介護予防)短期入所療養介護 ・(介護予防)グループホーム ・有料老人ホーム等 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 施設や設備の使い勝手(移動しやすさ、安全性) 2. 居心地よさ(清潔さ、明るさ、雰囲気など) 3. 活動内容(リハビリ、趣味活動、行事等) 4. 食事の質 5. 職員の技術や態度 6. 対応のきめ細かさ 7. 意思疎通のしやすさ 8. 併設・提携施設や紹介便宜 9. 自宅からの近さ 10. 事業所の規模 11. 事業所の知名度や評判 12. その他
<p>(介護予防)福祉用具貸与</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 用具の種類の多さ 2. 用具の質(新しさ、清潔さ等) 3. 事業所の規模 4. 事業所の知名度や評判 5. その他
<p>移送サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 臨機応変さ 2. 車の設備や快適さ 3. 職員の態度 4. 連絡のとりやすさ(日頃の意思疎通や緊急対応) 5. 事業所の規模 6. 事業所の知名度や評判 7. その他

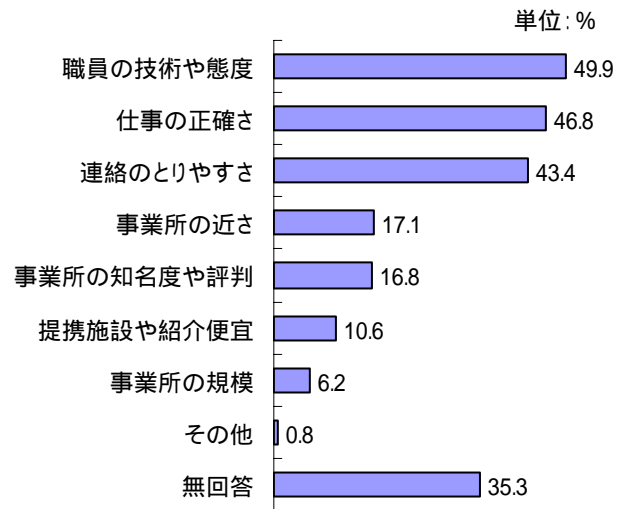
サービス事業所の選択で重視すること について、各サービスを ~ の類型に分け、それぞれについて聞いたところ、総じて、『事業所の知名度』や『事業所の規模』より、実際の『サービスの質』を重視する姿勢が顕著に示された。

家庭を訪問するサービスで重視することについては、「職員の技術や態度」49.9%、「仕事の正確さ」46.8%、「連絡のとりやすさ」43.4%と、サービスの質に関わる項目が上位を占めていることがわかる。

次いで、「事業所の近さ」17.1%、「事業所の知名度や評判」16.8%、「提携施設や紹介便宜」10.6%、であり、「事業所の規模」は6.2%で低位となっている。

家庭を訪問するサービス(複数回答)

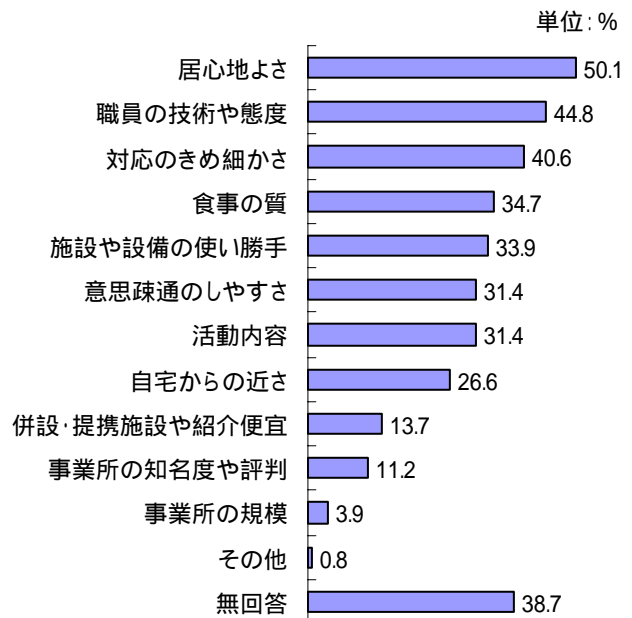
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	仕事の正確さ	167	46.8
2	職員の技術や態度	178	49.9
3	連絡のとりやすさ	155	43.4
4	事業所の規模	22	6.2
5	事業所の知名度や評判	60	16.8
6	事業所の近さ	61	17.1
7	提携施設や紹介便宜	38	10.6
8	その他	3	0.8
	無回答	126	35.3
	全体	357	100



施設へ通所・入所するサービスで重視することについては、「居心地よさ」50.1%、「職員の技術や態度」44.8%、「対応のきめ細かさ」40.6%、「食事の質」34.7%、「施設や設備の使い勝手」33.9%、「意思疎通のしやすさ」31.4%、「活動内容」31.4%、「自宅からの近さ」26.6%という項目が続き、「事業所の知名度や評判」11.2%、「事業所の規模」3.9%となっている。

施設へ通所・入所するサービス(複数回答)

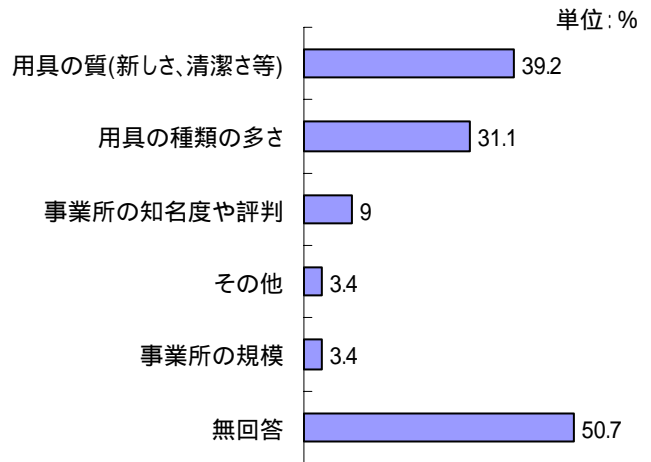
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	施設や設備の使い勝手	121	33.9
2	居心地よさ	179	50.1
3	活動内容	112	31.4
4	食事の質	124	34.7
5	職員の技術や態度	160	44.8
6	対応のきめ細かさ	145	40.6
7	意思疎通のしやすさ	112	31.4
8	併設・提携施設や紹介便宜	49	13.7
9	自宅からの近さ	95	26.6
10	事業所の規模	14	3.9
11	事業所の知名度や評判	40	11.2
12	その他	3	0.8
	無回答	138	38.7
	全体	357	100



福祉用具貸与で重視していることについては、「用具の質」39.2%、「用具の種類の数」31.1%であり、「事業所の知名度や評判」は9%、そして「事業所の規模」は3.4%となっている。

福祉用具貸与(複数回答)

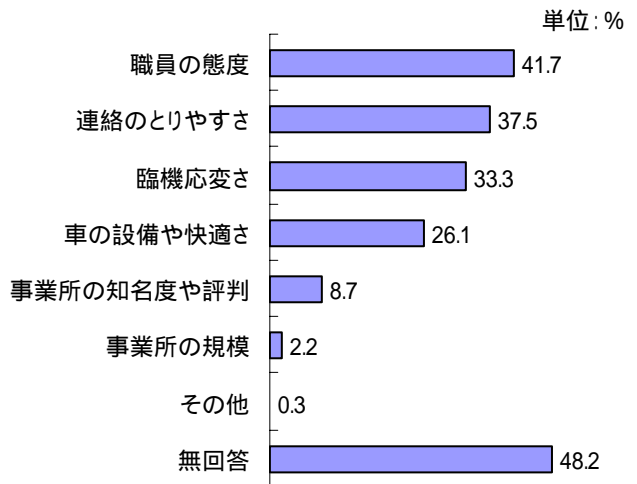
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	用具の種類の数	111	31.1
2	用具の質(新しさ、清潔さ等)	140	39.2
3	事業所の規模	12	3.4
4	事業所の知名度や評判	32	9
5	その他	12	3.4
	無回答	181	50.7
	全体	357	100



移送サービスで重視していることについては、「職員の態度」41.7%、「連絡のとりやすさ」37.5%、「臨機応変さ」33.3%が上位を占め、それに次いで「車の設備や快適さ」26.1%となっている。「事業所の知名度や評判」は8.7%、「事業所の規模」は2.2%であった。

移送サービス(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	臨機応変さ	119	33.3
2	車の設備や快適さ	93	26.1
3	職員の態度	149	41.7
4	連絡のとりやすさ	134	37.5
5	事業所の規模	8	2.2
6	事業所の知名度や評判	31	8.7
7	その他	1	0.3
	無回答	172	48.2
	全体	357	100



(5) 支給限度額とサービスの利用

支給限度額に対する利用の程度 * 該当者 = 357 人

問 13 あなたは、認定された支給限度額のどの程度までサービスを利用していますか。(は1つ)

1. 支給限度額を超えて保険外でも利用している → 問 13 (1)

2. 支給限度額の 9 割以上利用している

3. 支給限度額までは利用していない → 問 13 (2)

4. ケアマネジャーから「サービス利用票別表」をもらっていない

5. わからない

介護保険の 支給限度額に対する利用の程度 について聞いたところ、半数以上の 53.5%が「支給限度額までは利用していない」と回答した。

「限度額を超えて保険外でも利用している」は 13.4%、「支給限度額の 9 割以上利用している」は 7.8%であった。

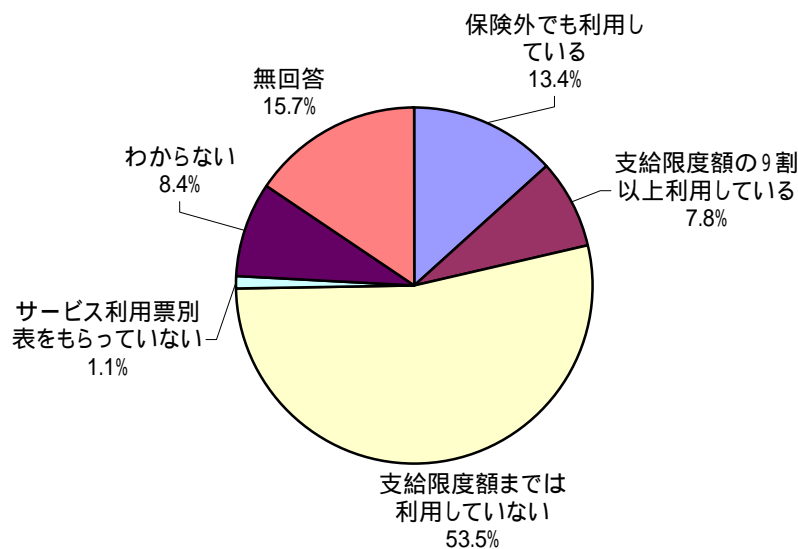
また、「わからない」8.4%、「ケアマネジャーから『サービス利用票別表』をもらっていない」との回答は 1.1%みられる。

サービス利用の支給限度額程度

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	限度額を超えて保険外でも利用している	48	13.4
2	支給限度額の 9 割以上利用している	28	7.8
3	支給限度額までは利用していない	191	53.5
4	サービス利用票別表をもらっていない	4	1.1
5	わからない	30	8.4
	無回答	56	15.7
	全体	357	100

→ 問 13(1)

↓ 問 13(2)



年齢別にみると、「支給限度額までは利用していない」との回答は、65～74歳では64.6%、75歳以上では52.7%となっている。

要介護度別では、「保険外でも利用している」が1割以上なのが要支援1、2と要介護2、3、そして要介護4、5では22.2%となっている。

上段:人
下段:%

		全体	サービス利用の支給限度額程度					
			保険外でも利用している	支給限度額の9割以上利用している	支給限度額までは利用していない	サービス利用票別表をもらっていない	わからない	無回答
合計		357	48	28	191	4	30	56
		100	13.4	7.8	53.5	1.1	8.4	15.7
年齢	64歳以下	15	2	2	5	0	1	5
		100	13.3	13.3	33.3	0	6.7	33.3
	65～74歳	48	3	3	31	0	1	10
		100	6.3	6.3	64.6	0	2.1	20.8
	75歳以上	294	43	23	155	4	28	41
		100	14.6	7.8	52.7	1.4	9.5	13.9
要介護度	要支援1、2	117	17	5	57	3	12	23
		100	14.5	4.3	48.7	2.6	10.3	19.7
	要介護1	50	4	4	30	1	7	4
		100	8	8	60	2	14	8
	要介護2、3	122	13	10	75	0	6	18
		100	10.7	8.2	61.5	0	4.9	14.8
	要介護4、5	63	14	8	27	0	5	9
		100	22.2	12.7	42.9	0	7.9	14.3
	知らない	1	0	1	0	0	0	0
		100	0	100	0	0	0	0
居住圏域	東部圏域	184	24	11	103	1	13	32
		100	13	6	56	0.5	7.1	17.4
	西部圏域	169	24	16	85	3	17	24
		100	14.2	9.5	50.3	1.8	10.1	14.2

支給限度額を超えて利用している人 * 該当者 = 48 人

(1)【「1. 支給限度額を超えて利用している」と答えた方におたずねします。】

限度額を超えて利用している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

1. 限度額の範囲内では在宅生活が続けられない
2. 介護者の介護時間を減らす必要がある
3. もっと多くのサービスを利用したい
4. ケアマネジャーや事業所の勧めに納得して
5. ケアマネジャーや事業所の勧めでやむなく
6. その他()

主に利用しているサービスは何ですか。(は3つまで)

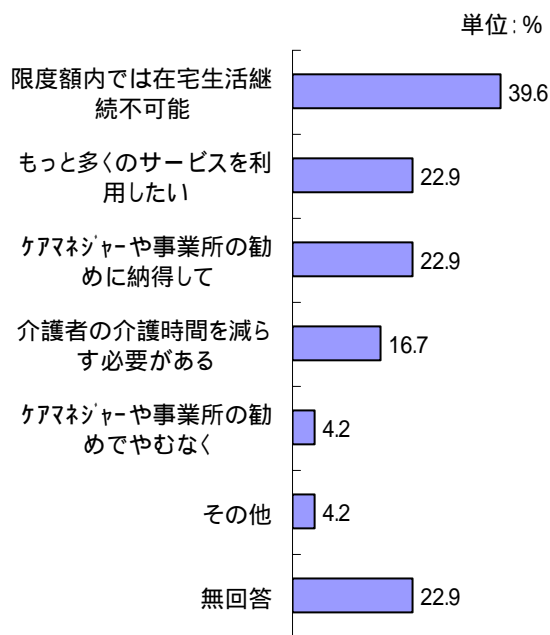
1. (介護予防)訪問介護
2. (介護予防)訪問入浴介護
3. (介護予防)訪問リハビリテーション
4. (介護予防)訪問看護
5. (介護予防)居宅療養管理指導
6. (介護予防)通所介護
7. (介護予防)通所リハビリテーション
8. (介護予防)短期入所生活介護
9. (介護予防)福祉用具貸与
10. わからない
11. その他

「支給限度額を超えて保険外でも利用している」と答えた 48 人に対し、限度額を超えて利用している理由を聞いたところ、「限度額内では在宅生活が続けられない」39.6%、「もっと多くのサービスを利用したい」22.9%、「ケアマネジャーや事業所の勧めに納得して」22.9%が上位を占めている。

主に利用しているサービスとしては、「訪問介護」43.8%、「通所介護」22.9%、「通所リハビリテーション」22.9%、「福祉用具貸与」22.9%、「訪問入浴介護」16.7%、「短期入所生活介護」16.7%となっている。

限度額を超えている理由(複数回答) * 該当者 = 48人

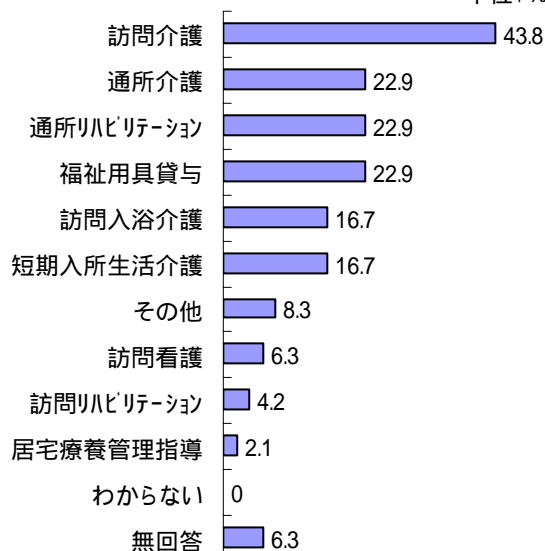
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	限度額内では在宅生活継続不可能	19	39.6
2	介護者の介護時間を減らす必要がある	8	16.7
3	もっと多くのサービスを利用したい	11	22.9
4	ケアマネジャーや事業所の勧めに納得して	11	22.9
5	ケアマネジャーや事業所の勧めでやむなく	2	4.2
6	その他	2	4.2
	無回答	11	22.9
	全体	48	100



主に利用しているサービス(複数回答) * 該当者 = 48人

単位: %

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	訪問介護	21	43.8
2	訪問入浴介護	8	16.7
3	訪問リハビリテーション	2	4.2
4	訪問看護	3	6.3
5	居宅療養管理指導	1	2.1
6	通所介護	11	22.9
7	通所リハビリテーション	11	22.9
8	短期入所生活介護	8	16.7
9	福祉用具貸与	11	22.9
10	わからない	0	0
11	その他	4	8.3
	無回答	3	6.3
	全体	48	100



限度額を超えて利用している理由について、要介護度別にみると、要介護1と要介護4、5では、「限度額内では在宅生活が続けられない」が半数を占めている。

上段: 人
下段: %

	全体	限度額を超えている理由(複数回答)							
		限度額内では在宅生活継続不可能	介護者の介護時間を減らす必要あり	もっと多くのサービスを利用したい	ケアマネジャーや事業所の勧めに納得して	ケアマネジャーや事業所の勧めでやむなく	その他	無回答	
合計	48 100	19 39.6	8 16.7	11 22.9	11 22.9	2 4.2	2 4.2	11 22.9	
年齢	64歳以下	2 100	1 50	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 50
	65~74歳	3 100	1 33.3	0 0	0 0	0 0	0 0	1 33.3	1 33.3
	75歳以上	22 100	6 27.3	1 4.5	6 27.3	6 27.3	0 0	1 4.5	6 27.3
要介護度	要支援1、2	17 100	6 35.3	0 0	5 29.4	5 29.4	0 0	1 5.9	5 29.4
	要介護1	4 100	2 50	1 25	1 25	2 50	1 25	0 0	0 0
	要介護2、3	13 100	4 30.8	2 15.4	4 30.8	2 15.4	1 7.7	1 7.7	3 23.1
	要介護4、5	14 100	7 50	5 35.7	1 7.1	2 14.3	0 0	0 0	3 21.4
	知らない	0 100	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
居住圏域	東部圏域	24 100	12 50	5 20.8	6 25	4 16.7	1 4.2	1 4.2	5 20.8
	西部圏域	24 100	7 29.2	3 12.5	5 20.8	7 29.2	1 4.2	1 4.2	6 25

支給限度額まで利用していない人 * 該当者 = 191 人

(2)【「3. 支給限度額までは利用していない」と答えた方におたずねします。】

利用額は、支給限度額の何割くらいですか。(は1つ)

- 1. 3割未満
- 2. 3割以上5割未満
- 3. 5割以上7割未満
- 4. 7割以上9割未満

限度額まで利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに)

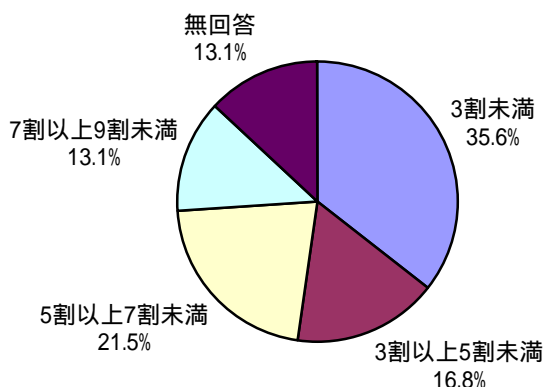
- 1. 家族も協力してくれるので
- 2. 他人を家に入れたくない
- 3. サービス事業所が見つからない
- 4. 利用料の負担が大変だから
- 5. 利用したいサービスがない
- 6. 限度額まで使う必要はとくにないから
- 7. その他()

「支給限度額までは利用していない」と答えた 191 人に対し、利用割合 を聞いたところ、「3割未満」が 35.6%と最も多いほか、「3割以上5割未満」16.8%、「5割以上7割未満」21.5%、「7割以上9割未満」13.1%と、様々であることがわかった。

限度額まで利用していない理由 としては、「限度額まで使う必要はとくにないから」58.1%、「家族も協力してくれるので」42.4%が上位を占めている。このほか、「利用料の負担が大変だから」16.2%、「利用したいサービスがない」12%、「他人を家に入れたくない」8.4%などがみられる。

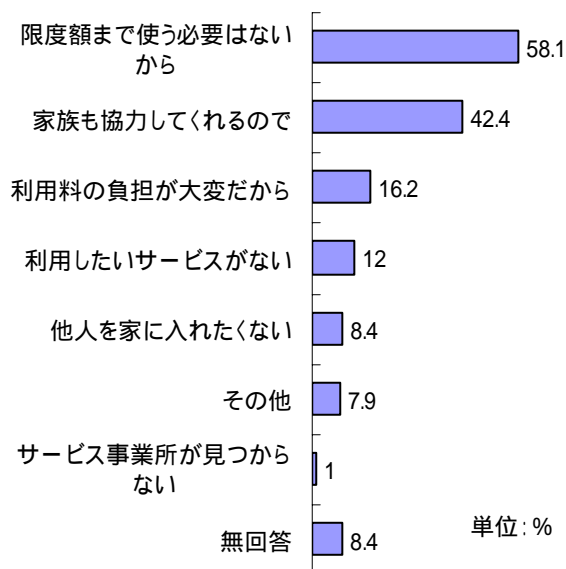
支給限度額の利用割合 * 該当者 = 191人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	3割未満	68	35.6
2	3割以上5割未満	32	16.8
3	5割以上7割未満	41	21.5
4	7割以上9割未満	25	13.1
	無回答	25	13.1
	全体	191	100



限度額まで利用していない理由(複数回答) * 該当者 = 191人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	家族も協力してくれるので	81	42.4
2	他人を家に入れたくない	16	8.4
3	サービス事業所が見つからない	2	1
4	利用料の負担が大変だから	31	16.2
5	利用したいサービスがない	23	12
6	限度額まで使う必要はないから	111	58.1
7	その他	15	7.9
	無回答	16	8.4
	全体	191	100



単位: %

「7.その他」への回答

利用の節約
使うものが税金なので、なるべく少なくと心がけている。
税金は少しでも節約したい。
自分が使わない分、他の人に回せる。使い切れればいいというものではない。
できる限り、国県市に負担をかけないように努力している。
できるだけ自分で頑張りたい。

使うことができない
デイケアでして頂けることには限りがある。
使い切れていない(休日対応が不可能だから)。
移送サービスが使えないから。
もっと使いたい、今年の4月から時間を減らされた。
利用するのに条件が合わない。

限度額まで利用していない理由について、64歳以下では「限度額まで使う必要はないから」が80%と、他の年代に比べて高くなっている。

要介護度別では、要介護4、5で「家族も協力してくれるので」の割合が高くなっている。また、要介護4、5では他の層と比べて、「他人を家に入れたくない」と「利用料の負担が大変だから」という回答も多く見られる。

上段:人
下段:%

	全体	限度額まで利用していない理由(複数回答)								
		家族も協力してくれるので	他人を家に入れたくない	サービス事業所が見つからない	利用料の負担が大変だから	利用したいサービスがない	限度額まで使う必要はないから	その他	無回答	
合計	191 100	81 42.4	16 8.4	2 1	31 16.2	23 12	111 58.1	15 7.9	16 8.4	
年齢	64歳以下	5 100	0 0	0 0	0 0	1 20	0 0	4 80	0 0	1 20
	65～74歳	31 100	16 51.6	2 6.5	1 3.2	7 22.6	3 9.7	15 48.4	3 9.7	1 3.2
	75歳以上	155 100	65 41.9	14 9	1 0.6	23 14.8	20 12.9	92 59.4	12 7.7	14 9
要介護度	要支援1、2	57 100	17 29.8	3 5.3	1 1.8	4 7	4 7	36 63.2	3 5.3	6 10.5
	要介護1	30 100	13 43.3	2 6.7	0 0	4 13.3	5 16.7	15 50	4 13.3	3 10
	要介護2、3	75 100	33 44	6 8	1 1.3	14 18.7	11 14.7	42 56	7 9.3	6 8
	要介護4、5	27 100	17 63	5 18.5	0 0	9 33.3	3 11.1	17 63	1 3.7	1 3.7
	知らない	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
居住圏域	東部圏域	103 100	44 42.7	8 7.8	2 1.9	14 13.6	10 9.7	60 58.3	9 8.7	9 8.7
	西部圏域	85 100	36 42.4	7 8.2	0 0	16 18.8	12 14.1	49 57.6	5 5.9	7 8.2

(6)介護保険以外の希望サービス

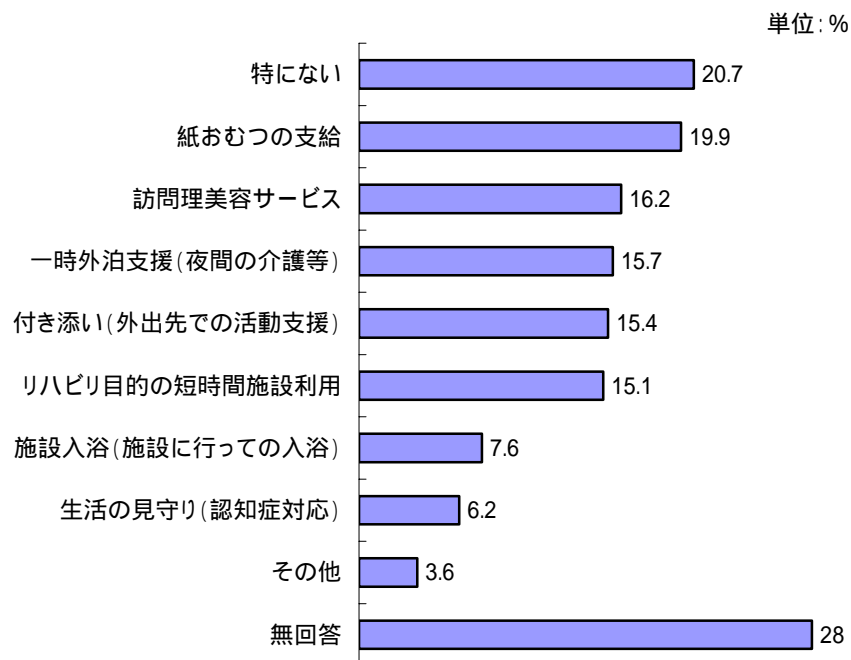
介護保険以外の希望サービス * 該当者 = 357 人

問 14 現行の介護保険サービス以外（問 1 1 にあるサービス以外）で、希望するサービスをお知らせください。（あてはまるものすべてに ）	
1 . 一時外泊支援（夜間の介護等）	6 . 紙おむつの支給
2 . 付き添い（外出先での活動支援）	7 . 訪問理美容サービス
3 . 生活の見守り（認知症対応）	8 . その他（ ）
4 . 施設入浴（施設に行つての入浴）	9 . 特にない
5 . リハビリ目的の短時間施設利用	

在宅サービス利用者に対し、介護保険外の希望サービス について聞いたところ、「特にない」という回答が 20.7%であったが、「紙おむつの支給」19.9%、「訪問理美容サービス」16.2%、「一時外泊支援（夜間の介護等）」15.7%、「付き添い（外出先での活動支援）」15.4%、「リハビリ目的の短時間施設利用」15.1%、「施設入浴（施設に行つての入浴）」7.6%、「生活の見守り（認知症対応）」6.2%など、さまざまなサービスに対するニーズも示されている。

介護保険以外の希望サービス(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	一時外泊支援(夜間の介護等)	56	15.7
2	付き添い(外出先での活動支援)	55	15.4
3	生活の見守り(認知症対応)	22	6.2
4	施設入浴(施設に行つての入浴)	27	7.6
5	リハビリ目的の短時間施設利用	54	15.1
6	紙おむつの支給	71	19.9
7	訪問理美容サービス	58	16.2
8	その他	13	3.6
9	特にない	74	20.7
	無回答	100	28
	全体	357	100



年齢別で見ると、「紙おむつ支給」が、75歳以上で21.1%とやや高くなっている。

要介護度別では、要介護度の高い層で、「紙おむつ支給」や「訪問理美容サービス」への要望が高くなっている。また、要介護4、5で「一時外泊支援（夜間の介護等）」が34.9%と、比較的高い割合となっている。

上段：人
下段：%

		全体	介護保険以外の希望サービス(複数回答)									
			一時外泊支援等 (夜間の介護等)	付き添い (外出先での活動支援)	生活の見守り (認知症対応)	施設入浴 (施設に行つての入浴)	施設利用	リハビリ目的の短時間施設	紙おむつの支給	訪問理美容サービス	その他	特にない
合計		357	56	55	22	27	54	71	58	13	74	100
		100	15.7	15.4	6.2	7.6	15.1	19.9	16.2	3.6	20.7	28
年齢	64歳以下	15	3	0	1	1	2	2	1	0	5	7
		100	20	0	6.7	6.7	13.3	13.3	6.7	0	33.3	46.7
	65～74歳	48	7	9	1	5	12	7	7	2	6	16
		100	14.6	18.8	2.1	10.4	25	14.6	14.6	4.2	12.5	33.3
	75歳以上	294	46	46	20	21	40	62	50	11	63	77
		100	15.6	15.6	6.8	7.1	13.6	21.1	17	3.7	21.4	26.2
要介護度	要支援1、2	117	5	13	0	4	10	10	9	3	35	44
		100	4.3	11.1	0	3.4	8.5	8.5	7.7	2.6	29.9	37.6
	要介護1	50	6	14	6	3	10	4	4	3	13	8
		100	12	28	12	6	20	8	8	6	26	16
	要介護2、3	122	22	21	10	10	23	34	27	4	17	30
		100	18	17.2	8.2	8.2	18.9	27.9	22.1	3.3	13.9	24.6
要介護4、5	63	22	7	6	9	11	22	18	3	9	14	
	100	34.9	11.1	9.5	14.3	17.5	34.9	28.6	4.8	14.3	22.2	
知らない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	
居住圏域	東部圏域	184	31	27	11	13	33	39	31	10	39	49
		100	16.8	14.7	6	7.1	17.9	21.2	16.8	5.4	21.2	26.6
	西部圏域	169	24	28	11	12	21	30	27	2	34	51
		100	14.2	16.6	6.5	7.1	12.4	17.8	16	1.2	20.1	30.2

(7)介護保険施設等への入所・入居希望

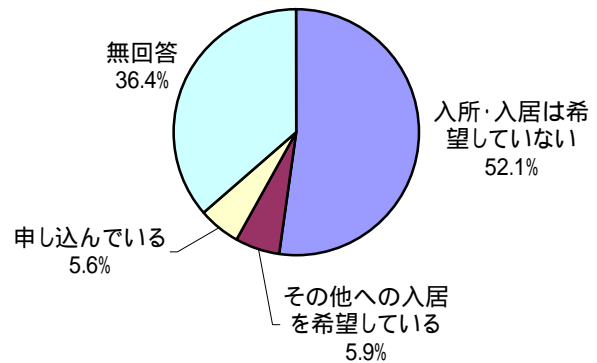
介護保険施設等への入所・入居希望 * 該当者 = 357 人

問 15 介護保険施設等への入所・入居希望について伺います（短期入所は除きます）。（ は1つ）
1 . 申し込んでいる 問 1 5 (1)、(3)
2 . その他の生活の場への入居を希望している 問 1 5 (2)
3 . 入所・入居は希望していない

在宅サービス利用者に対して、介護保険施設等への入所・入居希望について聞いたところ、52.1%と半数以上が「入所・入居は希望していない」と答えた。「申し込んでいる」は 5.6%、「その他の生活の場への入居を希望している」は 5.9%であった。

介護保険施設等への入所・入居希望

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	申し込んでいる	20	5.6
2	その他の生活の場への入居を希望している	21	5.9
3	い	186	52.1
	無回答	130	36.4
	全体	357	100



要介護度別では、要介護 4、5 で「申し込んでいる」と「その他の生活の場への入居を希望している」が約 1 割ある。

家族構成別にみると、配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯や同居世帯で、「申し込んでいる」との回答が、他の層と比べると、やや高い。

上段:人
下段:%

		全体	介護保険施設等への入所・入居希望			
			申し込んでいる	その他への入居を希望している	入所・入居は希望していない	無回答
合計		357	20	21	186	130
		100	5.6	5.9	52.1	36.4
要介護度	要支援1、2	117	5	3	57	52
		100	4.3	2.6	48.7	44.4
	要介護1	50	3	4	26	17
		100	6	8	52	34
	要介護2、3	122	3	7	73	39
		100	2.5	5.7	59.8	32
要介護4、5		63	7	7	28	21
		100	11.1	11.1	44.4	33.3
知らない		1	1	0	0	0
		100	100	0	0	0
家族構成	ひとり暮らし	81	2	7	44	28
		100	2.5	8.6	54.3	34.6
	配偶者のみ(二人世帯)	100	4	6	42	48
		100	4	6	42	48
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	41	3	0	25	13
	100	7.3	0	61	31.7	
その他の世帯(同居世帯)		128	10	8	75	35
		100	7.8	6.3	58.6	27.3

入所を申し込んでいる施設 * 該当者 = 20 人

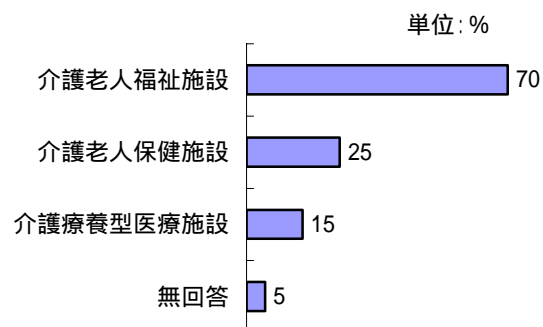
(1)【「1.申し込んでいる」とお答えの方におたずねします。】
 申し込んでいる施設はどれですか。(あてはまるものすべてに)
 1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
 2. 介護老人保健施設 (老人保健施設)
 3. 介護療養型医療施設 (療養型病床群等)

介護保険施設に「申し込んでいる」と答えた 20 人に対し、入所を申し込んでいる施設 について聞いたところ、14 人 (70%) が「介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)」と答えた。次いで「介護老人保健施設」5 人、「介護療養型医療施設」3 人であった。

申し込んでいる施設 (複数回答) * 該当者 = 20 人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	介護老人福祉施設	14	70
2	介護老人保健施設	5	25
3	介護療養型医療施設	3	15
	無回答	1	5
	全体	20	100

次頁へ



要介護度別でみると、要介護 2、3 で「介護老人保健施設」と「介護療養型医療施設」の割合が比較的高くなっている。

上段: 人
下段: %

		全体	申し込んでいる施設 (複数回答)			
			介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	無回答
合計		20	14	5	3	1
		100	70	25	15	5
年齢	64歳以下	1	0	0	1	0
		100	0	0	100	0
	65～74歳	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
	75歳以上	19	14	5	2	1
		100	73.7	26.3	10.5	5.3
要介護度	要支援1、2	5	3	2	0	1
		100	60	40	0	20
	要介護1	3	3	0	0	0
		100	100	0	0	0
	要介護2、3	3	1	2	2	0
	100	33.3	66.7	66.7	0	
	要介護4、5	7	5	1	1	0
		100	71.4	14.3	14.3	0
	知らない	1	1	0	0	0
		100	100	0	0	0
居住圏域	東部圏域	10	6	3	3	0
		100	60	30	30	0
	西部圏域	10	8	2	0	1
		100	80	20	0	10

特別養護老人ホームへの入所意向 * 該当者 = 14 人

【特別養護老人ホームに入所を申し込んでいる方におたずねします。】

何か所に申し込みをしましたか。(それぞれ は1つ)

ア. 市内	1. 0か所	2. 1か所	3. 2か所	
イ. 市外	1. 0か所	2. 1か所	3. 2か所	4. 3か所以上

あなたのご希望は、次のうちどれですか。(は1つ)

- 1. どこでもいいから早く入所したい
- 2. 希望の施設に入れるまで待ちたい
- 3. 将来必要なときに入りたい

入所の際、優先させて欲しい条件は何ですか。(は3つまで)

- 1. 要介護度
- 2. 年齢
- 3. 他サービスの利用状況
- 4. 介護をしている期間
- 5. 介護者等の状況
- 6. 申込期間
- 7. その他

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）に申し込んだと答えている 14 人に対し、その内容や意向を聞いたところ、次のとおりの結果となった。

申し込み箇所数 については、市内では「1 か所」7 人、「2 か所」5 人となっている。市外では、「1 か所」および「3 か所以上」が 2 人であった。

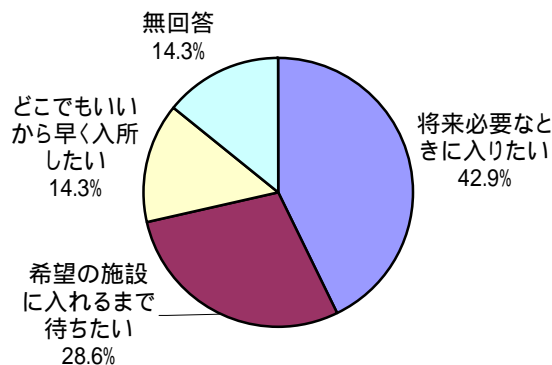
申し込み箇所数 * 該当者 = 14人 単位: 人

	全体	市外				
		0か所	1か所	2か所	3か所以上	無回答
合計	14	0	2	1	2	9
市内	0か所	1	0	0	0	1
	1か所	7	0	2	0	5
	2か所	5	0	0	2	3
	無回答	1	0	0	1	0

入所時期の希望 について聞いたところ、14 人中 6 人 (42.9%) が「将来必要なときに入りたい」と答えた。このほか、「希望の施設に入れるまで待ちたい」4 人 (28.6%)、「どこでもいいから早く入りたい」は 2 人 (14.3%) であった。

入所時期の希望 * 該当者 = 14人

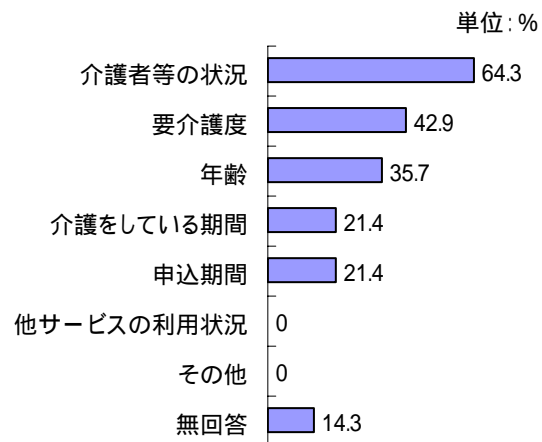
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	どこでもいいから早く入所したい	2	14.3
2	希望の施設に入れるまで待ちたい	4	28.6
3	将来必要なときに入りたい	6	42.9
	無回答	2	14.3
	全体	14	100



入所の優先条件 について希望を聞いたところ、14人中9人(64.3%)が「介護者等の状況」と答えた。また、「要介護度」42.9%、「年齢」35.7%、「介護をしている期間」及び「申込期間」各 21.4%となっている。

入所の優先条件(複数回答) * 該当者 = 14人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	要介護度	6	42.9
2	年齢	5	35.7
3	他サービスの利用状況	0	0
4	介護をしている期間	3	21.4
5	介護者等の状況	9	64.3
6	申込期間	3	21.4
7	その他	0	0
	無回答	2	14.3
	全体	14	100



介護保険施設以外の生活の場への入居希望 * 該当者 = 21人

(2)【「2. その他の生活の場への入居を希望している」とお答えの方におたずねします。】

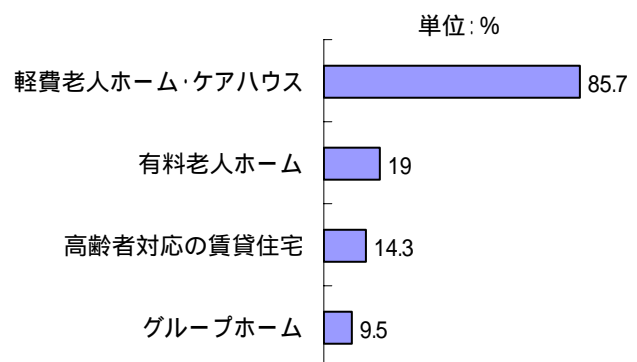
どのような場所への入居を希望されていますか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 有料老人ホーム | 4. 高齢者対応の賃貸住宅 |
| 2. 軽費老人ホーム・ケアハウス | 5. その他 () |
| 3. グループホーム | |

介護保険施設以外の施設への入居希望者 21人に対して、希望している施設の種類の聞いたところ、18人(85.7%)が「軽費老人ホーム・ケアハウス」、4人(19%)が「有料老人ホーム」と答えた。

希望入居場所 * 該当者 = 21人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	有料老人ホーム	4	19
2	軽費老人ホーム・ケアハウス	18	85.7
3	グループホーム	2	9.5
4	高齢者対応の賃貸住宅	3	14.3
5	その他	0	0
	無回答	0	0
	全体	21	100



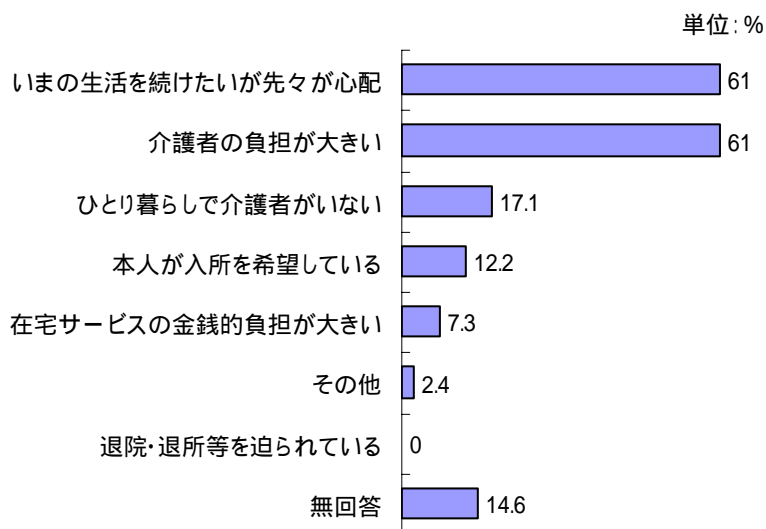
入所・入居を希望する理由 * 該当者 = 41 人

(3)【(1)(2)にお答えの方におたずねします。】入所を希望する理由をお知らせください。
 (あてはまるものすべてに)

- 1 . いまの生活を続けたいが先々の心配がある
- 2 . ひとり住まいなので介護をしてくれる人がいない
- 3 . 介護者の負担が大きい
- 4 . 本人が入所を希望している
- 5 . 病院や老人保健施設から退院・退所を迫られている
- 6 . 在宅サービスを受けているが金銭的負担が大きい
- 7 . その他 (具体的に)

自宅以外の生活の場への入所・入居を希望している 41 人に対し、入所・入居を希望する理由 について聞いたところ、「いまの生活を続けたいが先々の心配がある」および「介護者の負担が大きい」が 61%で最も高く、次いで「ひとり住まいなので介護をしてくれる人がいない」17.1%となっている。このほか、「本人が入所を希望している」12.2%、「在宅サービスを受けているが金銭的負担が大きい」7.3%である。

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	いまの生活を続けたいが先々が心配	25	61
2	ひとり住まいなので介護をしてくれる人がいない	7	17.1
3	介護者の負担が大きい	25	61
4	本人が入所を希望している	5	12.2
5	病院や老人保健施設から退院・退所を迫られている	0	0
6	在宅サービスを受けているが金銭的負担が大きい	3	7.3
7	その他	1	2.4
	無回答	6	14.6
	全体	41	100



入居希望の理由を要介護度別にみると、要支援1、2の75%が「いまの生活を続けたいが先々の心配がある」と答えている。また、要介護度が高いほど、「介護者の負担が大きい」の割合が高くなっている。

家族構成では、ひとり暮らしの場合、「いまの生活を続けたいが先々の心配がある」と「ひとり暮らしで介護者がいない」の割合が高く、配偶者以外の65歳以上の方との世帯と同居世帯では、「介護者の負担が大きい」の割合が高くなっている。

上段:人
下段:%

	全体	入所希望の理由(複数回答)								
		いまの生活を続けたいが先々の心配	ひとり暮らしで介護者がいない	介護者の負担が大きい	本人が入所を希望している	退院・退所等を迫られている	在宅サービスの金銭的負担が大きい	その他	無回答	
合計	41 100	25 61	7 17.1	25 61	5 12.2	0 0	3 7.3	1 2.4	6 14.6	
年齢	64歳以下	2 100	0 0	1 50	1 50	0 0	0 0	0 0	1 50	
	65～74歳	2 100	1 50	2 100	0 0	2 100	0 0	0 0	0 0	
	75歳以上	37 100	24 64.9	4 10.8	24 64.9	3 8.1	0 0	3 8.1	1 2.7	5 13.5
要介護度	要支援1、2	8 100	6 75	2 25	3 37.5	1 12.5	0 0	0 0	0 0	
	要介護1	7 100	4 57.1	1 14.3	3 42.9	1 14.3	0 0	0 0	2 28.6	
	要介護2、3	10 100	6 60	3 30	8 80	2 20	0 0	0 10	1 0	
	要介護4、5	14 100	8 57.1	1 7.1	10 71.4	1 7.1	0 0	3 21.4	0 21.4	
	知らない	1 100	1 100	0 0	1 100	0 0	0 0	0 0	0 0	
居住圏域	東部圏域	25 100	14 56	5 20	16 64	3 12	0 0	2 8	1 4	3 12
	西部圏域	16 100	11 68.8	2 12.5	9 56.3	2 12.5	0 0	1 6.3	0 0	3 18.8
家族構成	ひとり暮らし	9 100	7 77.8	6 66.7	3 33.3	2 22.2	0 0	0 0	1 11.1	0 0
	配偶者のみ(二人世帯)	10 100	6 60	0 0	5 50	1 10	0 0	0 0	0 0	4 40
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	3 100	1 33.3	0 0	2 66.7	0 0	0 0	0 0	0 0	1 33.3
	その他の世帯(同居世帯)	18 100	10 55.6	1 5.6	15 83.3	2 11.1	0 0	3 16.7	0 0	1 5.6

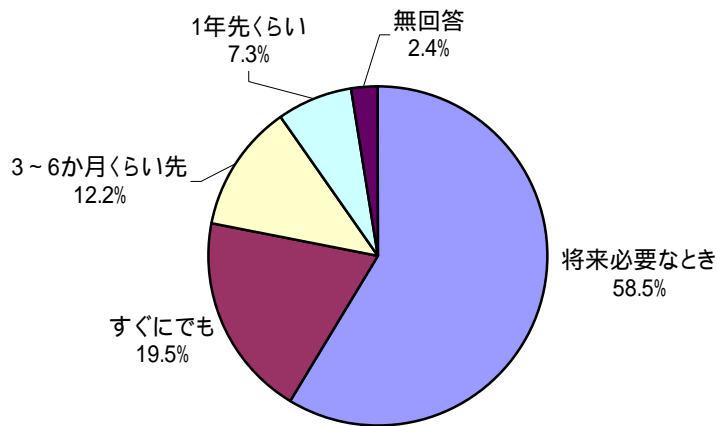
入所・入居の希望時期 * 該当者 = 41 人

- (4) 入所・入居を希望する時期はいつごろですか。(は1つ)
- 1 . すぐにでも
 - 2 . 3～6か月くらい先
 - 3 . 1年先くらい
 - 4 . 将来必要なとき

自宅以外の生活の場への入所・入居を希望している 41 人に対し、入所・入居希望時期 を聞いたところ、「将来必要なとき」が 58.5%で最も多く、次いで「すぐにでも」が 19.5%である。このほか、「3～6か月くらい先」12.2%、「1年先くらい」7.3%となっている。

入所・入居の希望時期 * 該当者 = 41人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	すぐにでも	8	19.5
2	3～6か月くらい先	5	12.2
3	1年先くらい	3	7.3
4	将来必要なとき	24	58.5
	無回答	1	2.4
	全体	41	100



5 施設への入所・入居状況

(1)入所・入居の経緯

入所までの待機期間 * 該当者 = 148 人

問 16 現在入所・入院している施設について、それまでの経緯をおたずねします。

(1) 入所・入院するまでの待機期間は、どのくらいありましたか(は1つ)

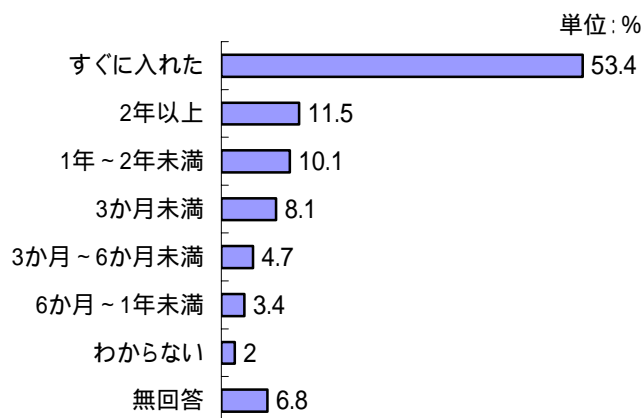
1. すぐに入れた 3. 3か月～6か月未満 5. 1年～2年未満 7. わからない
2. 3か月未満 4. 6か月～1年未満 6. 2年以上

介護保険施設およびその他施設への入所・入居者 148 人に対し、入所・入院までの待機期間を聞いた。

半数以上の 53.4% が「すぐに入れた」と答えているが、「2年以上」11.5%、「1年～2年未満」10.1% という回答もある。このほか、「3か月未満」8.1%、「3か月～6か月未満」4.7%、「6か月～1年未満」3.4%となっている。

入所・入院の待機期間 * 該当者 = 148人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	すぐに入れた	79	53.4
2	3か月未満	12	8.1
3	3か月～6か月未満	7	4.7
4	6か月～1年未満	5	3.4
5	1年～2年未満	15	10.1
6	2年以上	17	11.5
7	わからない	3	2
	無回答	10	6.8
	全体	148	100



介護保険施設入所者 86 人の待機期間をそれぞれみると、介護老人福祉施設では「すぐに入れた」人は 15%程度にすぎず、7割の人が6か月以上の待機期間を経験していることがわかる。

介護老人保健施設については、「すぐに入れた」が 61.3%であり、8割の人が6か月以内に入所できている。

介護療養型医療施設では、7割強の人が3か月以内に入所できおり、他の2施設よりは、待機期間は短い。

上段: 人
下段: %

	全体	入所・入院の待機期間								
		すぐに入れた	3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年以上	わからない	無回答	
合計	86	34	8	3	5	12	16	3	5	
	100	39.5	9.3	3.5	5.8	14	18.6	3.5	5.8	
入所施設	介護老人福祉施設	40	6	2	1	5	7	16	2	1
		100	15	5	2.5	12.5	17.5	40	5	2.5
	介護老人保健施設	31	19	4	2	0	3	0	0	3
	100	61.3	12.9	6.5	0	9.7	0	0	9.7	
介護療養型医療施設	15	9	2	0	0	2	0	1	1	
	100	60	13.3	0	0	13.3	0	6.7	6.7	

申し込み箇所数 * 該当者 = 148 人

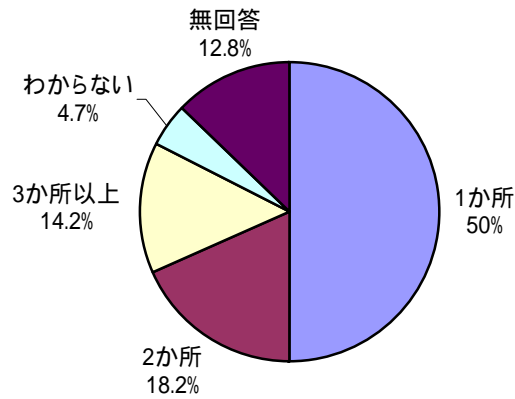
(2) 同時に、何か所に申し込んでいましたか。(は1つ)

1 . 1か所 2 . 2か所 3 . 3か所以上 4 . わからない

自宅以外の生活の場への入所・入居に際しての申し込み箇所数については、50%が「1か所」と答え
ており、「2か所」18.2%、「3か所以上」14.2%となっている。

申し込み箇所数

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	1か所	74	50
2	2か所	27	18.2
3	3か所以上	21	14.2
4	わからない	7	4.7
	無回答	19	12.8
	全体	148	100



入所・入居以前の生活の場 * 該当者 = 148 人

(3) 現在の施設への入所・入院以前の1年間、主にどちらで過ごされましたか。

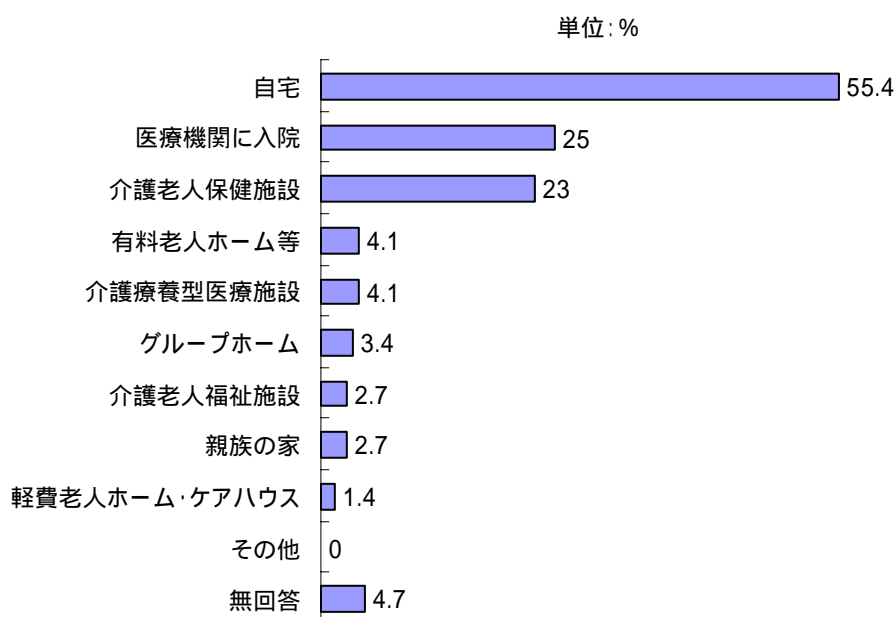
(あてはまるものすべてに)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 自宅 | 7. 有料老人ホーム等 |
| 2. 親族の家 | 8. グループホーム |
| 3. 医療機関に入院 | 9. 軽費老人ホーム・ケアハウス |
| 4. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | 10. その他 |
| 5. 介護老人保健施設(老人保健施設) | |
| 6. 介護療養型医療施設(療養型病床群等) | |

入所・入居以前の生活の場 については、「自宅」と回答したのが 55.4%であり、次いで「医療機関に入院」25%、「介護老人保健施設」23%が上位である。このほか、「介護療養型医療施設」と「有料老人ホーム等」が 4.1%、「グループホーム」3.4%、「親族の家」と「介護老人福祉施設」が 2.7%などである。

入所・入院以前の生活の場(複数回答)

No.	カテゴリ名	回答者数	%
1	自宅	82	55.4
2	親族の家	4	2.7
3	医療機関に入院	37	25
4	介護老人福祉施設	4	2.7
5	介護老人保健施設	34	23
6	介護療養型医療施設	6	4.1
7	有料老人ホーム等	6	4.1
8	グループホーム	5	3.4
9	軽費老人ホーム・ケアハウス	2	1.4
10	その他	0	0
	無回答	7	4.7
	全体	148	100



(2)入所・入居施設への評価

入所・入居施設への評価 * 該当者 = 148 人

問 1 7 現在入所・入院している施設について、どのようにお感じですか。		
施設・設備	技術や専門性	職員の態度やマナー
食事	入浴	外出・外泊
レクリエーション	意思疎通(何でも話しやすい)	
リハビリテーション	総合的な満足度	

現在の生活の場の評価 についてみると、全体を通した総合的な満足度は 83.8% (満足 44.6%、やや満足 39.2%) となっている。

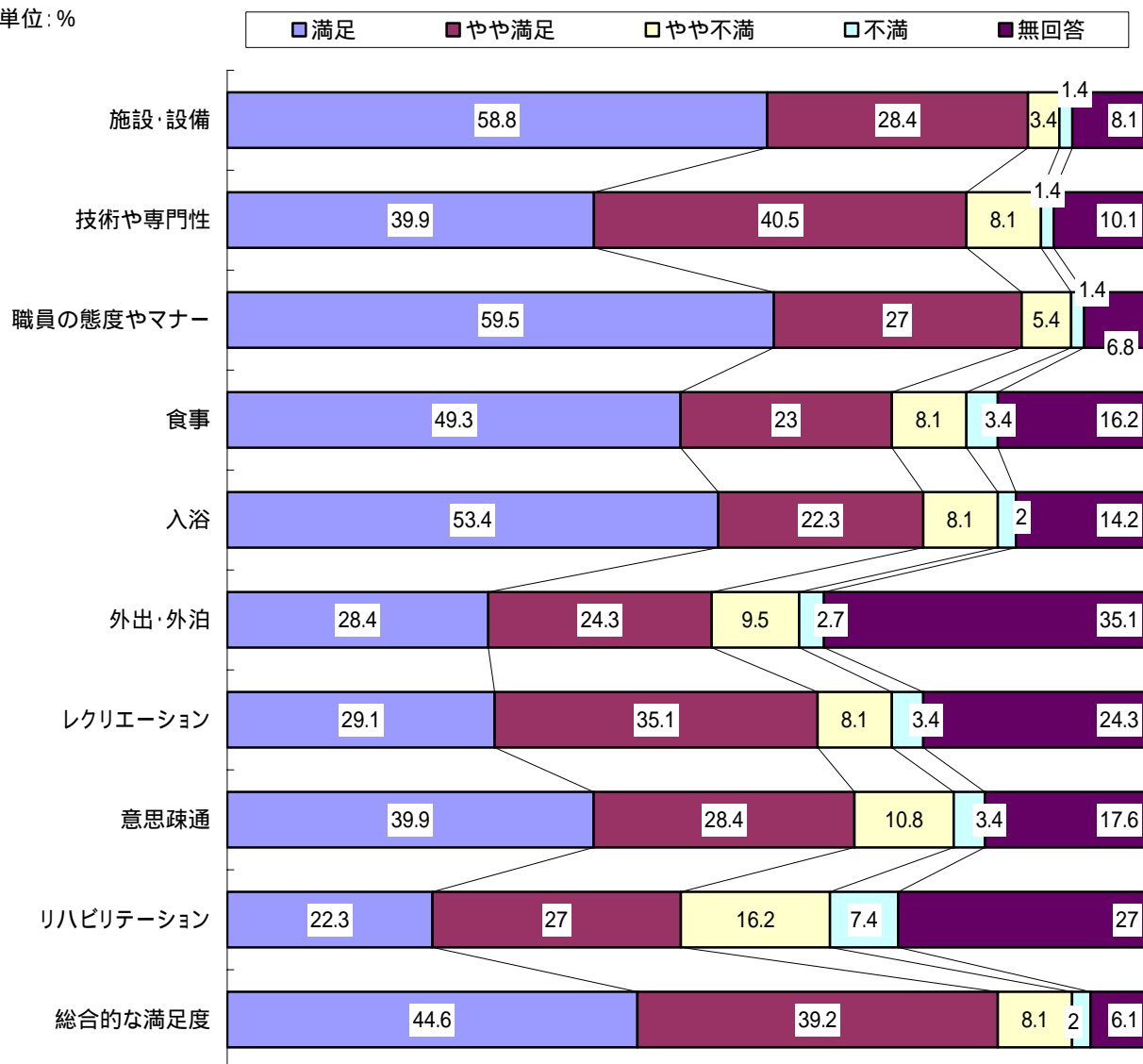
満足度の高い項目としては、「施設・整備」、「職員の態度やマナー」、「技術や専門性」が挙げられている。また、「入浴」と「食事」も比較的満足度が高くなっている。

満足度が 7 割以下なのは、「意思疎通」、「レクリエーション」、「外出・外泊」、「リハビリテーション」である。

入所・入院している施設への評価 * 該当者 = 148人 上段:人 下段:%

サービスの種類	全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
施設・設備	148	87	42	5	2	12
	100	58.8	28.4	3.4	1.4	8.1
技術や専門性	148	59	60	12	2	15
	100	39.9	40.5	8.1	1.4	10.1
職員の態度やマナー	148	88	40	8	2	10
	100	59.5	27	5.4	1.4	6.8
食事	148	73	34	12	5	24
	100	49.3	23	8.1	3.4	16.2
入浴	148	79	33	12	3	21
	100	53.4	22.3	8.1	2	14.2
外出・外泊	148	42	36	14	4	52
	100	28.4	24.3	9.5	2.7	35.1
レクリエーション	148	43	52	12	5	36
	100	29.1	35.1	8.1	3.4	24.3
意思疎通	148	59	42	16	5	26
	100	39.9	28.4	10.8	3.4	17.6
リハビリテーション	148	33	40	24	11	40
	100	22.3	27	16.2	7.4	27
総合的な満足度	148	66	58	12	3	9
	100	44.6	39.2	8.1	2	6.1

単位：%



(3)希望する生活の場

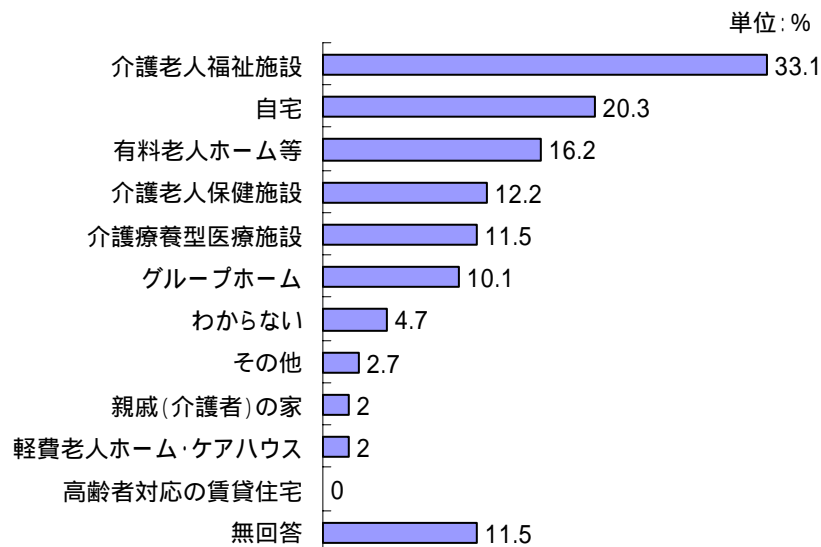
希望する生活の場 * 該当者 = 148 人

問18 あなたは、今後、どこで暮らしていきたいですか。(は2つまで)	
1. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	7. 高齢者対応の賃貸住宅
2. 介護老人保健施設(老人保健施設)	8. 自宅
3. 介護療養型医療施設(療養型病床群等)	9. 親戚(介護者)の家
4. 軽費老人ホーム・ケアハウス	10. その他()
5. 有料老人ホーム等	11. わからない
6. グループホーム	

今後 希望する生活の場 については、「介護老人福祉施設」が 33.1%、それに次いで「自宅」が 20.3%であった。

このほか、「有料老人ホーム等」16.2%、「介護老人保健施設」12.2%、「介護療養型医療施設」11.5%、「グループホーム」10.1%、「軽費老人ホーム・ケアハウス」と「親戚(介護者)の家」が各 2%などである。

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	介護老人福祉施設	49	33.1
2	介護老人保健施設	18	12.2
3	介護療養型医療施設	17	11.5
4	軽費老人ホーム・ケアハウス	3	2
5	有料老人ホーム等	24	16.2
6	グループホーム	15	10.1
7	高齢者対応の賃貸住宅	0	0
8	自宅	30	20.3
9	親戚(介護者)の家	3	2
10	その他	4	2.7
11	わからない	7	4.7
	無回答	17	11.5
	全体	148	100



年齢別にみると、74歳以下では「自宅」の割合が高いが、75歳以上では「自宅」よりも「介護老人福祉施設」の割合のほうが高くなっている。

要介護度別では、要介護2、3では「有料老人ホーム等」と「グループホーム」の割合がやや高いが、要介護4、5では介護保険施設を希望する割合が高い傾向がある。

上段:人
下段:%

		全体	希望する生活場所											
			介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	軽費老人ホーム・ケアハウス	有料老人ホーム等	グループホーム	高齢者対応の賃貸住宅	自宅	親戚(介護者)の家	その他	わからない	無回答
合計		148	49	18	17	3	24	15	0	30	3	4	7	17
		100	33.1	12.2	11.5	2	16.2	10.1	0	20.3	2	2.7	4.7	11.5
年齢	64歳以下	7	2	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0
		100	28.6	0	0	0	14.3	14.3	0	42.9	0	0	0	0
	65～74歳	6	1	0	1	0	0	0	0	2	0	2	1	1
		100	16.7	0	16.7	0	0	0	0	33.3	0	33.3	16.7	16.7
	75歳以上	134	46	18	16	3	23	14	0	25	3	2	6	15
		100	34.3	13.4	11.9	2.2	17.2	10.4	0	18.7	2.2	1.5	4.5	11.2
要介護度	要支援1、2	15	1	1	0	2	3	0	0	2	0	3	2	3
		100	6.7	6.7	0	13.3	20	0	0	13.3	0	20	13.3	20
	要介護1	6	3	0	0	0	2	2	0	2	1	0	0	0
		100	50	0	0	0	33.3	33.3	0	33.3	16.7	0	0	0
	要介護2、3	57	16	5	5	1	12	12	0	13	2	0	2	8
		100	28.1	8.8	8.8	1.8	21.1	21.1	0	22.8	3.5	0	3.5	14
要介護4、5	69	29	12	11	0	7	1	0	12	0	1	3	6	
	100	42	17.4	15.9	0	10.1	1.4	0	17.4	0	1.4	4.3	8.7	
知らない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
居住圏域	東部圏域	66	28	8	7	0	10	6	0	16	1	1	2	8
		100	42.4	12.1	10.6	0	15.2	9.1	0	24.2	1.5	1.5	3	12.1
西部圏域	75	20	9	9	3	12	9	0	14	2	3	4	7	
	100	26.7	12	12	4	16	12	0	18.7	2.7	4	5.3	9.3	
家族構成	ひとり暮らし	57	19	4	5	3	11	10	0	11	2	3	5	3
		100	33.3	7	8.8	5.3	19.3	17.5	0	19.3	3.5	5.3	8.8	5.3
	配偶者のみ(二人世帯)	21	7	5	1	0	7	0	0	1	0	0	1	2
		100	33.3	23.8	4.8	0	33.3	0	0	4.8	0	0	4.8	9.5
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	18	8	6	5	0	0	2	0	2	0	1	0	1
100		44.4	33.3	27.8	0	0	11.1	0	11.1	0	5.6	0	5.6	
その他の世帯(同居世帯)	44	12	3	6	0	3	3	0	15	1	0	1	9	
	100	27.3	6.8	13.6	0	6.8	6.8	0	34.1	2.3	0	2.3	20.5	

(4)ケアプランについて

ケアプランの認識と満足度 * 該当者 = 148 人

問 1 9 あなたは、ご自身のケアプランをご存知ですか。(は1つ)

1 . 知っている 2 . 知らない 3 . わからない

↓

現在のご自身のケアプランについてどう思いますか。(は1つ) * 該当者 = 39 人

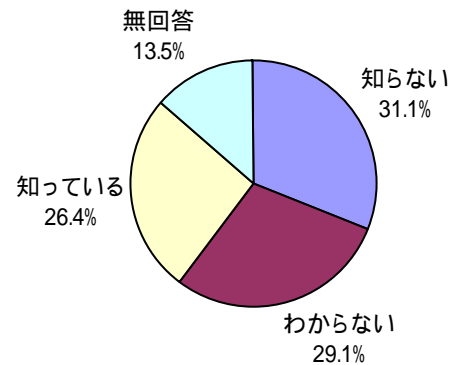
1 . 満足 2 . やや満足 3 . やや不満 4 . 不満

施設への入所・入居者に、ケアプランの認識 について聞いたところ、26.4%が「知っている」、31.1%が「知らない」、29.1%が「わからない」と答えた。

自分のケアプランを知っていると答えた 39 人に対し、ケアプランへの満足度 を聞いたところ、82.1%が『満足』と答えた(満足 51.3%、やや満足 30.8%)。

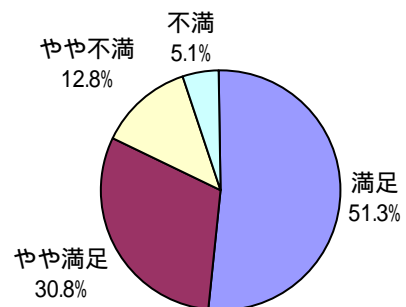
ケアプランの認識

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	知っている	39	26.4
2	知らない	46	31.1
3	わからない	43	29.1
	無回答	20	13.5
	全体	148	100



ケアプランの満足度 * 該当者 = 39 人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	満足	20	51.3
2	やや満足	12	30.8
3	やや不満	5	12.8
4	不満	2	5.1
	無回答	0	0
	全体	39	100



6 サービス一般について

(1) 高齢者福祉サービス

利用している高齢者福祉サービス

問20 あなたが、介護保険のサービス以外で利用している高齢者福祉サービスをお知らせください。

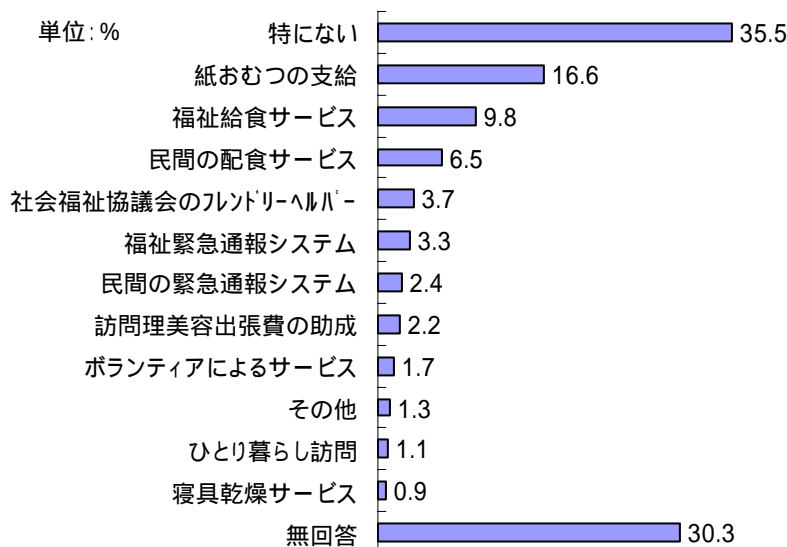
(あてはまるものすべてに)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 福祉給食サービス | 7. 社会福祉協議会のフレンドリーヘルパー |
| 2. 寝具乾燥サービス | 8. ボランティアによるサービス |
| 3. 福祉緊急通報システム | 9. 民間の配食サービス |
| 4. 訪問理美容出張費の助成 | 10. 民間の緊急通報システム |
| 5. ひとり暮らし訪問 | 11. その他 () |
| 6. 紙おむつの支給 | 12. 特にない |

介護保険サービス以外で 利用している高齢者福祉サービス については、35.5%が「特にない」と答えた。このほかで比較的使用率が高くみられるのは、「紙おむつの支給」16.6%、「福祉給食サービス」9.8%であり、他には「民間の配食サービス」6.5%、「社会福祉協議会のフレンドリーヘルパー」3.7%、「福祉緊急通報システム」3.3%などがみられる。

利用している高齢者福祉サービス(複数回答) * 該当者 = 459人

No.	カテゴリ名	回答者数	%
1	福祉給食サービス	45	9.8
2	寝具乾燥サービス	4	0.9
3	福祉緊急通報システム	15	3.3
4	訪問理美容出張費の助成	10	2.2
5	ひとり暮らし訪問	5	1.1
6	紙おむつの支給	76	16.6
7	社会福祉協議会のフレンドリーヘルパー	17	3.7
8	ボランティアによるサービス	8	1.7
9	民間の配食サービス	30	6.5
10	民間の緊急通報システム	11	2.4
11	その他	6	1.3
12	特にない	163	35.5
	無回答	139	30.3
	全体	459	100



要介護度別では、要介護度が高いほど、「紙おむつの支給」と「訪問理美容出張費の助成」の利用率が高くなっている。とくに、要介護4、5の約6割が「紙おむつ支給」を利用していることがわかる。

家族構成別にみると、ひとり暮らしの人で「福祉給食サービス」・「民間の配食サービス」・「福祉緊急通報システム」の利用が比較的多くなっている。「紙おむつの支給」については、ひとり暮らし以外の人で利用率が高くなっている。

上段:人
下段:%

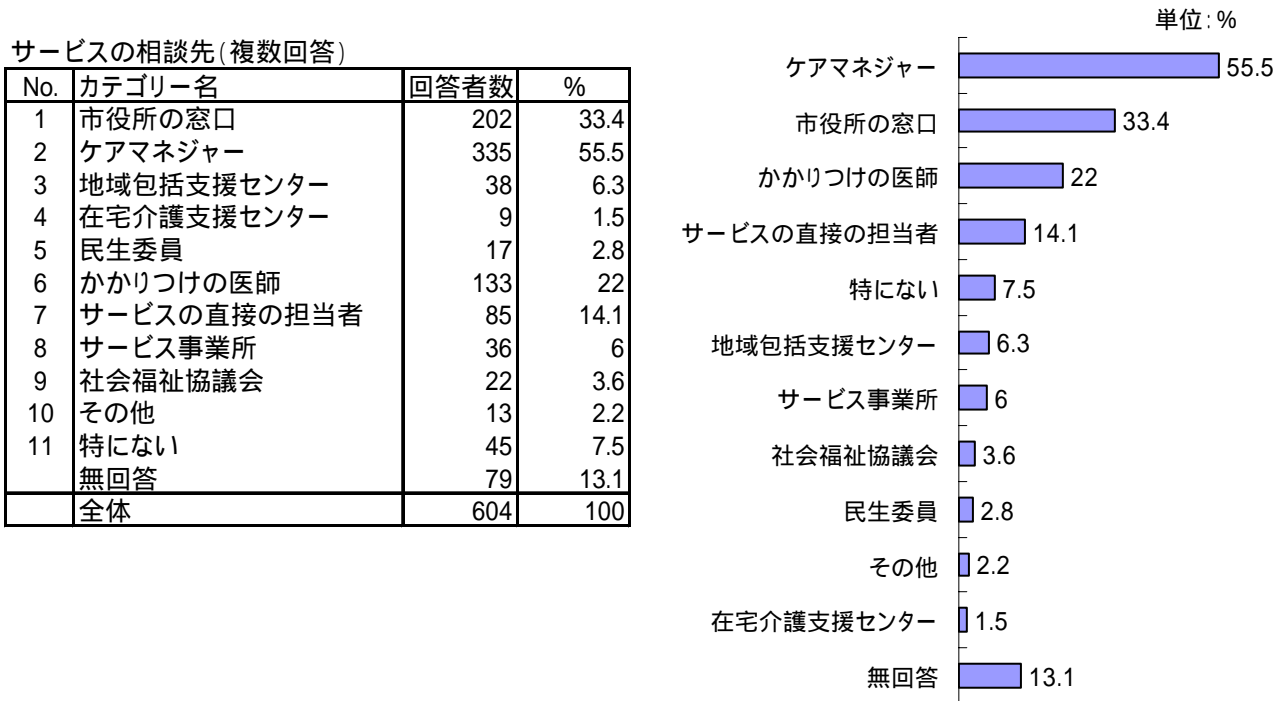
		全体	利用している高齢者福祉サービス(複数回答)												
			福祉給食サービス	寝具乾燥サービス	福祉緊急通報システム	訪問理美容出張費の助成	ひとり暮らし訪問	紙おむつの支給	リーヘルパー	社会福祉協議会のフレンド	ボランティアによるサービス	民間の配食サービス	民間の緊急通報システム	その他	特にない
合計		459 100	45 9.8	4 0.9	15 3.3	10 2.2	5 1.1	76 16.6	17 3.7	8 1.7	30 6.5	11 2.4	6 1.3	163 35.5	139 30.3
年齢	64歳以下	16 100	2 12.5	0 0	0 0	0 0	0 0	3 18.8	1 6.3	0 0	1 6.3	0 0	0 0	5 31.3	7 43.8
	65～74歳	66 100	7 10.6	1 1.5	4 6.1	0 0	1 1.5	9 13.6	3 4.5	1 1.5	2 3	1 1.5	1 1.5	22 33.3	23 34.8
	75歳以上	374 100	36 9.6	3 0.8	11 2.9	10 2.7	4 1.1	64 17.1	13 3.5	7 1.9	27 7.2	10 2.7	5 1.3	136 36.4	106 28.3
要介護度	要支援1、2	173 100	17 9.8	0 0	5 2.9	1 0.6	2 1.2	2 1.2	5 2.9	2 1.2	8 4.6	4 2.3	4 2.3	71 41	66 38.2
	要介護1	61 100	11 18	1 1.6	5 8.2	0 0	1 1.6	0 0	4 6.6	2 3.3	10 16.4	0 0	0 0	25 41	13 21.3
	要介護2、3	146 100	13 8.9	2 1.4	5 3.4	3 2.1	2 1.4	32 21.9	6 4.1	3 2.1	9 6.2	5 3.4	2 1.4	56 38.4	38 26
	要介護4、5	69 100	3 4.3	1 1.4	0 0	6 8.7	0 0	41 59.4	1 1.4	1 1.4	2 2.9	2 2.9	0 0	10 14.5	16 23.2
	知らない	4 100	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 25	1 25	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 50
居住圏域	東部圏域	232 100	23 9.9	3 1.3	9 3.9	4 1.7	3 1.3	34 14.7	11 4.7	1 0.4	16 6.9	4 1.7	3 1.3	81 34.9	76 32.8
	西部圏域	222 100	22 9.9	1 0.5	6 2.7	6 2.7	2 0.9	42 18.9	6 2.7	7 3.2	14 6.3	7 3.2	3 1.4	79 35.6	61 27.5
家族構成	ひとり暮らし	103 100	23 22.3	2 1.9	11 10.7	1 1	2 1.9	3 2.9	5 4.9	2 1.9	12 11.7	5 4.9	2 1.9	27 26.2	30 29.1
	配偶者のみ(二人世帯)	122 100	13 10.7	1 0.8	3 2.5	1 0.8	2 1.6	23 18.9	8 6.6	4 3.3	11 9	5 4.1	2 1.6	38 31.1	43 35.2
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	56 100	2 3.6	1 1.8	0 0	3 5.4	1 1.8	12 21.4	0 0	1 1.8	0 0	0 0	1 1.8	23 41.1	16 28.6
	その他の世帯(同居世帯)	168 100	7 4.2	0 0	1 0.6	5 3	0 0	38 22.6	4 2.4	1 0.6	7 4.2	1 0.6	1 0.6	74 44	41 24.4

(2)相談について

制度やサービスについて相談しやすいところ

問 2 1	介護保険制度をはじめ、各種高齢者の保健福祉制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところはどこですか。(あてはまるものすべてに)	
1 . 市役所の窓口	7 . サービスの直接の担当者	
2 . ケアマネジャー	8 . サービス事業所	
3 . 地域包括支援センター	9 . 社会福祉協議会	
4 . 在宅介護支援センター	1 0 . その他 ()	
5 . 民生委員	1 1 . 特にない	
6 . かかりつけの医師		

制度やサービスについて相談しやすいところ としては、「ケアマネジャー」が 55.5%で第 1 位、「市役所の窓口」が 33.4%で第 2 位に挙げられた。これに次いで、「かかりつけの医師」22%、「サービスの直接の担当者」14.1%が、やや高くみられる。



年齢別では、64歳以下の人で「地域包括支援センター」を挙げた人が、他の年代より、やや多くみられる。

要介護度別では、要支援1、2で、「地域包括支援センター」や「かかりつけの医師」の割合が高くなっている。

上段:人
下段:%

	全体	サービスの相談先(複数回答)												
		市役所の窓口	ケアマネジャー	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	民生委員	かかりつけの医師	サービスの直接の担当者	サービス事業所	社会福祉協議会	その他	特になし	無回答	
合計	604	202	335	38	9	17	133	85	36	22	13	45	79	
	100	33.4	55.5	6.3	1.5	2.8	22	14.1	6	3.6	2.2	7.5	13.1	
年齢	64歳以下	22	6	13	3	0	0	5	4	1	0	0	1	3
		100	27.3	59.1	13.6	0	0	22.7	18.2	4.5	0	0	4.5	13.6
	65～74歳	72	25	40	7	2	1	15	7	6	4	2	5	10
		100	34.7	55.6	9.7	2.8	1.4	20.8	9.7	8.3	5.6	2.8	6.9	13.9
	75歳以上	507	169	280	28	7	16	113	74	29	18	11	39	65
		100	33.3	55.2	5.5	1.4	3.2	22.3	14.6	5.7	3.6	2.2	7.7	12.8
要介護度	要支援1、2	188	63	86	30	3	6	57	26	12	10	1	9	23
		100	33.5	45.7	16	1.6	3.2	30.3	13.8	6.4	5.3	0.5	4.8	12.2
	要介護1	67	22	45	2	1	4	7	6	6	1	5	4	9
		100	32.8	67.2	3	1.5	6	10.4	9	9	1.5	7.5	6	13.4
	要介護2、3	201	68	126	3	1	3	40	29	11	8	6	19	25
		100	33.8	62.7	1.5	0.5	1.5	19.9	14.4	5.5	4	3	9.5	12.4
	要介護4、5	137	45	74	2	3	2	24	24	7	3	1	12	19
		100	32.8	54	1.5	2.2	1.5	17.5	17.5	5.1	2.2	0.7	8.8	13.9
	知らない	4	3	1	1	1	1	3	0	0	0	0	0	1
		100	75	25	25	25	25	75	0	0	0	0	0	25
居住圏域	東部圏域	297	92	166	17	4	9	63	41	23	17	4	17	47
		100	31	55.9	5.7	1.3	3	21.2	13.8	7.7	5.7	1.3	5.7	15.8
	西部圏域	295	106	162	21	5	8	69	43	13	5	9	27	30
		100	35.9	54.9	7.1	1.7	2.7	23.4	14.6	4.4	1.7	3.1	9.2	10.2

(3)医療と福祉にかかる費用

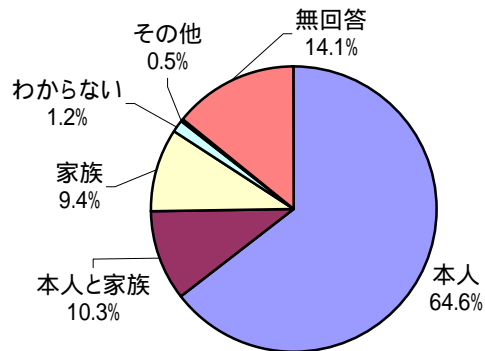
介護保険サービス利用料の負担者

問2 2 医療と福祉にかかる費用についておたずねします。		
(1) 介護保険サービスの利用料についておたずねします。		
どなたがご負担していますか。() は1つ)		
1 . 本人	3 . 本人と家族	5 . わからない
2 . 家族	4 . その他(具体的に)

介護保険サービス利用料の負担者 は、「本人」が64.6%であり、これに次いで「本人と家族」10.3%、「家族」9.4%が続き、「わからない」との回答も1.2%みられる。

介護保険サービス利用料の負担者

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	本人	390	64.6
2	家族	57	9.4
3	本人と家族	62	10.3
4	その他	3	0.5
5	わからない	7	1.2
	無回答	85	14.1
	全体	604	100



要介護度別にみると、要介護度が高いほど、「家族」や「本人と家族」の割合が高くなる傾向がみられる。

上段: 人
下段: %

	全体	介護保険サービス利用料の負担者					
		本人	家族	本人と家族	その他	わからない	無回答
合計	604	390	57	62	3	7	85
	100	64.6	9.4	10.3	0.5	1.2	14.1
年齢	64歳以下	22	14	6	0	0	2
		100	63.6	27.3	0	0	9.1
	65~74歳	72	43	6	7	1	14
		100	59.7	8.3	9.7	1.4	19.4
75歳以上	507	333	45	55	2	67	
	100	65.7	8.9	10.8	0.4	13.2	
要介護度	要支援1、2	188	126	9	9	2	40
		100	67	4.8	4.8	1.1	21.3
	要介護1	67	47	6	3	0	11
		100	70.1	9	4.5	0	16.4
	要介護2、3	201	132	24	23	1	18
		100	65.7	11.9	11.4	0.5	9
要介護4、5	137	81	17	25	0	12	
	100	59.1	12.4	18.2	0	8.8	
知らない	4	2	0	1	0	1	
	100	50	0	25	0	25	
家族構成	ひとり暮らし	159	118	7	10	2	19
		100	74.2	4.4	6.3	1.3	11.9
	配偶者のみ(二人世帯)	142	93	16	18	1	14
		100	65.5	11.3	12.7	0.7	9.9
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	75	41	13	8	0	11
100		54.7	17.3	10.7	0	14.7	
その他の世帯(同居世帯)	210	129	20	26	0	33	
	100	61.4	9.5	12.4	0	15.7	

介護保険利用料の1か月の支払額

1か月当たりの支払額がいくらか知っていますか。(は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

↓

【「1. 知っている」とお答えの方におたずねします。】

概ねの支払額をお知らせください。(は1つ)

1. 1,000円未満 4. 10,000円以上 50,000円未満

2. 1,000円以上 5,000円未満 5. 50,000円以上 100,000円未満

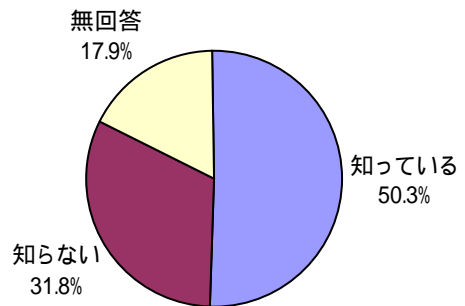
3. 5,000円以上 10,000円未満 6. 100,000円以上

介護保険利用料の1か月の支払額 について、「知っている」のは約半数の50.3%であり、「知らない」は31.8%であった。

支払額を「知っている」と答えた304人に対して、1か月当たりの支払額について聞いたところ、「10,000円以上 50,000円未満」が28%、それに次いで、「1,000円以上 5,000円未満」26.6%、「5,000円以上 10,000円未満」17.1%、「100,000円以上」15.5%、「50,000円以上 100,000円未満」10.9%となっている。「1,000円未満」は、1.6%にとどまっている。

1か月の支払額の認識

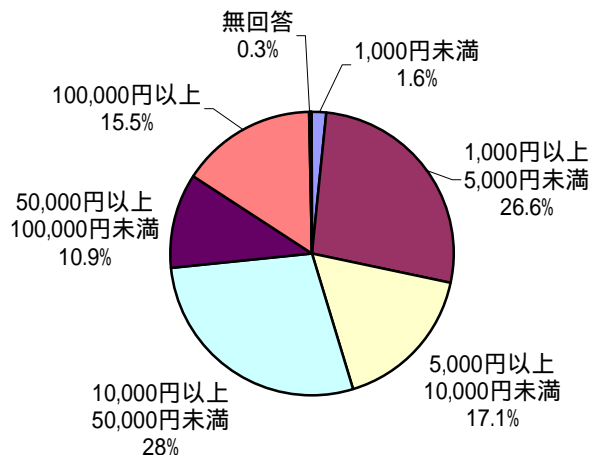
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	知っている	304	50.3
2	知らない	192	31.8
	無回答	108	17.9
	全体	604	100



概ねの支払額

* 該当者 = 304人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	1,000円未満	5	1.6
2	1,000円以上5,000円未満	81	26.6
3	5,000円以上10,000円未満	52	17.1
4	10,000円以上50,000円未満	85	28
5	50,000円以上100,000円未満	33	10.9
6	100,000円以上	47	15.5
	無回答	1	0.3
	全体	304	100



介護保険利用料の1か月の支払額 については、要介護度別では、要介護度が高いほど「知らない」の割合が高くなっている。

上段:人
下段:%

		全体	1か月の支払額の認識		
			知っている	知らない	無回答
合計		604	304	192	108
		100	50.3	31.8	17.9
要介護度	要支援1、2	188	101	34	53
		100	53.7	18.1	28.2
	要介護1	67	37	21	9
		100	55.2	31.3	13.4
	要介護2、3	201	91	86	24
		100	45.3	42.8	11.9
介護保険サービスの利用料の負担者	要介護4、5	137	73	48	16
		100	53.3	35	11.7
	知らない	4	1	1	2
		100	25	25	50
	本人	390	231	136	23
		100	59.2	34.9	5.9
介護保険サービスの利用料の負担者	家族	57	29	23	5
		100	50.9	40.4	8.8
	本人と家族	62	33	26	3
		100	53.2	41.9	4.8
	その他	3	2	1	0
		100	66.7	33.3	0
介護保険サービスの利用料の負担者	わからない	7	0	5	2
		100	0	71.4	28.6

概ねの支払額を、要介護度別にみると、要介護度が高いほど、支払額が大きくなっている。「100,000円以上」が、要介護2、3で17.6%、要介護4、5では37%である。また、支払額が大きくなると、本人に加えて、家族が利用料を負担するようになっていることがわかる。

上段:人
下段:%

		全体	概ねの支払額							
			1,000円未満	1,000円以上5,000円未満	5,000円以上10,000円未満	10,000円以上50,000円未満	50,000円以上100,000円未満	100,000円以上	無回答	
合計		304	5	81	52	85	33	47	1	
		100	1.6	26.6	17.1	28	10.9	15.5	0.3	
要介護度	要支援1、2	101	1	48	30	16	5	1	0	
		100	1	47.5	29.7	15.8	5	1	0	
	要介護1	37	2	15	10	7	0	3	0	
		100	5.4	40.5	27	18.9	0	8.1	0	
	要介護2、3	91	2	14	10	43	5	16	1	
		100	2.2	15.4	11	47.3	5.5	17.6	1.1	
要介護度	要介護4、5	73	0	3	2	18	23	27	0	
		100	0	4.1	2.7	24.7	31.5	37	0	
	知らない	1	0	1	0	0	0	0	0	
		100	0	100	0	0	0	0	0	
	介護保険サービスの利用料の負担者	本人	231	3	68	45	64	21	29	1
			100	1.3	29.4	19.5	27.7	9.1	12.6	0.4
家族		29	1	5	4	10	5	4	0	
		100	3.4	17.2	13.8	34.5	17.2	13.8	0	
本人と家族		33	0	2	2	11	6	12	0	
		100	0	6.1	6.1	33.3	18.2	36.4	0	
介護保険サービスの利用料の負担者	その他	2	1	1	0	0	0	0	0	
		100	50	50	0	0	0	0	0	
介護保険サービスの利用料の負担者	わからない	0	0	0	0	0	0	0	0	
		100	0	0	0	0	0	0	0	

介護保険料支払額の負担感

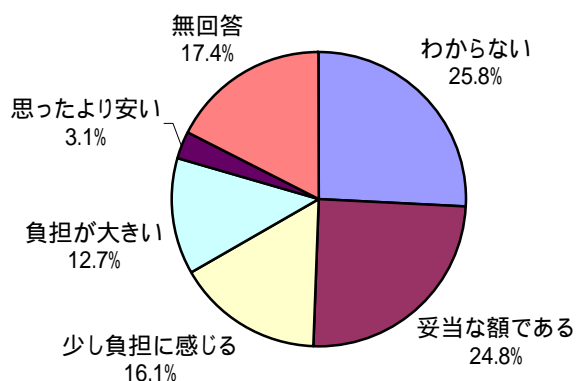
介護保険サービスの利用料の支払額について、どのようにお感じですか。(は1つ)

1. 負担が大きい 3. 妥当な額である 5. わからない
2. 少し負担に感じる 4. 思ったより安い

介護保険料支払額の負担感 については、「わからない」25.8%に次いで、「妥当な金額である」24.8%となっている。『負担』との回答は 28.8%（少し負担に感じる 16.1%、負担が大きい 12.7%）みられた（平成 17 年前回調査では 27.2%）。

支払額の負担感

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	負担が大きい	77	12.7
2	少し負担に感じる	97	16.1
3	妥当な額である	150	24.8
4	思ったより安い	19	3.1
5	わからない	156	25.8
	無回答	105	17.4
	全体	604	100



利用料については、家族が負担している場合、『負担』と感じている割合が高く、本人が負担している場合、「妥当な額である」の割合が高くなっている。

概ねの支払額が 5,000 円未満の場合に、「妥当な金額である」の割合が 5 割を超えている。

		全体	支払額の負担感					上段:人 下段:%							
			負担が大 きい	少し負担に 感じる	妥当な額 である	思ったより 安い	わからない	無回答							
合計		604	77	97	150	19	156	105	100	12.7	16.1	24.8	3.1	25.8	17.4
利用料の 負担者	本人	390	55	64	125	18	101	27	100	14.1	16.4	32.1	4.6	25.9	6.9
	家族	57	8	16	9	0	22	2	100	14	28.1	15.8	0	38.6	3.5
	本人と家族	62	13	15	10	1	22	1	100	21	24.2	16.1	1.6	35.5	1.6
	その他	3	0	0	0	0	3	0	100	0	0	0	0	100	0
	わからない	7	0	0	0	0	6	1	100	0	0	0	0	85.7	14.3
	概ねの 支払額	1,000円未満	5	0	0	3	1	1	0	100	0	0	20	20	0
	1,000円以上5,000円 未満	81	8	7	45	6	9	6	100	9.9	8.6	55.6	7.4	11.1	7.4
	5,000円以上10,000 円未満	52	7	17	17	1	7	3	100	13.5	32.7	32.7	1.9	13.5	5.8
	10,000円以上 50,000円未満	85	10	27	33	5	9	1	100	11.8	31.8	38.8	5.9	10.6	1.2
	50,000円以上 100,000円未満	33	8	15	8	1	1	0	100	24.2	45.5	24.2	3	3	0
	100,000円以上	47	24	6	11	2	4	0	100	51.1	12.8	23.4	4.3	8.5	0

特に負担がづらいと感じる費用

(2) 次のうち、特に負担するのがづらいと感じるのはなんですか。(は1つ)

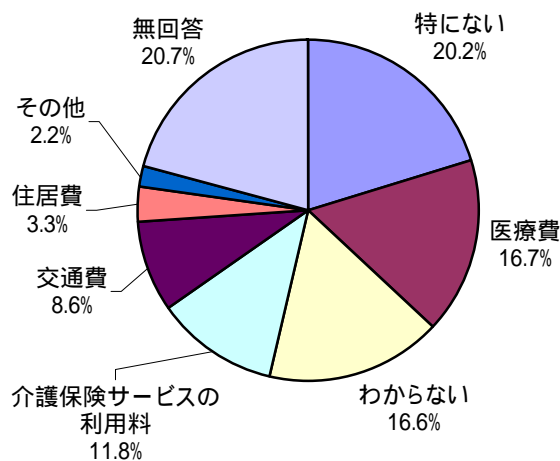
- | | | |
|-----------------|-----------|----------|
| 1. 介護保険サービスの利用料 | 4. 交通費 | 7. わからない |
| 2. 医療費 | 5. その他() | |
| 3. 住居費 | 6. 特にない | |

特に負担がづらいと感じる費用 については、「特にない」が 20.2%で、それに次いで「医療費」16.7%、「介護保険サービスの利用料」11.8%となっている。

また、「交通費」8.6%、「住居費」3.3%などであり、「わからない」との回答も 16.6%みられる。

特に負担がづらいもの

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	介護保険サービスの利用料	71	11.8
2	医療費	101	16.7
3	住居費	20	3.3
4	交通費	52	8.6
5	その他	13	2.2
6	特にない	122	20.2
7	わからない	100	16.6
	無回答	125	20.7
	全体	604	100



(4) 心配なこと・困っていること

心配なこと・困っていること

問 2 3 あなたが、現在心配なこと・困っていることはなんですか。(あてはまるものすべてに)	
1 . 自分の健康のこと	9 . 家族に面倒をみてもらうのがつらい
2 . 家族の健康のこと	10 . 家族と一緒にいる時間が少ない
3 . 家計のこと	11 . 居住空間 (狭い・段差・プライバシー等)
4 . 自分と家族の関係	12 . 家族の将来 (就職や結婚など)
5 . 友だちづきあい	13 . 災害時の対応
6 . 家族同士の間人間関係	14 . 自分らしく過ごせていないこと
7 . 孤独	15 . その他 ()
8 . 自由に外出できない	16 . 特にない

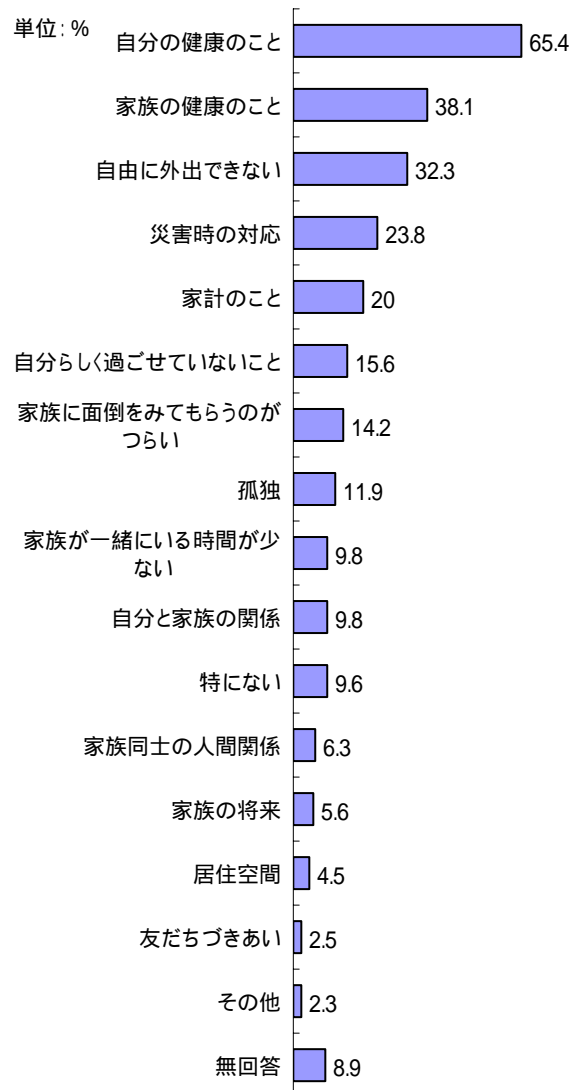
現在 心配なこと・困っていること としては、「自分の健康のこと」が 65.4%で第 1 位に挙げられた。次いで、「家族の健康のこと」38.1%、「自由に外出できない」32.3%、「災害時の対応」23.8%、「家計のこと」20%といった項目が高くなっている。

また、「自分らしく過ごせていないこと」15.6%、「家族に面倒をみてもらうのがつらい」14.2%、「孤独」11.9%、「家族と一緒にいる時間が少ない」9.8%、「自分と家族の関係」9.8%などがある。

「特にない」は 9.6%にとどまっており、多くの方が、何らかの心配や困りごとを抱えている状況が示された。

心配なこと・困っていること(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自分の健康のこと	395	65.4
2	家族の健康のこと	230	38.1
3	家計のこと	121	20
4	自分と家族の関係	59	9.8
5	友だちづきあい	15	2.5
6	家族同士の間人間関係	38	6.3
7	孤独	72	11.9
8	自由に外出できない	195	32.3
9	家族に面倒をみてもらうのがつらい	86	14.2
10	家族と一緒にいる時間が少ない	59	9.8
11	居住空間	27	4.5
12	家族の将来	34	5.6
13	災害時の対応	144	23.8
14	自分らしく過ごせていないこと	94	15.6
15	その他	14	2.3
16	特にない	58	9.6
	無回答	54	8.9
	全体	604	100



年齢別では、65～74歳で、「家族の健康のこと」や「家計のこと」、また「自由に外出できない」の割合がやや高くみられる。

要介護度別では、要支援1、2と要介護1で「自分の健康のこと」の割合が高い。また、要介護度が高いほど、「家計のこと」を挙げる人が多くなっている。

家族構成別では、ひとり暮らしの約2割が「孤独」を挙げている。配偶者との二世帯では、「家族の健康のこと」「自由に外出できない」「災害時の対応」が、比較的高い割合を示している。

上段:人
下段:%

		心配なこと・困っていること(複数回答)																	
		全体の健康のこと	家族の健康のこと	家計のこと	自分と家族の関係	友だちづきあい	家族同士の人間関係	孤独	自由に外出できない	家族に面倒をみてもらうのがつらい	家族が一緒にいる時間が少ない	居住空間	家族の将来	災害時の対応	自分らしく過ごせていないこと	その他	特にない	無回答	
合計		604	395	230	121	59	15	38	72	195	86	59	27	34	144	94	14	58	54
		100	65.4	38.1	20	9.8	2.5	6.3	11.9	32.3	14.2	9.8	4.5	5.6	23.8	15.6	2.3	9.6	8.9
年齢	64歳以下	22	15	9	3	5	0	1	4	6	2	2	3	2	5	6	1	0	3
		100	68.2	40.9	13.6	22.7	0	4.5	18.2	27.3	9.1	9.1	13.6	9.1	22.7	27.3	4.5	0	13.6
	65～74歳	72	47	34	21	8	0	6	4	26	5	4	6	5	23	11	2	6	7
	100	65.3	47.2	29.2	11.1	0	8.3	5.6	36.1	6.9	5.6	8.3	6.9	31.9	15.3	2.8	8.3	9.7	
	75歳以上	507	332	187	96	45	14	31	63	161	78	53	18	27	114	76	10	52	44
	100	65.5	36.9	18.9	8.9	2.8	6.1	12.4	31.8	15.4	10.5	3.6	5.3	22.5	15	2	10.3	8.7	
要介護度	要支援1、2	188	142	68	28	10	5	9	23	56	16	19	9	12	59	18	2	8	12
		100	75.5	36.2	14.9	5.3	2.7	4.8	12.2	29.8	8.5	10.1	4.8	6.4	31.4	9.6	1.1	4.3	6.4
	要介護1	67	50	28	13	10	3	7	11	28	12	10	0	5	21	16	2	8	3
		100	74.6	41.8	19.4	14.9	4.5	10.4	16.4	41.8	17.9	14.9	0	7.5	31.3	23.9	3	11.9	4.5
	要介護2、3	201	127	82	43	26	5	12	19	74	32	16	11	9	42	34	6	23	18
	100	63.2	40.8	21.4	12.9	2.5	6	9.5	36.8	15.9	8	5.5	4.5	20.9	16.9	3	11.4	9	
要介護4、5	137	71	49	34	11	2	8	17	35	24	14	6	7	18	24	3	16	20	
	100	51.8	35.8	24.8	8	1.5	5.8	12.4	25.5	17.5	10.2	4.4	5.1	13.1	17.5	2.2	11.7	14.6	
知らない	4	3	2	2	2	0	2	2	2	2	0	1	1	3	1	0	0	1	
	100	75	50	50	50	0	50	50	50	50	0	25	25	75	25	0	0	25	
居住圏域	東部圏域	297	198	118	55	28	10	19	42	95	47	28	17	21	75	51	7	26	30
		100	66.7	39.7	18.5	9.4	3.4	6.4	14.1	32	15.8	9.4	5.7	7.1	25.3	17.2	2.4	8.8	10.1
	西部圏域	295	189	111	66	30	5	19	29	99	39	31	10	13	69	41	6	30	24
	100	64.1	37.6	22.4	10.2	1.7	6.4	9.8	33.6	13.2	10.5	3.4	4.4	23.4	13.9	2	10.2	8.1	
家族構成	ひとり暮らし	159	109	32	26	9	5	5	35	46	13	25	4	4	40	22	7	10	16
		100	68.6	20.1	16.4	5.7	3.1	3.1	22	28.9	8.2	15.7	2.5	2.5	25.2	13.8	4.4	6.3	10.1
	配偶者のみ(二世帯)	142	99	88	32	13	5	11	13	56	30	8	6	5	48	26	1	8	10
		100	69.7	62	22.5	9.2	3.5	7.7	9.2	39.4	21.1	5.6	4.2	3.5	33.8	18.3	0.7	5.6	7
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	75	48	32	16	10	1	4	3	22	10	8	2	2	19	9	2	10	8
	100	64	42.7	21.3	13.3	1.3	5.3	4	29.3	13.3	10.7	2.7	2.7	25.3	12	2.7	13.3	10.7	
	その他の世帯(同居世帯)	210	131	76	47	25	3	16	19	70	32	17	15	23	36	36	3	26	15
	100	62.4	36.2	22.4	11.9	1.4	7.6	9	33.3	15.2	8.1	7.1	11	17.1	17.1	1.4	12.4	7.1	

7 意見（自由記述）

(1)市の高齢者保健福祉サービスについて

問 2 4 市の高齢者保健福祉サービスについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

市の高齢者保健福祉サービス全般について

意見

- お役所的な割り切ったサービスを、もっと暖かくやさしい行き届いたサービスになることを願います。
- 後期高齢者医療制度が施行されると、医療費を抑えるための制度なので、的確な医療行為を受けられなくなるのではないかと。長生きが国を危うくさせると、命まで決められるようで虚しい。自分の身になり、自分の親の身になって仕事をしてほしい。
- 現場の状況を管理者側の方が良く理解していけると、よりよいサービスができるのではない。
- 実施内容が月単位しか見えない。最低1年間の流れを知りたい。
要介護認定が厳しくなっているように思う。

不満

- 介護者へのサービスが不足している。介護者に目を向けてほしい。
- 介護サービスを受けやすく、介護度による受けられるサービスに偏りがある。
- サービスの範囲が少なくなった。
- 「用語」が多く、分かりづらい。
- 内容がころころ変わることが困る（時間帯、サービスの時間等）。
- 介護保険が高い（障害者で、収入がないので）。
- ケアの事務所とマネジャーとの密接な関係が見られない。
急病時往診以来の折、ケアに心安く来訪不可能な事の便宜を計っていただきたい。

期待・要望

- 逗子あんしんセンター、後見相談、ふれあいサロン等があり、これから益々このようなシステムができると安心して老後を迎えられると思います。
- より良いサービスを実現できるよう切望する。
- 利用者への配慮（身体障害者への配慮）を望む。
- 食事、洗濯、掃除等の生活維持保護が、現在、高齢者の切実な希望です。
- 担当者が家に来て、直接見て聞いて判断してほしい。

特定の事項(サービス、事業所など)について

ショートステイなど

- 現在のショートステイは同じ方が輪番制になっているようで、介護に疲れたから2~3日預かってほしいと言っても入れない。何とかならないでしょうか。
- ショートステイが急なときに利用できない。3ヶ月前から予定がつかないときなど困る。
- 急に入院（祖母）したときに、祖父を短期入所生活介護（ショートステイ）できないでしょうか。前もってすることが不可能で困っている者のための「ショートステイ」ではないのでしょうか。
- 施設利用の折、外痔の持病があるため、水洗便所の個数が僅かだったので苦労した。

交通機関(支援・補助など)、移送サービスなど

- 通院時の車の配慮。
- 要介護2で障害者のため、移動はすべてタクシーです。以前あった相乗りタクシーには、ずいぶんお世話になりました。この制度があつという間に廃止になったため、移動のためのタクシー代が月3万円前後になります。諸々の負担と合わせると、かなりの額になりますので、その辺の問題を考えていただきたい。活動の場を広げたくても、いつも移動のことがネックになり、思うようにいかない現状がある。要介護2でも買い物や通院が困難なのに、市の移送サービスは要介護3からとなっているのが、おかしい。3の人でもタクシーで買い物等、本当にできるものなのか。現実にどれほどの方が利用しているのか、その人は本当に介護度3なのか知りたい。
- 病院への行き帰りにタクシーを使い、約7000円かかります。少しでも安くなるシステムが欲しいです。

サービスの制限:時間、回数

- 1回の利用時間が1時間半というのは少し短いので、2時間単位にしていきたい。
- 要介護1で、介護サービスが1週間に1回1時間なので、2時間程度にしていきたいと思います。
- 腰膝の痛みで給食費の支給に市役所へ行くのが大変で困っている。以前はヘルパーが週1回2時間来てくれて、支給に行ってもらっていたが、30分短くなり、掃除家事等の仕事以外に時間がなくなった。
- 脳梗塞をおこしてから1年2ヶ月になります。毎日とは言いませんが、せめて週3~4回リハビリができると良いと考えています。
- 要支援であり、6月まで週1回1時間半来てくださっていたが、2階に息子たちがいるということで駄目になり、それ以降は自費でサービスを受けている。2階との生活はすべて別々で(玄関、風呂なども別々)、一人住まいと同じである。以前のように介護保険が利用できるようになることを望んでいる。一人住まいで頑張っているが、足腰が悪く、どうしてもヘルパーさんに来ていただかなくてはならず、息子夫婦も仕事や自分たちの家事で精一杯である。何のための福祉サービスかと考えさせられる。
- 介護保険制度の原点は何かをはっきりさせてほしい。私は介護する人を楽にするためと理解していたが、どうも少し捉え方が違っているように思う。同居人がいる場合は要支援1ではあれもダメこれもダメ、もうヘルパーさんは来てもらえないような説明。とくに包括支援センターの人の態度は、はなはだ不満である。説明も不十分で、忙しいのは分かりますが、もう少し勉強してしっかりと答えられるようにしてほしい。

医療、健診、紙おむつ

- 医療費補助(福祉サービスの範疇ではないですが)、並びに、おむつ支給の増額を希望します。
- 紙おむつの使用量が多いので、支給してほしい。
- 独居で歩行が不自由、認知機能が低下している場合、市の基本健康診査が受けられないでいます。できれば定期的に年1~2回、血液検査だけでもお願いできればと思っています。健康・介護予防等のサービスは充実しているのですが、受ける機会に配慮していただきたいと思います(例えば、デイサービスのときに行ってくださいとか)。

福祉給食サービスなど

- 規則を前面に出して福祉サービス?とってしまう。介護サービスの人の親切な対応と、あまりに差を感じる。老人用というわりに配食は考えてくれていないように思う。仕方がないのだろうが、味がまずくなった(同意見を多く聞く)。
- 給食サービスで、料金のランクを広げて(私費)、選ぶことができるようにしてほしい。

郵便物のポストに依頼できないが融通応用がない（私は足が不自由）。

- 配食サービス（昼）を受けています。介護者の外出（仕事での泊まりの研修等）のときに、夜の配食（臨時）もあれば助かります。

施設について：意見・不満

- 子ども夫婦の援助で成り立っているが、要介護 2 では自己負担も多く（赤字）老健か療養施設に入りたいが空きがない。
- 一人暮らしができなくなり特別養護老人ホームや老人ホームに入居したくとも何ヶ月・何年か待たないと入居できないと聞いていますが、すぐに入居できるようにお願いいたします。
- 特養が少ない。
- 介護老人福祉施設を、もっと増やしていただきたい。どこも満員とのこと。一人暮らしの病人を優先して欲しいと思う。
- 認知症の人が自宅で暮らすには、一日中見守りが必要なので、同居する家族が一人では無理です。軽費で入れる施設を増やして欲しい。
- 紹介をしていただいた「セアラ」に行っています。友人も入りたいと言っていますが、今のところは無理とのこと。このような施設をもう 1 か所作っていただければと思います。
- 介護老人施設の紹介があればよい。現在、家賃が高額なので、公的な住居があれば幸いです。
- 1 つの施設に留まる期間が決められて、移動しなくてはならないことは苦痛です。
- 特養老人ホーム、グループホームが足りない。
- 老人が一人で家族の介護（それも老老介護）を受けることに心苦しさを感している。施設に入ったほうが設備的にも良く、友人もできるので、何とか入りたい。

情報提供、相談について

- サービスの具体的内容が全く分からない。どこへ尋ねて行けばいいのかも不明。
- 市のサービスについては知らないことが多い。ケアマネジャーからの提案によって利用させていただいている。
- 自分または家族が対象者となって、はじめて福祉サービスの実状を知るのではなく、少なくとも 60 歳を越えたら、自分の居住地の保健福祉サービスの内容を具体的に知ることのできる情報を、ふんだんに流していただける自治体に住みたいと、切に願います。都市間の格差は悲しきものの一つです。自助努力は大切ですが、限界があります。
- ケアマネジャーが途中で替えられたので、どうしても比べてしまい、相談しにくい点があります。相性というか、もう少しケアマネジャーを知る機会または機関を知りたいと思います。
- 退院しても私は軽いほうで、訓練するところはどこにも無い。介護の担当も知らないのに、びっくりした。それなら自分も見学して勉強してもらいたい。結局、家で一人引きこもりにならざるをえない。電話などの連絡をしてくだされば、話し合ったりすることもできるのと思いました。
- 現在、民生委員が不在のため、サービスを受けることの連絡ができない。一人住まいの老人の安否の確認も取れていないと思う。できれば、地域の間人間関係が密になればいいと思う。
- 非常に分かりづらい事が多い。介護課に聞いても、人によって説明が少しずつ違う。もっと必要な者に必要なサービスができるように希望する。とくに福祉用具など。

窓口などの対応について

- どんなサービスを利用するにも家庭を訪問されるのは仕方のないことだが、家族は仕事をもっているの
で、平日に親のいる家にいるのは負担が大きい。市役所窓口の対応が遅くて、いらいらすることが何度
もあった。
- 高齢者なので窓口の人は皆に分かるように説明をお願いします。
- 以前に比べて窓口対応が悪い。アンケート調査よりも一件一件訪ねて現状を把握するべき。自宅で介護
しているのも高齢者である場合が多いことを認識していない。
- 脳梗塞で倒れ退院する際、病院の相談員から介護保険に申請すると手すりの取り付けの改修費が支給さ
れるので利用してみなさいと言われ、市の介護保険課に相談したところ、断られて相談にのってくれな
かった。申請の書類すらもらえなかったので、自己負担で取り付けた。急だったので、ケアマネジャー
など決めていなかったが、手続きの説明もなく、病状を勝手に判断して断ったようだ。
- 相談は親身になって具体的に対応してほしい。
- 四角四面のかちかちの法に基づいての対応に「役所」を強く感じます。臨機応変に、もっと気配りのあ
る行動を望みます。

感謝など

市に対して

- 初めて利用させていただいて、対応が良いので安心しています。もっと幅広いサービスができればと思
いますが、これは市のサービスでなく、国の福祉サービスの問題なので仕方がないかなと思っています。
これから一人で過ごす人が多くなるので、その辺りのことを考えていただけたら有り難いです。
- 市役所ではよく話を聞いてくださり感謝しています。
- 親切に対応していただき感謝しています。とくに、ふれあい収集には助かっています。歩行困難な者に
とって市内のバリアフリーについて、市からの更なるご指導をお願いします。
- 紙おむつの支給は大変助かっています。
- 介護保険課のいろいろの配慮に感謝します。サービスがいろいろあることも分かり参考になりました。
- 今般、急に足腰が痛くなり歩くこと立ち上がることができず、どうしようかと思いました。福祉サービ
ス（病院送迎など）に感謝しています。
- 池子ふれあいサロンで週一度、楽しませていただいています。
- 市役所の窓口は好感を持てる。悩みを持って相談したりしているのだから、今後も笑顔で接していただ
きたい。
- 皆さんに非常によく対応していただき、母もとても喜んでいきます。訳の分からないことでも、市役所へ
話しに行くと、我慢強く話を聞いていただいているようです。ありがとうございます。
- デイケアの利用や訪問マッサージをお願いできたこと、手すりの取り付けをさせていただいたこと等、
感謝しています。

その他

- 職員の皆さんの献身的・親切なサービスに感謝しています。
- ケアマネジャー、ヘルパーさんはとても態度よく、満足しています。

日常生活の状況:意見、不満、不安

- ベッドの上で生活して自分自身で何もできないので、介護者に無理なことをお願いすることもある(介護してくれる範囲が分からない)。説明されてもすぐに忘れてしまう。
- 介護サービスでは時間制限もあり、事業所に対して自由契約でお願いすることが多い。高齢のため、ヘルパーさんに来てもらうことも気疲れするらしい。いつも同じ方に来てもらえれば、だんだん慣れていくのではないかとも思うが、適応力も落ち、なかなか難しい。
- 介護保険のことがあまり分からないので(手続きが面倒)、現在はヘルパーさんをお願いしています。部屋の掃除が主です。食事用意は無理だと思われそうです。
- 自身のケアプラン「知らない」としましたが、事業所の変更により、市の方に変更されたとのことで、今年は、毎月いただいていたケアプランを受け取ったことはありません。たとえプランが些細なことでも、毎月来宅していただいて、相談などを受けていただき、ありがたく思っていました。
- グループホームで骨折をして入院したところ、高額の差額ベッド代を要求され、愕然とした。老いた人たちから多額の金を取るのは許せない。
- 他人を家に入れるのが嫌です。
- 本人の希望として、健康なときにはサービスを受けることが不安なようで、気が進まないようです。家族として、万が一のときに備えて、何かしらのサービスを受けておいたほうが安心かと思うが、どのようなことから始めていけばいいのかが分かりません。
- 現在は一人暮らしの生活はどうか過ごしていますが、病気が悪化したときに即対応してほしいと願っています。
- 今のところ福祉サービスを受けないで生活できているが、今後、不自由が生じたら市役所窓口等で相談にのってもらい、対応したい。すべて家族に任せている。
- 市営住宅の家賃が当初の 32000 円から年々上昇してくるのが心配です(現在 47000 円)。

その他

- 現在の体制下では意見はありません。
- 今はまだ介護を受けていないので、よく分かりません。
- 現行サービスを続けてほしい。
- このアンケートを含め高齢者にのみ目がいきっており、病気、身体障害で苦しむ若い人について何もプラスにならない。福祉サービスは高齢者だけが対象かと思ってしまう。
- このアンケートについて：質問が多すぎ、文章が平易ではないところもある。
- 介護を受けている高齢者がこんな面倒なことを書けると思っていますか？少しは考えてください。
- 一般的な問題であるが、道路事情が悪いため、とくに高齢者・子どもが苦しめられている。車椅子や歩行器で歩ける町並みにすべきである。

(2)介護保険制度全般について

問 2 5 介護保険制度全般についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

介護保険制度全般について

制度のあり方、内容

- あまりにも複雑すぎて分かりにくい。
- 年々使いやすく安心できる方向へ行くべき制度が、見直しでカットされたりで、結局一番必要とされる弱者が行き場がなくなるという現状が、もっと反映されて、改善されるようにならないといけないと思います。
- 介護保険制度を国民健康保険制度と同等に考えて実行している現在を不安に感じる。若い世代にこれが理解できるか問題だと思う。
- 半年に1回見直しが行われているが、簡単にサービス期間が短縮されたりするのか如何なものか。せっかくの制度が中途半端なものになってしまう。
- 制度自体のPR不足で、利用者も制度を知らない。
- 有料老人ホームに委託される介護保険金の使途について、把握はできているのでしょうか？
- 介護保険を利用してショートステイ使用した際、どうして国民健康保険が使えないのか不思議です。

人材の確保、報酬

- その人らしい人生の最後を暮らしていくには沢山のお金がかかります。お金がなくても心が豊かに暮らせるように、介護する人の心意気が必要と思います。介護する人々の生活が豊かになる報酬をと望みません。
- 2006年4月の介護保険の改正について。この改正は経済的バランスを重視したため、さまざまな問題が続出したと思われます。
介護分野の報酬が低く、離職者のパーセンテージが極めて多いことが最も重視すべきことと思います。訪問介護員および施設介護職員のペイを増加し、コムスン問題などが起こらぬよう、安定性のある制度とすべきと思います。
- ヘルパーの報酬が少ないため、長続きしない。報酬の決め方など、もっと現場のニーズに合うようにされたい。

施設に関して

- 介護者本人も介護を受けている人も、ある期間が来ると移動しなければならない、監査が来るので移動しなければならないということですが、このエネルギーは大変です。ずいぶん納得できない制度だと思います。
- 施設・病院を含め、食費、居室費、水道光熱費の100%自己負担は、実に負担増の感がある。
- 介護保険制度の改悪で、食事代・部屋代の全額負担になり、家計が圧迫されて苦しい。貧富の格差がますます拡大しているにもかかわらず、このような制度に怒りをおぼえます。
- 現在、老健にお世話になっていますが、経営上の問題か、職員の方は一生懸命に仕事をしていますが、われわれから見ると手が足りず、もう少し介護してくれればと思うことがあります。
- 介護施設に将来入所したい(させたい)と考えていますが、ケアマネジャーに聞いたところ、希望者が多く入りにくいと言いました。施設を多くする方向に希望したいです。
- 政府の方針は療養型病床を廃止し、自宅介護、老健等へのシフトを考えているが、次の問題があり、再

検討すべきと考えます。 自宅介護について：24 時間体制で介護する必要があるため、専門機関にまかせざるをえない。介護する側も高齢者であり、病気をいくつも抱え、肉体的・精神的に介護疲れで倒れてしまう。介護の専門家が一日に数時間来宅することで対応できるのは、軽度の者に限られる。 老健について：老健に必ず入所できる状況にない。また入所費用は、一昨年 50% くらいのアップになったが、上昇率が大きすぎる。 特養について：特養の入所は 2~3 年待機。もっと数を増やし、2~3 ヶ月で入所できるようにしてほしい。 入所費用：老健・特養とも、現行が上限であると思う。

介護保険の適用について：同居 / 独居

- 同居者がいる場合、何も支援してもらえないのは悲しいことです。同居者もそれぞれ忙しく健康上のこともあり、またすべて同居者に支えてもらえるとは限りませんので。
- 同居者がいる家庭は介護保険が適用できないとのこと。同居人がサラリーマンの場合、仕事優先であり、介護に専念することはできないので矛盾している。この点は、すぐに改善すべきである。

手続きなど

- 当面問題が発生した利用者にとって、制度が実際に動き出すのに、諸手続き等の時間がかかりすぎのようには思いますが、いかがでしょうか。
- サービスを受けるまでの手続きが、とても大変に感じます。

要介護認定について

- 介護度認定決定について納得がいかない。良くなっているのに介護度が上がったり、生活がかなり困難で医師も認めているのに支援だったり。
- 介護度変更のときはできるだけ早くに見直しをできるようにしてほしい。
- 要支援 1 になりましたら、介護保険は使えないということで、今は自費で週 1 時間半のヘルパーさんを頼んでいます。
- 2 年前から制度のお世話になっています。約 1 年前、突然介護度の認定ランクを「要介護」「要支援」に格下げされたのは納得できません。いま、通所リハビリ施設に行っていますが、健常者と変わらない人が要介護の認定を受け、地区によって要介護認定度に不公平感があると思います。介護度の認定には不公平のないようにお願いします。
- 介護度の認定期間が短い。ある市では 2 年というものもある。
- 介護度の基準がわからない。
- 介護度の低下が心配です。

特定の事項(サービスの内容など)について

サービスの制限：時間、回数

- ヘルパー：掃除、洗濯以外は電球の交換も違法というのは不合理。少し高い台に昇ることもできないので、お願いしてやっている。電球交換もまた他の人を頼まなければいけないのだろうか。
- 細かい規則があり、利用に不便を感じる。例えば、頼める家事・頼めない家事など、頼めないことはやる人がいなくて困っている。 リハビリの往復は身体介助扱いだが、その間の待機時間中は、保険外

となっている。買い物をその間に入れることができない。ヘルパーさんは無給など、双方に不便で使いにくい。

- 独居で歩行困難なため買い物をヘルパーさんをお願いしていますが、ペット（ネコ）のエサについては除外されています。生活用品購入時に限り、ペットのエサも購入できるよう緩和していただければと思っています。
- 年ごとにサービスの量が少なくなり、老人二人暮らしには、これからもっと生活全体が困難になるので不安です。ヘルパーさんが来てくれる時間がなくなると本当に困ります。
- 要支援1でも、ベッドを借りたい、週2回通所介護を利用したい。

移送サービスなど

- 移送サービス：病院との往復のみで、薬局に寄るのも違法というのは不合理。現在お願いして何とか寄っている。
- 手足の不自由な者にとって、移動にもう少し優しい制度であつたらと思います。

その他

- 福祉自動車は電動車にして購入時補助を出すべき。

経済的なことについて

- 将来の制度、とくに負担増に対する心配がある。
- 保険料が年々高くなり負担が大きくなり大変。
- 国や市に迷惑をかけないように、なるべく最低限の利用に止めているつもり。
- 近い将来、消費税も上がるでしょう。年金で生活していくうえで、また一人でいると、多くの心配があります。この制度も医療保険と同じく、どんどん上昇していくことが確実で、今後、利用者としても、心して対応せねばと思っています。
- 自己負担額にも所得別にもっと差をつけていいと思う。一日でも長くシステムを維持させるために。
- 介護保険料が高い。
- 収入は年金のみなので値上げはやめてほしい。

感謝など

- 介護保険ができたとき、私の母はいろいろとお世話になりました。自分のことができなくなったときには相談したいと思います。
- 制度ができてから、支援の選択が幅広くなり、助かっている。
- 今の事業所に満足している。この制度を続けてもらいたい。
- 家族もそれぞれ自分の生活がありますので、私はやはり公的な保険制度にお願いしたいと思います。
- 介護士さんはいつもよくやっていただき感謝しています。
- 介護サービスに携わっている方々に感謝しています。

介護者調査の集計結果

1 介護者について

(1)介護者の状況

介護者の人数

問1 要介護者を介護している状況についておたずねします。

(1) 介護者は、あなたを含めて何人いますか。ホームヘルパー等サービス提供事業所は除いた数でお答えください。(は1つ)

1 . 1人

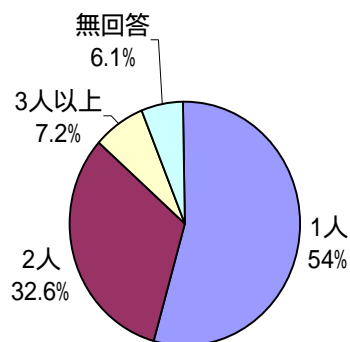
2 . 2人

3 . 3人以上

要介護者の介護について、介護者の人数 を聞いたところ、54%が「1人」と答えた。「2人」は32.6%、「3人以上」は7.2%となっている。

介護者の人数

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	1人	255	54
2	2人	154	32.6
3	3人以上	34	7.2
	無回答	29	6.1
	全体	472	100



上段:人
下段:%

		全体	介護者の人数			
			1人	2人	3人以上	無回答
合計		472	255	154	34	29
		100	54	32.6	7.2	6.1
要介護度	要支援1、2	107	61	35	6	5
		100	57	32.7	5.6	4.7
	要介護1	50	28	15	7	0
		100	56	30	14	0
	要介護2、3	181	96	68	13	4
		100	53	37.6	7.2	2.2
	要介護4、5	119	67	33	8	11
100		56.3	27.7	6.7	9.2	
わからない	2	1	1	0	0	
	100	50	50	0	0	

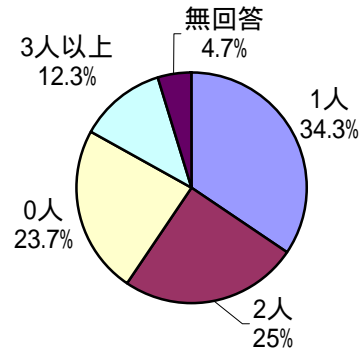
要介護者と同居人数

(2) そのうち、要介護者と同居している人は何人ですか。要介護者が入所・入院している場合は、その前の状況でお答えください。(は1つ)
 1. 0人 2. 1人 3. 2人 4. 3人以上

介護者の 要介護者との同居人数 については、「1人」の34.3%が最も多く、それに次いで「2人」25%、「0人」23.7%、「3人以上」12.3%であり、要介護者の4人に1人は介護者と同居していない状況にあることが示された。

介護者の同居人数

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	0人	112	23.7
2	1人	162	34.3
3	2人	118	25
4	3人以上	58	12.3
	無回答	22	4.7
	全体	472	100



要介護者の要介護度別にみると、要介護度が高いほど、「0人」の割合は低くなっているが、要介護4、5でも、13.4%が介護者と同居していない状況にあることがわかる。

要介護者との関係でみると、配偶者である場合、「1人」の割合が最も高い。子どもや兄弟・姉妹の場合、「0人」である割合が高くなっている。

		全体	要介護者との同居人数				
			0人	1人	2人	3人以上	無回答
合計		472	112	162	118	58	22
		100	23.7	34.3	25	12.3	4.7
要介護度	要支援1、2	107	27	41	18	13	8
		100	25.2	38.3	16.8	12.1	7.5
	要介護1	50	21	17	5	6	1
		100	42	34	10	12	2
	要介護2、3	181	45	53	59	23	1
		100	24.9	29.3	32.6	12.7	0.6
要介護4、5		119	16	49	32	16	6
		100	13.4	41.2	26.9	13.4	5
わからない		2	0	1	0	0	1
		100	0	50	0	0	50
要介護者との関係	配偶者	148	21	84	23	15	5
		100	14.2	56.8	15.5	10.1	3.4
	親	8	1	4	2	1	0
		100	12.5	50	25	12.5	0
	娘	133	34	39	36	19	5
		100	25.6	29.3	27.1	14.3	3.8
	息子	74	26	16	25	7	0
		100	35.1	21.6	33.8	9.5	0
	娘の配偶者	4	1	0	3	0	0
		100	25	0	75	0	0
息子の配偶者	54	11	6	22	15	0	
	100	20.4	11.1	40.7	27.8	0	
兄弟・姉妹	19	6	10	3	0	0	
	100	31.6	52.6	15.8	0	0	
その他	14	9	1	3	0	1	
	100	64.3	7.1	21.4	0	7.1	

上段:人
下段:%

(2)介護者の属性

要介護者との関係

問2 あなたご自身についておたずねします。

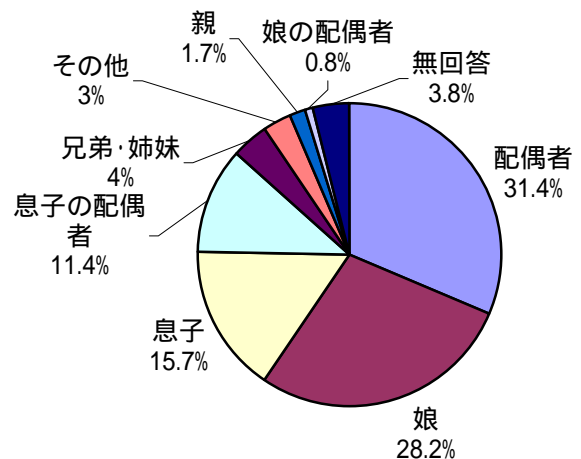
(1) あなたは、要介護者からみてどなたですか。(は1つ)

1. 配偶者 3. 娘 5. 娘の配偶者 7. 兄弟・姉妹
2. 親 4. 息子 6. 息子の配偶者 8. その他 ()

回答者と 要介護者との関係 については、『子ども』が43.9% (娘28.2%、息子15.7%)で最も多い。それに次いで、「配偶者」31.4%、『子の配偶者』12.2% (息子の配偶者11.4%、娘の配偶者0.8%)となっている。

要介護者との関係

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	配偶者	148	31.4
2	親	8	1.7
3	娘	133	28.2
4	息子	74	15.7
5	娘の配偶者	4	0.8
6	息子の配偶者	54	11.4
7	兄弟・姉妹	19	4
8	その他	14	3
	無回答	18	3.8
	全体	472	100



性別

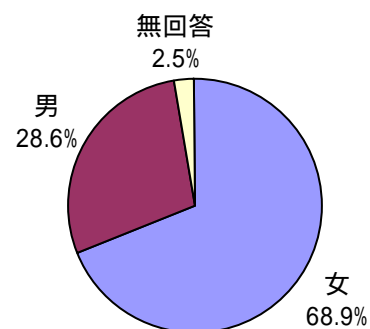
(2) あなたの性別をおたずねします。

1. 男 2. 女

回答者の 性別 は、女性が68.9%、男性が28.6%となっている。

性別

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	男	135	28.6
2	女	325	68.9
	無回答	12	2.5
	全体	472	100



年齢

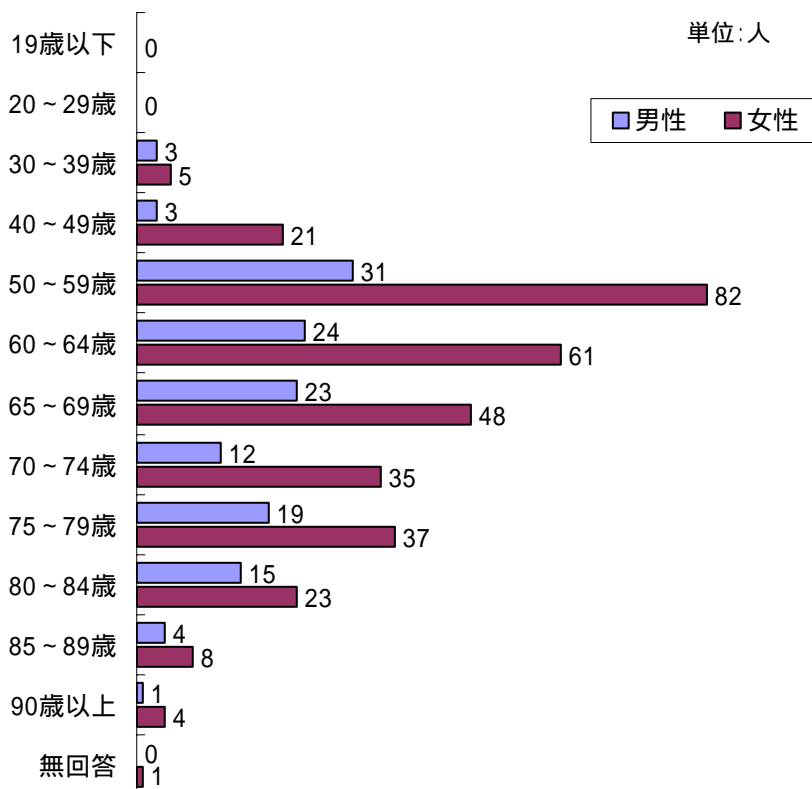
(3) あなたの年齢をおたずねします。

1. 19歳以下	5. 50～59歳	9. 75～79歳
2. 20～29歳	6. 60～64歳	10. 80～84歳
3. 30～39歳	7. 65～69歳	11. 85～89歳
4. 40～49歳	8. 70～74歳	12. 90歳以上

回答者の年齢は、「50～59歳」が24.2%、「60～64歳」18%、「65～69歳」15%、「75～79歳」12.1%、「70～74歳」10.2%となっている。

年齢

No.	カテゴリー名	回答者数	%	男性(%)	女性(%)
1	19歳以下	0	0	0(0.0)	0(0.0)
2	20～29歳	0	0	0(0.0)	0(0.0)
3	30～39歳	8	1.7	3(2.2)	5(1.5)
4	40～49歳	24	5.1	3(2.2)	21(6.5)
5	50～59歳	114	24.2	31(23.0)	82(25.2)
6	60～64歳	85	18	24(17.8)	61(18.8)
7	65～69歳	71	15	23(17.0)	48(14.8)
8	70～74歳	48	10.2	12(8.9)	35(10.8)
9	75～79歳	57	12.1	19(14.1)	37(11.4)
10	80～84歳	39	8.3	15(11.1)	23(7.1)
11	85～89歳	12	2.5	4(3.0)	8(2.5)
12	90歳以上	5	1.1	1(0.7)	4(1.2)
	無回答	9	1.9	0(0.0)	1(0.3)
	全体	472	100	135(100)	325(100)



介護者の状況

(4) あなたの状況についてお知らせください。(あてはまるものすべてに)

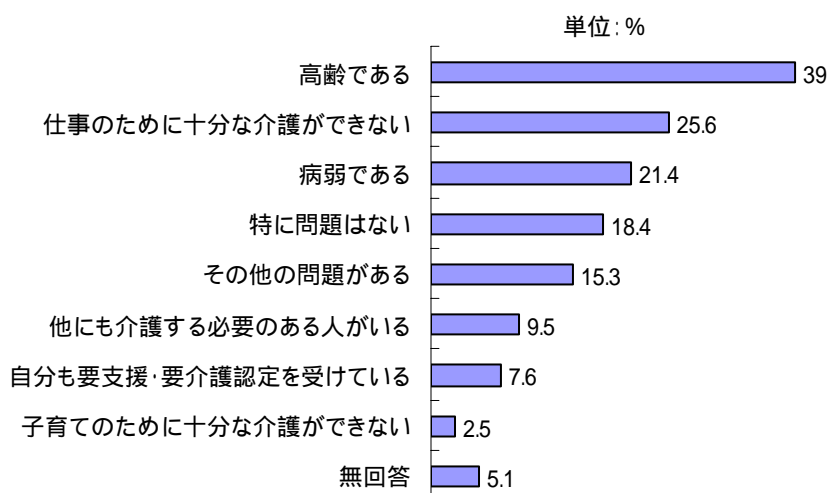
- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 高齢である | 5. 仕事のために十分な介護ができない |
| 2. 病弱である | 6. 子育てのために十分な介護ができない |
| 3. 自分も要支援・要介護認定を受けている | 7. その他の問題がある |
| 4. ほかにも介護しなくてはならない
要介護者等がいる | (具体的に)
8. 特に問題はない |

介護者の状況をみると、介護者も「高齢である」が39%、「仕事のために十分な介護ができない」が25.6%である。

次いで「特に問題はない」が18.4%であるが、「病弱である」21.4%、「その他の問題がある」15.3%、「他にも介護する必要がある人がいる」9.5%、「自分も要支援・要介護認定を受けている」7.6%などであり、介護者自身がさまざまな問題や負担を抱えていることがうかがえる。また、「その他の問題がある」には、体調不良や疲労などとの回答が多くみられた。

介護者の状況(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	高齢である	184	39
2	病弱である	101	21.4
3	自分も要支援・要介護認定を受けている	36	7.6
4	他にも介護する必要がある人がいる	45	9.5
5	仕事のために十分な介護ができない	121	25.6
6	子育てのために十分な介護ができない	12	2.5
7	その他の問題がある	72	15.3
8	特に問題はない	87	18.4
	無回答	24	5.1
	全体	472	100



7.その他の問題

回答	回答数	%
体調不良、病気、疲労など	39	8.3
介護に時間を使えない	9	1.9
別居	7	1.5
仕事に就けない	4	0.8

要介護者の要介護度別にみても、要支援 1、2 と要介護 1 で「自分も要支援・要介護認定を受けている」の割合が高くなっている。

要介護者との関係では、配偶者の場合、「高齢である」が 80.4%と最も高い。また、子どもの場合、「仕事のために十分な介護ができない」の割合が高い傾向になっている。

上段:人
下段:%

	全体	介護者の状況									
		高齢である	病弱である	自分も要支援・要介護認定を受けている	他にも介護する必要がある人	仕事のために十分な介護ができない	子育てのために十分な介護ができない	その他の問題がある	特に問題はない	無回答	
合計	472	184	101	36	45	121	12	72	87	24	
	100	39	21.4	7.6	9.5	25.6	2.5	15.3	18.4	5.1	
要介護度	要支援1、2	107	38	19	12	14	26	5	13	24	5
		100	35.5	17.8	11.2	13.1	24.3	4.7	12.1	22.4	4.7
	要介護1	50	20	10	7	3	17	0	6	8	2
		100	40	20	14	6	34	0	12	16	4
	要介護2、3	181	73	38	8	14	44	6	37	37	6
		100	40.3	21	4.4	7.7	24.3	3.3	20.4	20.4	3.3
要介護4、5	119	48	31	8	13	34	1	16	14	5	
	100	40.3	26.1	6.7	10.9	28.6	0.8	13.4	11.8	4.2	
わからない	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	
	100	100	100	50	50	0	0	0	0	0	
介護者の年齢	49歳以下	32	0	3	0	2	16	7	4	8	0
		100	0	9.4	0	6.3	50	21.9	12.5	25	0
	50～59歳	114	0	12	0	14	53	4	12	35	4
		100	0	10.5	0	12.3	46.5	3.5	10.5	30.7	3.5
	60～69歳	156	38	26	1	16	45	0	32	38	10
		100	24.4	16.7	0.6	10.3	28.8	0	20.5	24.4	6.4
	70～79歳	105	92	37	16	5	6	1	18	5	3
100		87.6	35.2	15.2	4.8	5.7	1	17.1	4.8	2.9	
80～89歳	51	50	23	17	6	0	0	4	0	0	
	100	98	45.1	33.3	11.8	0	0	7.8	0	0	
90歳以上	5	4	0	2	1	0	0	2	0	0	
	100	80	0	40	20	0	0	40	0	0	
要介護者との関係	配偶者	148	119	48	26	10	7	1	27	12	4
		100	80.4	32.4	17.6	6.8	4.7	0.7	18.2	8.1	2.7
	親	8	2	1	1	2	1	0	0	2	2
		100	25	12.5	12.5	25	12.5	0	0	25	25
	娘	133	17	27	2	16	45	8	23	34	4
		100	12.8	20.3	1.5	12	33.8	6	17.3	25.6	3
	息子	74	16	4	0	6	44	1	10	16	1
		100	21.6	5.4	0	8.1	59.5	1.4	13.5	21.6	1.4
	娘の配偶者	4	1	1	0	1	1	1	0	1	0
100		25	25	0	25	25	25	0	25	0	
息子の配偶者	54	5	7	0	5	16	0	5	18	4	
	100	9.3	13	0	9.3	29.6	0	9.3	33.3	7.4	
兄弟・姉妹	19	12	5	3	3	2	0	2	1	0	
	100	63.2	26.3	15.8	15.8	10.5	0	10.5	5.3	0	
その他	14	3	2	0	0	4	1	4	3	1	
	100	21.4	14.3	0	0	28.6	7.1	28.6	21.4	7.1	

(3)要介護者との同居状況

要介護者との同居状況

問3 あなたは、要介護者と同居していますか。要介護者が施設に入所・入院している場合は、入所・入院前の状況でお答えください。(は1つ)

1.同居している 2.別居している

↓

【「2.別居している」とお答えの方におたずねします。】

あなたのお住まいはどちらですか。(は1つ)

1.要介護者宅の近所(歩いてすぐ行ける範囲) 4.県内の他の地域
2.市内の他の地域 5.県外
3.近隣の他の市町(葉山・鎌倉・横浜・横須賀)

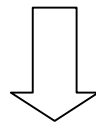
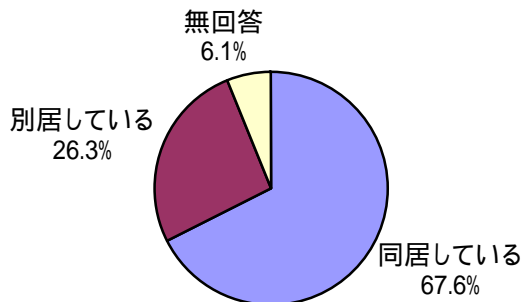
回答者と 要介護者との同居状況 については、「同居している」67.6%、「別居している」26.3%である。

「別居している」と答えた 124 人に対して、介護者の 居住場所 について聞いたところ、「近隣の他の市町」との回答が、34.7%で最も多かった。このほかには、「要介護者宅の近所(歩いてすぐ行ける範囲)」28.2%、「県内の他の地域」13.7%、「市内の他の地域」11.3%、「県外」9.7%である。

『市外在住』(58.1%) が『市内在住』(39.5%) を上回っていることがわかる。

要介護者との同居状況

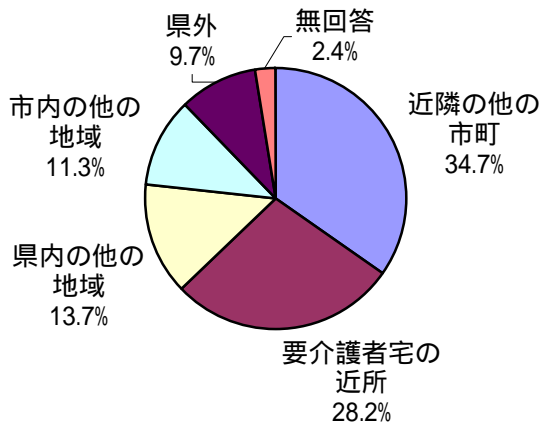
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	同居している	319	67.6
2	別居している	124	26.3
	無回答	29	6.1
	全体	472	100



居住場所

* 該当者 = 124人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	要介護者宅の近所	35	28.2
2	市内の他の地域	14	11.3
3	近隣の他の市町	43	34.7
4	県内の他の地域	17	13.7
5	県外	12	9.7
	無回答	3	2.4
	全体	124	100



2 要介護者について

(1)要介護者の現在の状況

要介護者の生活場所

問4 要介護者の現在の状況についておたずねします。

(1) 現在、要介護者はどちらで生活していますか。(は1つ)

短期間の入院や短期入所を利用しているときは、入院や利用前の状況でお答えください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 在宅 | 5. 有料老人ホーム等 |
| 2. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | 6. 軽費老人ホーム・ケアハウス |
| 3. 介護老人保健施設(老人保健施設) | 7. グループホーム |
| 4. 介護療養型医療施設(療養型病床群等) | 8. その他() |

要介護者の生活場所 について聞いたところ、次のとおりの回答状況であった。

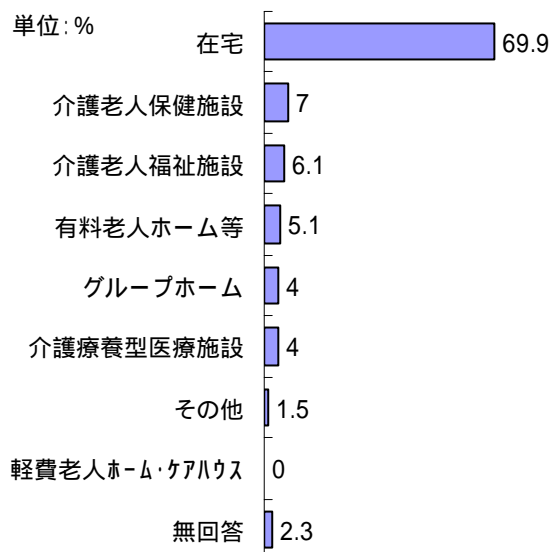
- 在宅生活者：330人(69.9%)
- 介護保険施設への入所者：81人(17.1%) 介護老人保健施設33人(7%)、介護老人福祉施設29人(6.1%)、介護療養型医療施設19人(4%)
- その他施設への入居者：43人(9.1%) 有料老人ホーム等24人(5.1%)、グループホーム19人(4%)
- その他・無回答：18人(3.8%)

要介護認定者調査の結果

- 在宅生活者：453人(75%) 自宅420人(69.5%)、親族の家24人(4%)
- 介護保険施設への入所者：86人(14.2%) 介護老人福祉施設40人(6.6%)、介護老人保健施設31人(5.1%)、介護療養型医療施設15人(2.5%)
- その他の施設への入居者：55人(9.1%) 有料老人ホーム等28人(4.6%)、グループホーム23人(3.8%)、軽費老人ホーム・ケアハウス4人(0.7%)
- その他および無回答：10人(1.7%)

要介護者の生活場所

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	在宅	330	69.9
2	介護老人福祉施設	29	6.1
3	介護老人保健施設	33	7
4	介護療養型医療施設	19	4
5	有料老人ホーム等	24	5.1
6	軽費老人ホーム・ケアハウス	0	0
7	グループホーム	19	4
8	その他	7	1.5
	無回答	11	2.3
	全体	472	100



要介護者の要介護度

(2) 要介護者の要介護度は現在どれにあてはまりますか。(は1つ)

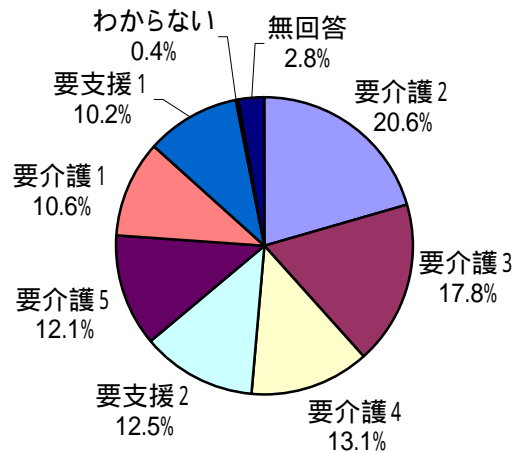
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 3. 要介護 1 | 5. 要介護 3 | 7. 要介護 5 |
| 2. 要支援 2 | 4. 要介護 2 | 6. 要介護 4 | 8. わからない |

要介護者の要介護度 については、「要介護 2」20.6%、「要介護 3」17.8%、「要介護 4」13.1%、「要支援 2」12.5%、「要介護 5」12.1%、「要支援 1」10.2%となっている。

要支援 1～要介護 1 が約 30%、要介護 2～3 が約 40%、要介護 4～5 が約 25%といった分布となっている。

要介護者の要介護度

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	要支援 1	48	10.2
2	要支援 2	59	12.5
3	要介護 1	50	10.6
4	要介護 2	97	20.6
5	要介護 3	84	17.8
6	要介護 4	62	13.1
7	要介護 5	57	12.1
8	わからない	2	0.4
	無回答	13	2.8
	全体	472	100



要介護認定者調査の結果

要介護度

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	要支援 1	87	14.4
2	要支援 2	101	16.7
3	要介護 1	67	11.1
4	要介護 2	107	17.7
5	要介護 3	94	15.6
6	要介護 4	69	11.4
7	要介護 5	68	11.3
8	知らない	4	0.7
	無回答	7	1.2
	全体	604	100

要介護者の心身状況

(3) 要介護者の心身の状況はいかがですか。(あてはまるものすべてに)

1. 日常生活はなんとか一人でできる
2. 日常生活の一部に手助けが必要
3. 日常生活のすべてについて手助けが必要
4. 認知症の症状が少しあるが、なんとか一人でも生活できる → 108 頁へ
5. 認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない → 108 頁へ
6. その他(具体的に)

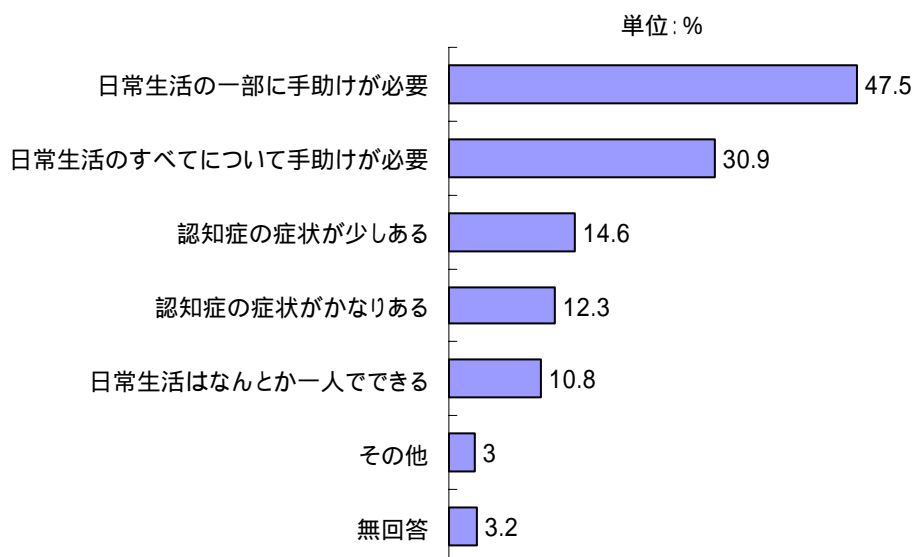
要介護者の心身状況 について聞いたところ、「日常生活の一部に手助けが必要」が 47.5%、「日常生活のすべてについて手助けが必要」も 30.9%みられる。「日常生活はなんとか一人でできる」は 10.8%であった。

認知症については、「認知症の症状が少しある」14.6%、「認知症の症状がかなりある」12.3%となっている。

要介護者の心身の状況(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	日常生活はなんとか一人でできる	51	10.8
2	日常生活の一部に手助けが必要	224	47.5
3	日常生活のすべてについて手助けが必要	146	30.9
4	認知症の症状が少しある	69	14.6
5	認知症の症状がかなりある	58	12.3
6	その他	14	3
	無回答	15	3.2
	全体	472	100

↓
108 頁へ



要介護者の要介護度別にみると、要介護度 4、5 の人では、68.9%が「日常生活のすべてについて手助けが必要」と回答している。「認知症の症状がかなりある」は、要介護 2、3 で 14.9%、要介護 4、5 で 21.8%となっている。

介護者の要介護者との同居人数別でみると、「日常生活のすべてについて手助けが必要」な場合でも、約 2 割（18.8%）が、介護者と同居していない現状にあることがわかる。

上段:人
下段:%

	全体	要介護者の心身の状況								
		一人 日常生活 は なんと か	助 け が 必 要	日 常 生 活 の 一 部 に 手	手 助 け が 必 要	日 常 生 活 の す べ て に	あ る 認 知 症 の 症 状 が 少 し	り 認 知 症 の 症 状 が か な	そ の 他	無 回 答
合計	472	51	224	146	69	58	14	15		
	100	10.8	47.5	30.9	14.6	12.3	3	3.2		
要 介 護 度	要支援1、2	107	33	71	6	8	1	1	1	
		100	30.8	66.4	5.6	7.5	0.9	0.9	0.9	
	要介護1	50	6	37	2	11	3	3	3	
		100	12	74	4	22	6	6	6	
	要介護2、3	181	7	100	55	36	27	6	0	
		100	3.9	55.2	30.4	19.9	14.9	3.3	0	
	要介護4、5	119	1	15	82	13	26	4	3	
		100	0.8	12.6	68.9	10.9	21.8	3.4	2.5	
	わからない	2	2	0	0	0	0	0	0	
		100	100	0	0	0	0	0	0	
	同 介 護 者 数 の	0人	112	9	63	21	16	18	4	4
			100	8	56.3	18.8	14.3	16.1	3.6	3.6
1人		162	26	74	57	28	13	6	3	
		100	16	45.7	35.2	17.3	8	3.7	1.9	
2人		118	9	48	47	15	19	1	1	
		100	7.6	40.7	39.8	12.7	16.1	0.8	0.8	
3人以上		58	3	33	15	8	8	1	1	
		100	5.2	56.9	25.9	13.8	13.8	1.7	1.7	

認知症で困っていること

認知症の対応について、どのようなことでお困りですか。(あてはまるものすべてに)

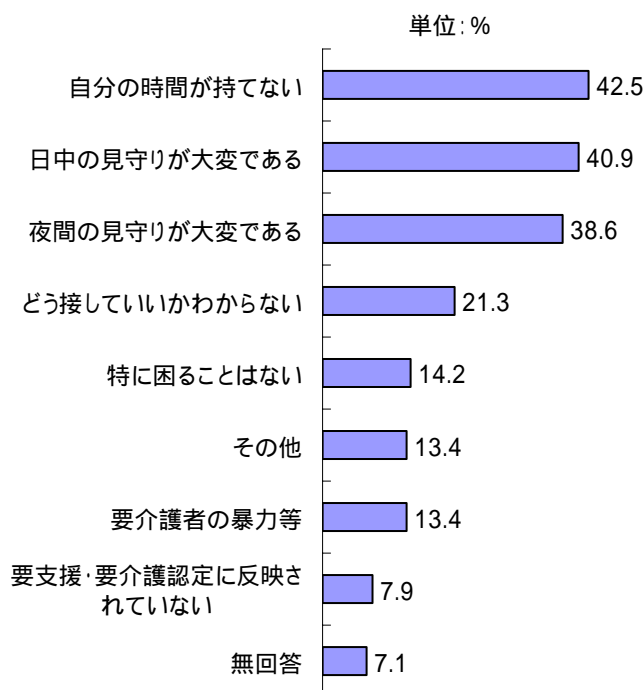
- 1 . どう接していいかわからない
- 2 . 日中の見守りが大変である
- 3 . 夜間の見守りが大変である
- 4 . 自分の時間が持てない
- 5 . 要介護者に責められたり暴力をふるわれることがある
- 6 . 要支援・要介護認定にうまく反映されていない
- 7 . その他()
- 8 . 特に困ることはない

要介護者に認知症の症状がある 127 件について、介護者が困っていることの内容をみると、「自分の時間が持てない」42.5%、「日中の見守りが大変である」40.9%、「夜間の見守りが大変である」38.6%が上位であった。このほか、「どう接していいかわからない」21.3%、「要介護者に責められたり暴力をふるわれることがある」13.4%、「要支援・要介護認定にうまく反映されていない」7.9%となっている。「特に困ることはない」は 14.2%であった。

認知症の対応について(複数回答)

* 該当者 = 127

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	どう接していいかわからない	27	21.3
2	日中の見守りが大変である	52	40.9
3	夜間の見守りが大変である	49	38.6
4	自分の時間が持てない	54	42.5
5	要介護者の暴力等	17	13.4
6	要支援・要介護認定に反映されていない	10	7.9
7	その他	17	13.4
8	特に困ることはない	18	14.2
	無回答	9	7.1
	全体	127	100



7.その他

回答	回答数
排便処理	2
われわれ介護者のほうが体調を崩している。	1
妄想があり、配偶者や自宅を認識できない。	1
自己認識ができず、防火、防犯、食事、徘徊等、日常的に危険がある。	1
生きていても仕方がないと大きな声で嘆く。	1
いろいろなことに不満を言う。専門医の診察を受けたい。	1
対応に困り疲れてストレスがたまる。一緒に外を歩くようにすることが大変。	1
会話がなかなか成立しないこと。	1
他の病気があり、鬱になりやすい。	1
言葉の意味が伝わらない。	1
感情に波があったり、被害妄想のときがある。	1
思い通りにならないと怒る。体調(心)の良いときと悪いときにむらがある。	1
失語症なので、言いたいことを分かってあげられないことがある。	1
物忘れがひどい。	1
ヘルパーさんを頼みたいが本人が嫌がる。	1
躁鬱状態もある。	1

(2)介護保険サービスの利用

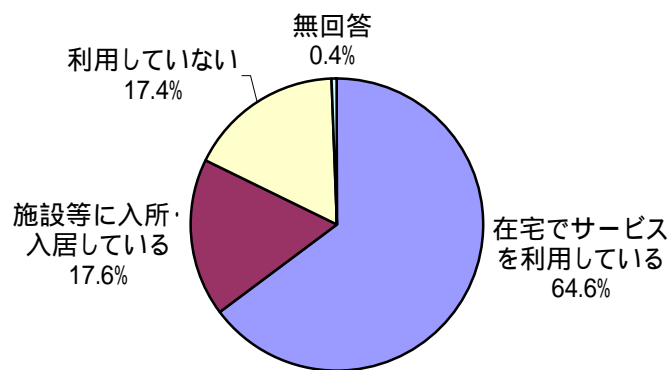
介護保険サービスの利用状況

<p>問5 要介護者は、介護保険サービスを利用していますか。(は1つ)</p> <p>1. 利用していない</p> <p>2. 在宅で受けられるサービスを利用している</p> <p>3. 施設等に入所・入院している</p>
--

要介護者の 介護保険サービスの利用状況 については、「在宅で受けられるサービスを利用している」64.6%、「施設等に入所・入居している」17.6%、「利用していない」17.4%となっている。

介護保険サービスの利用状況

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	利用していない	82	17.4
2	在宅でサービスを利用している	305	64.6
3	施設等に入所・入居している	83	17.6
	無回答	2	0.4
	全体	472	100



要介護者との同居状況別にみると、同居している場合は、「利用していない」が21%と、別居している場合よりも高い割合を示している。一方、別居している場合は、「施設等に入所・入居している」が26.6%と、同居している人に比べ、高い割合になっている。

		全体	介護保険サービスの利用状況			
			利用していない	在宅でサービスを利用している	施設等に入所・入居している	無回答
合計		472	82	305	83	2
		100	17.4	64.6	17.6	0.4
同居状況	同居している	319	67	202	48	2
		100	21	63.3	15	0.6
別居している	別居している	124	10	81	33	0
		100	8.1	65.3	26.6	0

上段:人
下段:%

3 在宅サービスの利用状況

(1) ケアプランについて

ケアプランの認識 * 該当者 = 307人

問6 要介護者の介護サービス計画（ケアプラン）についておたずねします。

(1) あなたは、要介護者のケアプランをご存じですか。(は1つ)

- | | | |
|-----------------------|-------|----------|
| 1. 知っている | → 次頁へ | 3. 知らない |
| 2. あることは知っているが見たことがない | | 4. わからない |

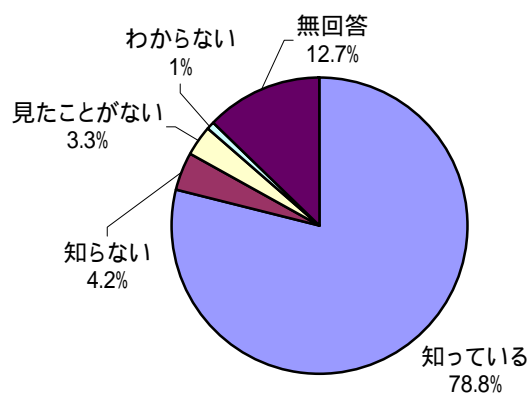
要介護者が在宅サービスを利用している 307 人に、要介護者の ケアプランの認識 について聞いたところ、78.8%が「知っている」と答えた。

「知らない」は 4.2%、「あることは知っているが見たことがない」3.3%、「わからない」1%となっている。

ケアプランの認識 * 該当者 = 307人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	知っている	242	78.8
2	知らない	13	4.2
3	見たことがない	10	3.3
4	わからない	3	1
	無回答	39	12.7
	全体	307	100

次頁へ



要介護認定者調査の結果

ケアプランの認識 * 該当者 = 357人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	知っている	260	72.8
2	知らない	34	9.5
3	わからない	35	9.8
	無回答	28	7.8
	全体	357	100

ケアプランへの評価 * 該当者 = 242 人

(2) 要介護者の現在のケアプランについて、どう思いますか。

全体的なサービスの量	利用料負担への配慮
利用するサービスの数	ケアプラン作成への本人の参加
サービスの組み合わせ	ケアプラン作成への家族の参加
サービスの利用日時の設定	ケアプラン見直し・評価の体制
サービス事業所の選択	総合的な満足度

要介護者が在宅で介護保険サービスを利用している場合、介護者による 要介護者のケアプランへの評価 をみると、「総合的な満足度」として、85.9%が『満足』と答えている（満足 48.3%、やや満足 37.6%）。

「満足」の回答を項目別にみると、「サービス事業所の選択」57.4%、「サービスの利用日時の設定」55.8%、「ケアプラン作成への家族の参加」51.7%、「利用するサービスの数」47.5%、「サービスの組み合わせ」47.1%などであり、総じて4割を上回っている。

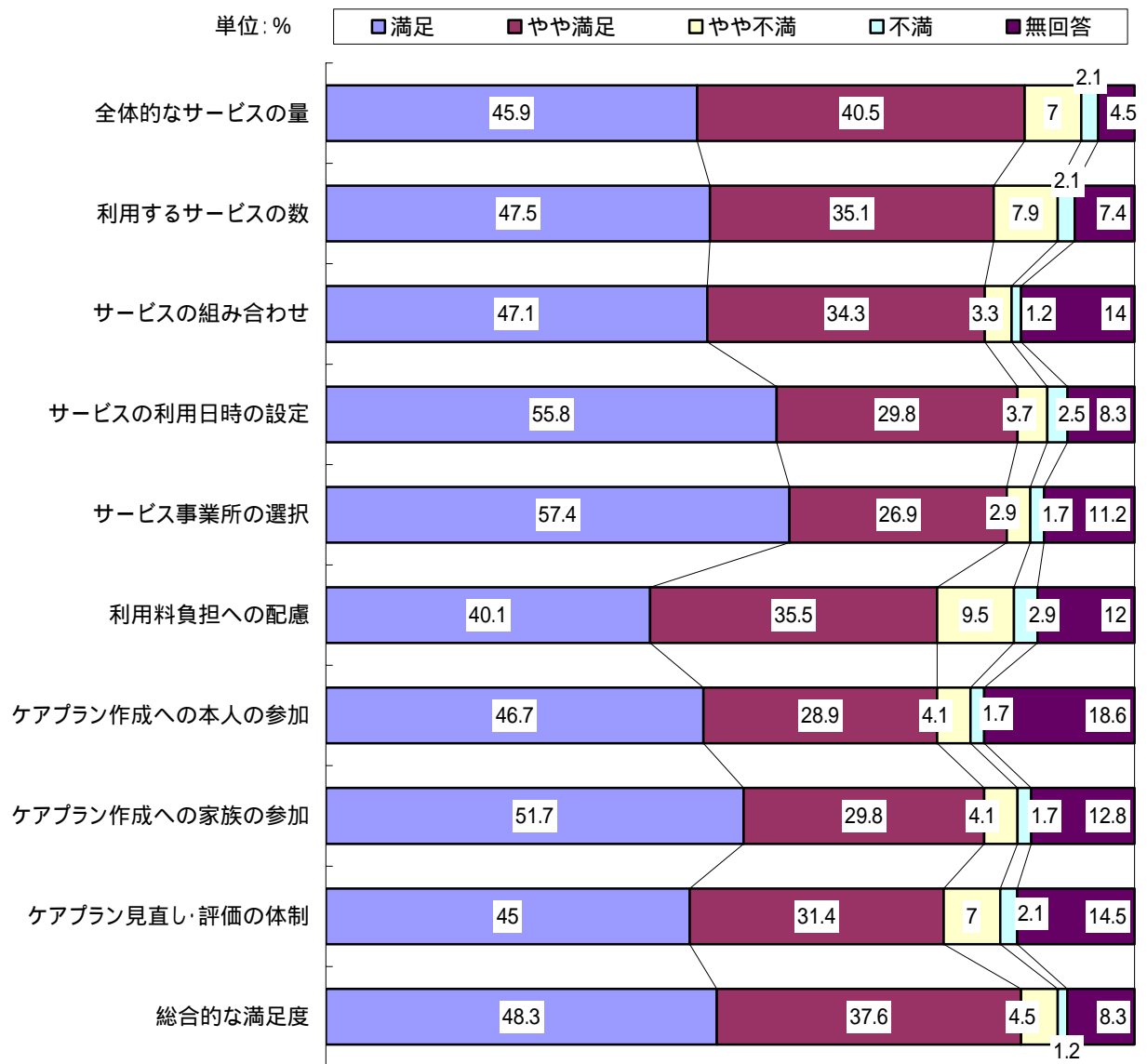
『不満』（やや不満 + 不満）との回答は、「利用者負担への配慮」（12.4%）と「利用するサービスの数」（10.0%）で1割程度になっているが、そのほかは1割を下回っている。

ケアプランへの評価

* 該当者 = 242人

上段:人
下段:%

項目	全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体的なサービスの量	242	111	98	17	5	11
	100	45.9	40.5	7	2.1	4.5
利用するサービスの数	242	115	85	19	5	18
	100	47.5	35.1	7.9	2.1	7.4
サービスの組み合わせ	242	114	83	8	3	34
	100	47.1	34.3	3.3	1.2	14
サービスの利用日時の設定	242	135	72	9	6	20
	100	55.8	29.8	3.7	2.5	8.3
サービス事業所の選択	242	139	65	7	4	27
	100	57.4	26.9	2.9	1.7	11.2
利用料負担への配慮	242	97	86	23	7	29
	100	40.1	35.5	9.5	2.9	12
ケアプラン作成への本人の参加	242	113	70	10	4	45
	100	46.7	28.9	4.1	1.7	18.6
ケアプラン作成への家族の参加	242	125	72	10	4	31
	100	51.7	29.8	4.1	1.7	12.8
ケアプラン見直し・評価の体制	242	109	76	17	5	35
	100	45	31.4	7	2.1	14.5
総合的な満足度	242	117	91	11	3	20
	100	48.3	37.6	4.5	1.2	8.3



(2) ケアマネジャーについて

ケアマネジャーとの連絡者 * 該当者 = 307 人

問7 介護支援専門員（ケアマネジャー）についておたずねします。

(1) 要介護者のケアマネジャーとよく連絡している人はどなたですか。（あてはまるものすべてに ）

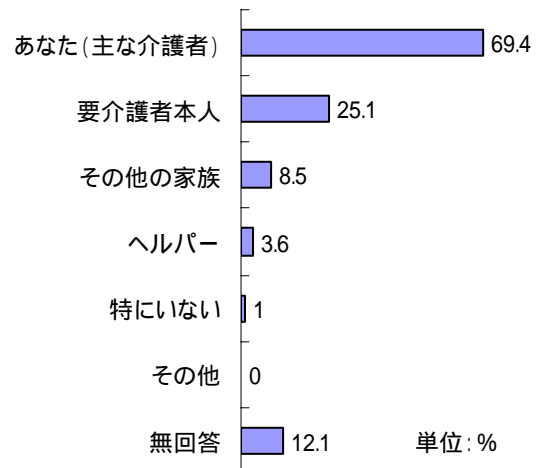
1. 要介護者本人 3. その他の家族 5. その他（ ）

2. あなた（主な介護者） 4. ヘルパー 6. 特にいない

要介護者が在宅で介護保険サービスを利用している場合、ケアマネジャーとの連絡者 については、「あなた（主な介護者）」69.4%、「要介護者本人」25.1%が上位であった。このほか、「その他の家族」8.5%、「ヘルパー」3.6%などがみられる。

ケアマネジャーとの連絡者(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	要介護者本人	77	25.1
2	あなた(主な介護者)	213	69.4
3	その他の家族	26	8.5
4	ヘルパー	11	3.6
5	その他	0	0
6	特にいない	3	1
	無回答	37	12.1
	全体	307	100



要介護者の要介護度別でみると、要支援1、2の人では55.6%が「要介護者本人」と回答しているが、要介護2～5では約8割が「あなた（主な介護者）」となっている。

また、要介護者と同居している場合では、「あなた（主な介護者）」が8割以上となっている。

		ケアマネジャーとの連絡者(複数回答)							
		全体	要介護者本人	あなた(主な介護者)	その他の家族	ヘルパー	その他	特にいない	無回答
合計		307	77	213	26	11	0	3	37
		100	25.1	69.4	8.5	3.6	0	1	12.1
要介護度	要支援1、2	72	40	36	6	4	0	1	10
		100	55.6	50	8.3	5.6	0	1.4	13.9
	要介護1	39	10	29	2	1	0	1	4
		100	25.6	74.4	5.1	2.6	0	2.6	10.3
	要介護2、3	131	22	100	11	5	0	1	17
		100	16.8	76.3	8.4	3.8	0	0.8	13
	要介護4、5	56	3	45	5	0	0	0	5
100		5.4	80.4	8.9	0	0	0	8.9	
わからない	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100	0	0	0	0	0	0	0	
同居状況	同居している	204	42	168	15	6	0	0	17
		100	20.6	82.4	7.4	2.9	0	0	40.5
	別居している	81	27	40	6	4	0	2	16
	100	33.3	49.4	7.4	4.9	0	2.5	19.8	

上段: 人
下段: %

担当ケアマネジャーへの評価 * 該当者 = 307 人

(2) 要介護者の現在の担当ケアマネジャーについてどう思いますか。

説明の丁寧さ・適切さ	サービス事業所・医師・市役所との連携
本人・家族の希望の反映	知識や情報量
相談時間や訪問回数	態度やマナー
納得できるケアプランの策定や見直し	緊急時(急変時)やサービス変更等の対応
サービス事業所やサービスの決め方	総合的な満足度

要介護者の現在の 担当ケアマネジャーへの評価 については、「総合的な評価」として、78.5%が『満足』と答えた(満足 53.1%、やや満足 25.4%)

「満足」との回答を項目別にみると、「態度やマナー」60.6%、「説明の丁寧さ・適切さ」59%、「本人・家族の希望の反映」55%、「相談時間や訪問回数」50.2%が上位を占めている。このほかの項目はいずれも4割を上回っている。

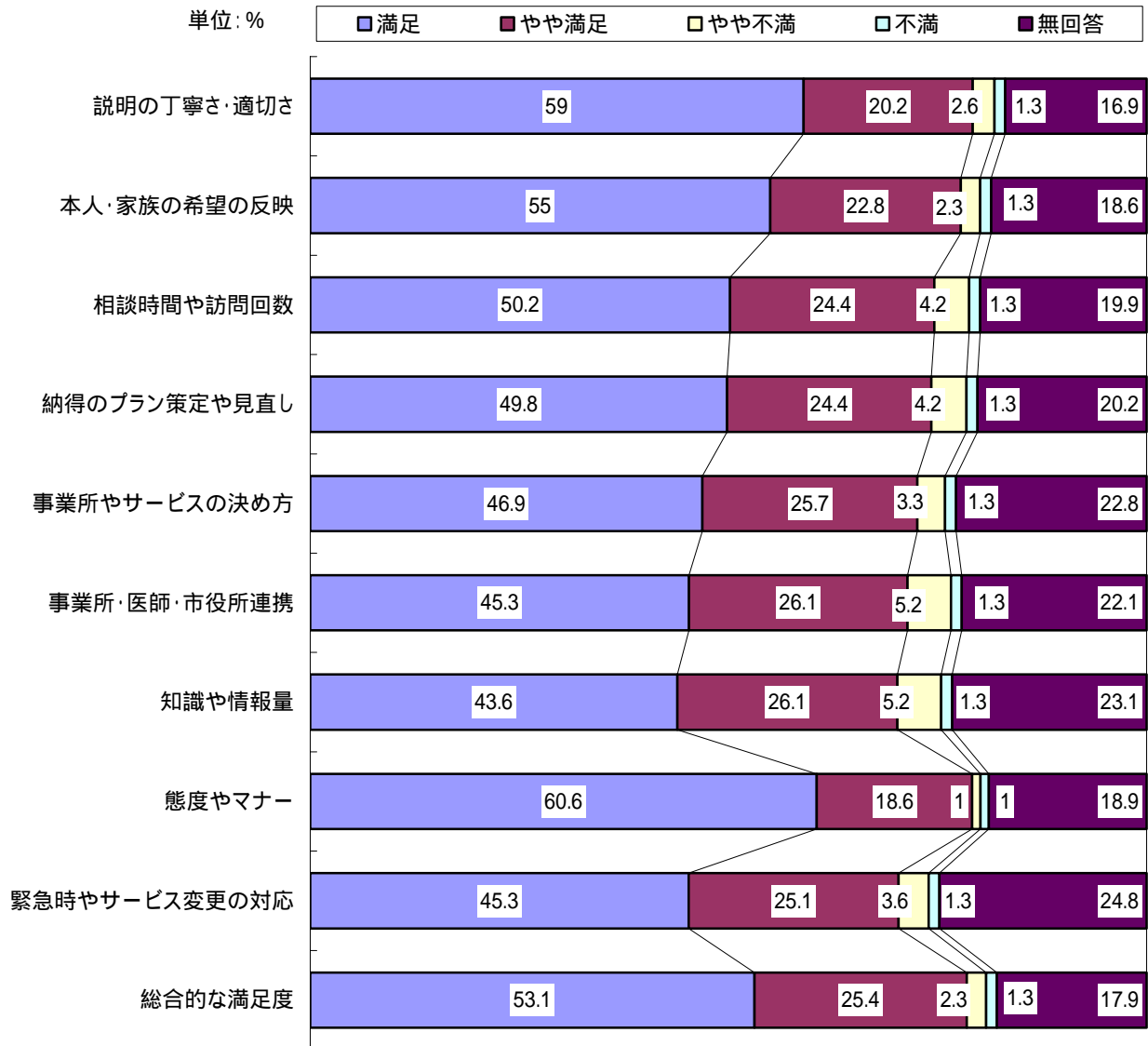
『不満』(やや不満+不満)は、「サービス事業所・医師・市役所との連携」及び「知識や情報量」各6.5%であるが、全ての項目で1割を下回っている。

担当ケアマネジャーへの評価

上段:人
下段:%

項目	全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
説明の丁寧さ・適切さ	307	181	62	8	4	52
	100	59	20.2	2.6	1.3	16.9
本人・家族の希望の反映	307	169	70	7	4	57
	100	55	22.8	2.3	1.3	18.6
相談時間や訪問回数	307	154	75	13	4	61
	100	50.2	24.4	4.2	1.3	19.9
納得のプラン策定や見直し	307	153	75	13	4	62
	100	49.8	24.4	4.2	1.3	20.2
事業所やサービスの決め方	307	144	79	10	4	70
	100	46.9	25.7	3.3	1.3	22.8
事業所・医師・市役所連携	307	139	80	16	4	68
	100	45.3	26.1	5.2	1.3	22.1
知識や情報量	307	134	80	16	4	71
	100	43.6	26.1	5.2	1.3	23.1
態度やマナー	307	186	57	3	3	58
	100	60.6	18.6	1	1	18.9
緊急時やサービス変更の対応	307	139	77	11	4	76
	100	45.3	25.1	3.6	1.3	24.8
総合的な満足度	307	163	78	7	4	55
	100	53.1	25.4	2.3	1.3	17.9

単位：%



(3)在宅サービスの利用状況

利用している介護保険サービス * 該当者 = 307 人

問 8 要介護者が利用している介護保険サービスについておたずねします。

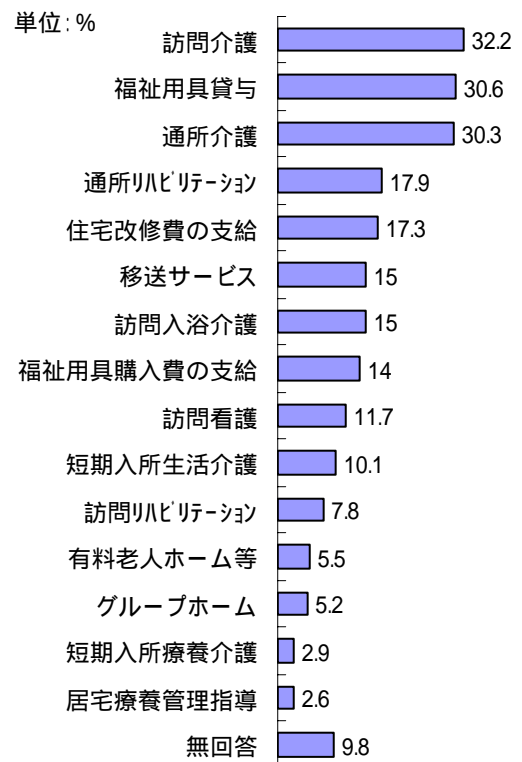
(1) 現在、利用しているサービスにはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 .(介護予防) 訪問介護 | 9 .(介護予防) 短期入所療養介護 |
| 2 .(介護予防) 訪問入浴介護 | 10 .(介護予防) 福祉用具貸与 |
| 3 .(介護予防) 訪問リハビリテーション | 11 .(介護予防) 福祉用具購入費の支給 |
| 4 .(介護予防) 訪問看護 | 12 .(介護予防) 住宅改修費の支給 |
| 5 .(介護予防) 居宅療養管理指導 | 13 .グループホーム |
| 6 .(介護予防) 通所介護 | 14 .有料老人ホーム等 |
| 7 .(介護予防) 通所リハビリテーション | 15 .移送サービス |
| 8 .(介護予防) 短期入所生活介護 | |

要介護者が在宅で現在利用している介護保険サービスについては、「介護訪問」32.2%、「福祉用具貸与」30.6%、「通所介護」30.3%が上位である。このほか、「通所リハビリテーション」17.9%、「住宅改修費の支給」17.3%、「移送サービス」及び「訪問入浴介護」各 15%、「福祉用具購入費の支給」14%、「訪問看護」11.7%、「短期入所生活介護」10.1%、「訪問リハビリテーション」7.8%、「有料老人ホーム等」5.5%などの順になっている。

利用している介護保険サービス(複数回答)
* 該当者 = 307人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	訪問介護	99	32.2
2	訪問入浴介護	46	15
3	訪問リハビリテーション	24	7.8
4	訪問看護	36	11.7
5	居宅療養管理指導	8	2.6
6	通所介護	93	30.3
7	通所リハビリテーション	55	17.9
8	短期入所生活介護	31	10.1
9	短期入所療養介護	9	2.9
10	福祉用具貸与	94	30.6
11	福祉用具購入費の支給	43	14
12	住宅改修費の支給	53	17.3
13	グループホーム	16	5.2
14	有料老人ホーム等	17	5.5
15	移送サービス	46	15
	無回答	30	9.8
	全体	307	100



要介護認定者調査の結果(福祉用具の貸与・購入以外)

「訪問介護」35.9%、「通所介護」27.7%、「通所リハビリテーション」18.8%、「訪問入浴介護」14.8%、「住宅改修費の支給」13.4%、「移送サービス」13.4%、「訪問看護」11.5%、「短期入所生活介護」9.5%、「訪問リハビリテーション」9%、「居宅療養管理指導」4.5%、「短期入所療養介護」0.6%の順。

もっと利用したいサービス・利用しにくいサービス（自由記述）

(2) (1)のサービスについて、もっと利用できるといい、又は 利用しにくいとお感じのサービスがありましたら、その内容についてご自由にお書きください。

もっと利用できると思うサービス

サービス名称	内容や理由
訪問介護	<p>4月以降、介護内容変更によりお願いすることができなくなってしまいました。時間的なこと、トイレ、洗面所、食事する場所などは掃除してもらいたいと思います。</p> <p>病院への送迎、付き添い、細かい日常の買い物等の支援がもっとあったらいい。仕事の合間に時間を作るのが難しいため。</p> <p>現在、週2回（1回1時間）の利用ですが、1回1時間30分の利用ができればと思います。家事援助ということで利用時間が1時間になってしまいました（以前は1時間30分利用）。日誌を書く時間を含んでの1時間ですので。</p> <p>高齢の要介護者（母）にとって、在宅していることが一番安定した状態を保てるので、このサービスをできるだけ多く利用したい。</p> <p>休日など、もう少し続けられたらと思います。</p> <p>1回の時間が短いこと。もう少し長い利用ができることを望みます。</p> <p>心臓病にて、ときどきニトロを飲むような日常生活ですので、月2回の訪問介護日以外も、ときどき電話連絡していただければと思います。</p> <p>調理をお願いしていますが、冬場調理時間が16:00～17:00までなので、調理の種類が限られてしまい、冷たいものを食べることもある。</p> <p>買い物、掃除ができないため、もう少し来てくれると助かります。</p> <p>訪問日と時間を増やしてほしい。</p> <p>本年から介護内容が大幅に制限され、同居者がいると対象外となることもあり、老老介護に対する配慮が足りない。</p> <p>現在は隔週だが、1週間に1度ずつだと安心できる。</p>
訪問入浴介護	<p>家族としては希望しているが、本人が拒否しているため利用できず困っている。</p> <p>回数を増やしてほしい（自費ではけた違いの金額になる）。</p>
訪問リハビリテーション	<p>超高齢にて、この先自立に向かうこと等難しく、せいぜいこれ以上悪くならないよう、リハビリテーションを受けたいが、在宅、通所、短期のいずれも対応できない（PT不足か？）。</p> <p>足が弱いのでリハビリや運動をさせたい。</p> <p>適当なときに適当なりハビリをやれば寝たきりにならないですむ。</p> <p>月2回か週1回以上は無理ということで、週1回では現状維持がやっとで持続向上は期待できないから。</p>

	<p>ケアマネジャーの紹介で利用したが、背骨が曲がっているのに足だけのマッサージだったので 4 回で断りました。腰と背中マッサージが必要だと考えていますが、どうでしょうか。</p> <p>現在は隔週だが、1 週間に 1 度ずつだと安心できる。</p>
訪問看護	<p>訪問日と時間を増やしてほしい。</p> <p>介護者がいると、なぜ食事や掃除の介護保険が使えないのか。老老介護でヘルパーを利用するにも予算が足りない。</p> <p>不安なときがある。</p>
居宅療養管理指導	<p>内科については往診を受けているが、外科的な痛みに対応できないでいる。医食同源なので、食事面にも指導が受けられるよう総合的な管理指導が必要。</p>
通所介護	<p>通所介護所で希望者に理容サービスを行ってほしい。</p> <p>時間の延長（すぐ帰ってきてしまって、落ち着かないから）</p> <p>今は週 4 日ですが、週 5～6 回利用できると思いしています。</p> <p>大勢の人との交流や会話をしてほしい。認知症の予防のため。</p> <p>見学会、介護講習会</p> <p>現在週 1 回の利用ですが、週 2 回でもまだ元気なので通えると思います。</p> <p>時間が短いこと。せめて 5 時まで預かってほしい。</p> <p>朝 10 時近くに迎えがあり、3 時 30 分ぐらいに帰ってくる。普段できない外出など、時間を気にしながら早めの帰宅ではストレスが残る。</p> <p>祝日も利用できるといい。</p> <p>要支援 1 だが、前回要支援 2 だったので、通所 2 回利用している。しかし、次回の認定で、また要支援 1 の場合、1 回しか利用できなくなるそうです。現状維持のため、2 回利用したい。</p> <p>祝祭日も行ってほしい。</p> <p>宿泊しなくても夜間も延長してほしい</p>
訪問介護 / 通所介護	<p>重度の認知症のため、専門のデイへ通っているが、料金が高いため、それだけで保険がオーバーしてしまう。日中独居の場合、連日利用が不可欠となる。日曜日仕事の場合、利用できる通所サービスがない。その際、訪問介護では見守りをしてもらえないので（長時間）どちらかを何とか利用できるようにしてもらいたい。</p>
通所リハビリテーション	<p>1 週間 1 回なので、2 回くらいは行かれると効果がもっとあがると思う。</p> <p>1 週間以内のショートステイで作業療法士がリハビリを指導する施設が少ないように思われる。常駐するようにしてもらいたい。</p> <p>もう少し気軽に利用できると、利用しやすいと思います。</p> <p>デイケアで週 2 回通所しているが、1 日中の滞在でなく、機能訓練のリハビリだけで通所できるとよい。リハビリの回数が増えて継続して訓練できるので、回復も早くなるのではないかと思う。</p> <p>短時間でもいいから、家の近くに施設があると良い。</p>

短期入所生活介護	ショートステイができるといいと思う。前もって行っておかないとできないが、ぜひ利用したい。
	在宅介護の負担を軽くしたいから。
住宅改修費の支給	手すりを取りつけただけで限度になってしまい、スロープまで手が回らなかった。もっと安く工事ができると、もう少し他のことにも手が行き届くと思う。
	トイレを大変汚すので取り替えたいが、費用がかかりそうで、できずにいる。トイレ改修を可能にしてほしい。
移送サービス	通院のときの介護タクシーを10月からお願いしましたが、利用の範囲が通院だけでなくできたなら良いと思います。
	月1回の病院通いのときの往復の移送（急な診療のときも）。
	足が不自由なので外出はすべてタクシーを利用している状況なので、病院への通院に移送サービスが利用できると良いと思う。
	介護者が要介護ではない故、同じ病院と一緒に診察を受けたいと思ってもできないので困る（家を空けにくい）。料金の半額負担くらいで一緒に通院できると有難い。移送サービス利用前は年1回定期検診を受けていたが、他市で遠いため電車を乗り継いでいくのが大変になり、4年以上受けていない。
	利用したいときに利用できるようにしてもらいたい。
	利用できる回数を増やしてほしい。
-	急に病院へ行く必要があるときに利用したい。
	昼食の介護をしてくれるとありがたい。おむつ取替えを昼時間にしてもらいたい（自費では払いきれないので、もう少し減額して欲しい）。
	入所期間の自由が必要。
-	「通所介護」以外の内容を良く知らない。パンフレットだけでは分かりにくい。

利用しにくいと思うサービス

サービス名称	内容や理由
訪問介護	ヘルパーさんが勤務時間が過ぎても帰らず、家庭内のことに立ち入りすぎる方がいる。
	週2回リハビリのため通院。ヘルパーが待機しているが、それは介護保険の対象とならない（無料、したがってヘルパーも基本的に無報酬）。その間に買い物に行ってもらおうということも不可と言われ、不合理に思う。
通所介護	1日の在所時間（6時間）が長すぎる。介護者も付き添いできるようにしてください。
短期入所生活介護	送迎。朝はほぼ定刻ですが、帰りの時間がいろいろで、ときどき迎えができないときがある。
	費用負担が大きくて利用できない（ホテル並と聞いている）。
	制約が多すぎる（自己負担の増大等）。

	<p>できれば短期入所はさせたくないと思うが、介護者の息抜きのため利用しています。しかし入所中の様子などが分かりにくいことや、帰宅してから2~3日ほどはトイレや衣類を汚したりする回数が増え、家族が大変になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約が3ヶ月先だったり、予定が立てにくい。 ・少々の風邪の場合でも帰されてしまうことがある。とくに高熱でもなく、元気もあるならば、用事があって預けているのだし、医療も必要ないので対応してもらいたい。 ・衣類等に名前を書くように言われて書いているのに、よく行方不明になる。 ・パジャマ持参というが、着替えていない(させてもらっていない)様子。 <p>7月ごろにお願いしたところ、定員がいっぱいとのこと。急な困りがあったときに利用しにくいのは、どうかと思う。</p> <p>急に利用したいときに対応できるようにしてほしい。</p> <p>空きがないときがある(とくに急なときは無理)</p>
短期入所療養介護	混雑していて希望通りに利用できない。
福祉用具貸与	電動ベッド。最初は介護保険適用で1割負担でしたが、現在は賃貸契約となっています。
住宅改修費の支給	要介護度が2段階上がったときに利用できるそうで、要介護度が高い人は利用しにくい。
移送サービス	<p>緊急の場合に対応できない。</p> <p>予約をする時期が早すぎる。</p> <p>運転手の対応接遇が良くないことが多い。</p> <p>病院等に行く場合、認知低下、歩行困難者にとって付き添いサービスが必要。</p>
紙おむつ支給	普段使っていたメーカーと違うので、他のメーカーのものでも利用できると有難い。

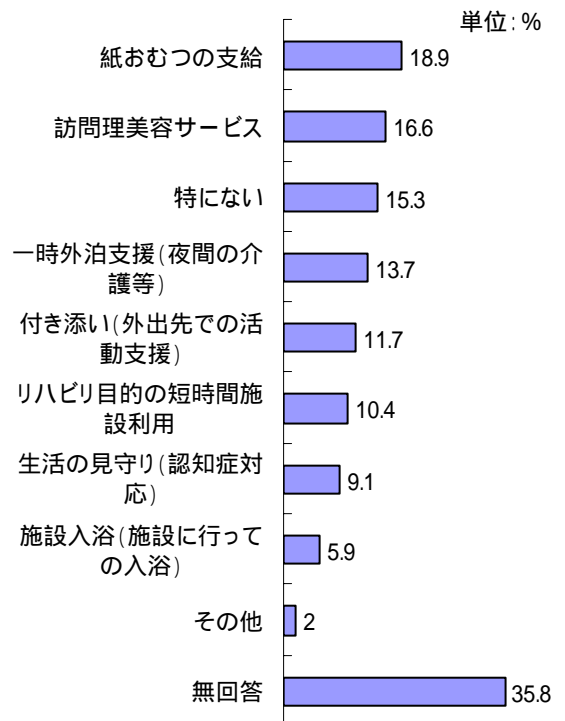
介護保険サービス以外で希望するサービス * 該当者 = 307 人

- (3) (1)以外で、希望するサービスをお知らせください。(あてはまるものすべてに)
- 1. 一時外泊支援(夜間の介護等)
 - 2. 付き添い(外出先での活動支援)
 - 3. 生活の見守り(認知症対応)
 - 4. 施設入浴(施設に行つての入浴)
 - 5. リハビリ目的の短時間施設利用
 - 6. 紙おむつの支給
 - 7. 訪問理美容サービス
 - 8. その他()
 - 9. 特にない

要介護者が在宅サービスを利用している場合、介護保険サービス以外で希望するサービス については、「紙おむつの支給」が 18.9%で最も多く、「訪問理美容サービス」16.6%、「一時外泊支援(夜間の介護等)」13.7%、「付き添い(外出先での活動支援)」11.7%、「リハビリ目的の短時間施設利用」10.4%、「生活の見守り(認知症対応)」9.1%、「施設入浴(施設に行つての入浴)」5.9%であり、「特にない」が 15.3%あるものの、何らかの希望を挙げる回答が多かった。

介護保険以外の希望サービス(複数回答) * 該当者 = 307人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	一時外泊支援(夜間の介護等)	42	13.7
2	付き添い(外出先での活動支援)	36	11.7
3	生活の見守り(認知症対応)	28	9.1
4	施設入浴(施設に行つての入浴)	18	5.9
5	リハビリ目的の短時間施設利用	32	10.4
6	紙おむつの支給	58	18.9
7	訪問理美容サービス	51	16.6
8	その他	6	2
9	特にない	47	15.3
	無回答	110	35.8
	全体	307	100



要介護認定者調査の結果

介護保険以外の希望サービス(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	一時外泊支援(夜間の介護等)	56	15.7
2	付き添い(外出先での活動支援)	55	15.4
3	生活の見守り(認知症対応)	22	6.2
4	施設入浴(施設に行つての入浴)	27	7.6
5	リハビリ目的の短時間施設利用	54	15.1
6	紙おむつの支給	71	19.9
7	訪問理美容サービス	58	16.2
8	その他	13	3.6
9	特にない	74	20.7
	無回答	100	28
	全体	357	100

4 施設への入所・入居状況

ここでは、次の該当者について、入所・入居施設の利用実感・意向を把握することとした。

介護保険施設入所者 = 81 人

- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） = 29 人
- ・介護老人保健施設（老人保健施設） = 33 人
- ・介護療養型医療施設（療養型病床群等） = 19 人

その他施設への入所者 = 43 人

- ・有料老人ホーム等 = 24 人
- ・グループホーム = 19 人

(1) ケアプランについて

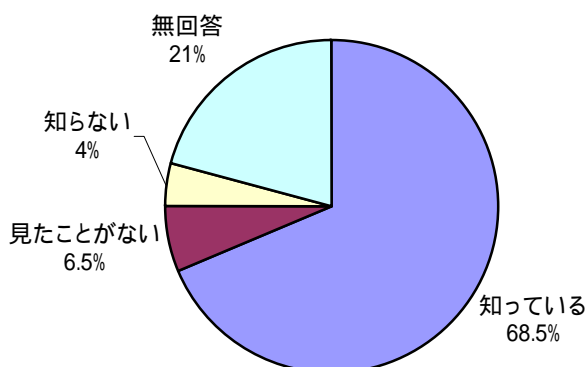
ケアプランの認識 * 該当者 124 人

問9 あなたは、要介護者の介護サービス計画（ケアプラン）をご存じですか。

1. 知っている 2. あることは知っているが見たことがない 3. 知らない

要介護者が施設に入所・入居している場合、要介護者の ケアプランの認識 について聞いたところ、「知っている」は 68.5%であった。このほか、「知らない」4%、「あることは知っているが見たことがない」6.5%となっている。

ケアプランの認識		* 該当者 = 124人	
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	知っている	85	68.5
2	見たことがない	8	6.5
3	知らない	5	4
	無回答	26	21
	全体	124	100



要介護者の要介護度別では、要介護 2～5 では、7 割以上の方が、ケアプランを「知っている」と回答している。

上段:人
下段:%

		全体	ケアプランの認識			
			知っている	見たことがない	知らない	無回答
合計		124	85	8	5	26
		100	68.5	6.5	4	21
要介護度	要支援1、2	5	3	1	0	1
		100	60	20	0	20
	要介護1	6	2	1	0	3
		100	33.3	16.7	0	50
	要介護2、3	50	36	3	1	10
		100	72	6	2	20
	要介護4、5	61	44	2	4	11
100		72.1	3.3	6.6	18	
わからない		0	0	0	0	0
		100	0	0	0	0
要介護者との関係	配偶者	26	16	2	2	6
		100	61.5	7.7	7.7	23.1
	親	0	0	0	0	0
		100	0	0	0	0
	娘	35	26	2	1	6
		100	74.3	5.7	2.9	17.1
	息子	27	19	1	0	7
		100	70.4	3.7	0	25.9
	娘の配偶者		2	2	0	0
		100	100	0	0	0
息子の配偶者		15	9	1	0	5
		100	60	6.7	0	33.3
兄弟・姉妹		10	6	1	2	1
		100	60	10	20	10
その他		6	6	0	0	0
		100	100	0	0	0

(2)要介護認定調査

要介護認定調査への立ち会い

* 該当者 = 124 人

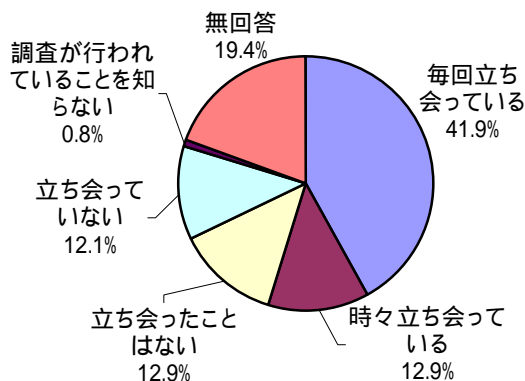
問 10	あなたは、施設で行う要介護認定調査に立ち会っていますか。(は1つ)			
1 .	毎回立ち会っている	4 .	立ち会ったことはない	
2 .	時々立ち会っている	5 .	調査が行われていることを知らない	
3 .	立ち会っていない			

要介護者の 要介護認定調査への立ち会い については、41.9%が「毎回立ち会っている」、12.9%が「時々立ち会っている」と答えた。「立ち会っていない」は12.1%、「立ち会ったことはない」12.9%である。

要介護認定調査への立会い

* 該当者 = 124人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	毎回立ち会っている	52	41.9
2	時々立ち会っている	16	12.9
3	立ち会っていない	15	12.1
4	立ち会ったことはない	16	12.9
5	調査が行われていることを知らない	1	0.8
	無回答	24	19.4
	全体	124	



要介護者との関係でみると、「毎回立ち会っている」人は、配偶者では 57.7%であり、他の介護者よりも高くなっている。

上段:人
下段:%

	全体	要介護認定調査への立会い						
		毎回立ち会っている	時々立ち会っている	立ち会っていない	立ち会ったことはない	調査が行われていることを知らない	無回答	
合計	124	52	16	15	16	1	24	
	100	41.9	12.9	12.1	12.9	0.8	19.4	
要介護者との関係	配偶者	26	15	0	3	4	0	4
		100	57.7	0	11.5	15.4	0	15.4
	親	0	0	0	0	0	0	0
		100	0	0	0	0	0	0
	娘	35	14	4	5	5	1	6
		100	40	11.4	14.3	14.3	2.9	17.1
	息子	27	9	4	3	4	0	7
		100	33.3	14.8	11.1	14.8	0	25.9
	娘の配偶者	2	2	0	0	0	0	0
		100	100	0	0	0	0	0
息子の配偶者	15	4	3	3	0	0	5	
	100	26.7	20	20	0	0	33.3	
兄弟・姉妹	10	4	3	1	1	0	1	
	100	40	30	10	10	0	10	
その他	6	3	2	0	1	0	0	
	100	50	33.3	0	16.7	0	0	

(3)入所・入居施設への評価

入所・入居施設への評価 * 該当者 = 124 人

問 1 1 あなたは、現在要介護者が入院・入所している施設について、どう感じていますか。

介護者による、要介護者の 入所・入居施設への評価 については、総合的な『満足』は 74.2%である (満足 41.1%、やや満足 33.1%)。

「満足」との回答を項目別にみると、「施設・設備」54%、「職員の態度やマナー」50.8%、「食事」46%、「入浴」42.7%、「意思疎通」40.3%、「技術や専門性」39.5%となっている。

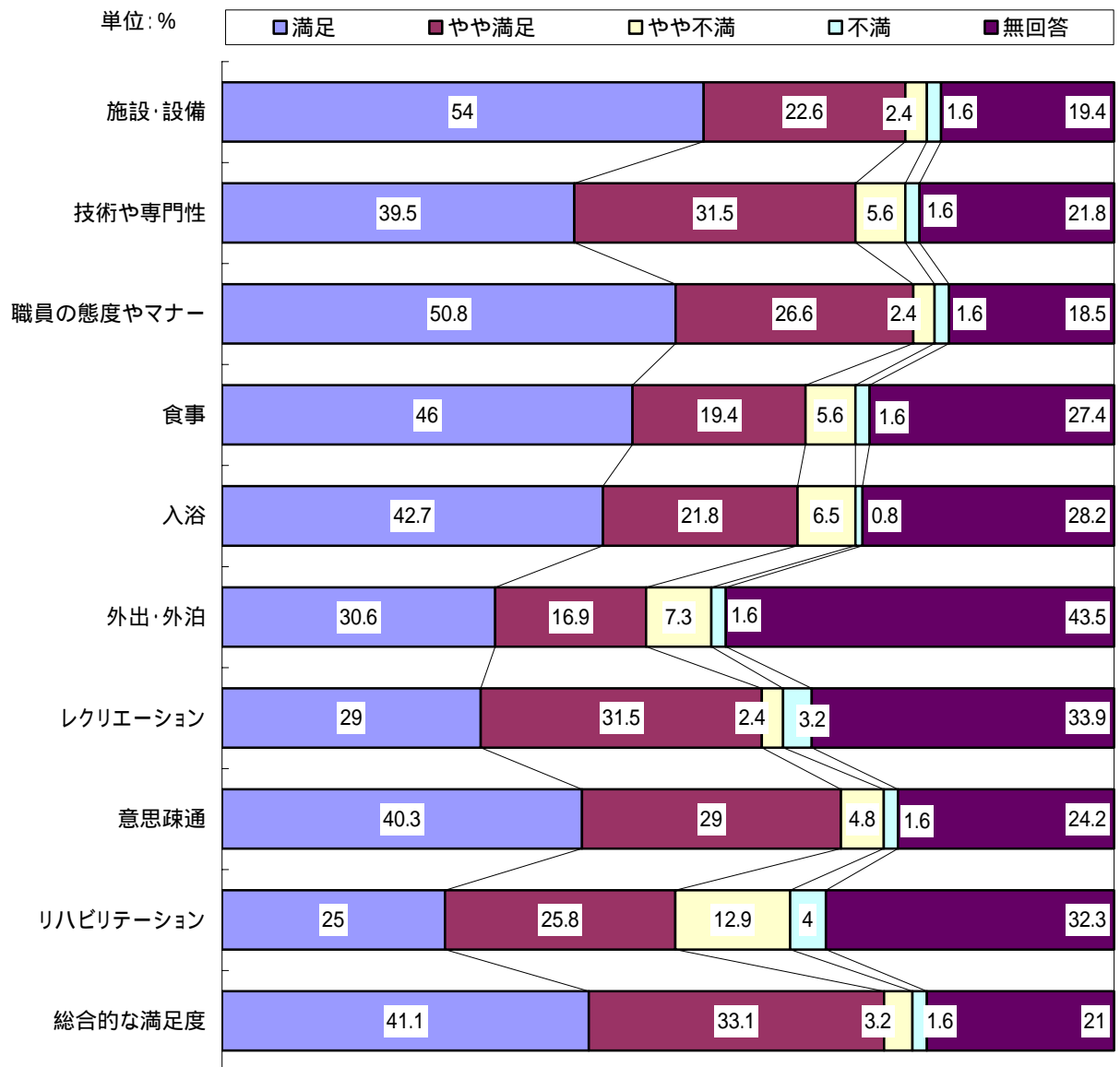
一方、「外出・外泊」、「レクリエーション」、「リハビリテーション」は、相対的に満足度が低くなっている。

入院・入所している施設への評価

* 該当者 = 124人

上段:人
下段:%

サービスの種類	全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
施設・設備	124	67	28	3	2	24
	100	54	22.6	2.4	1.6	19.4
技術や専門性	124	49	39	7	2	27
	100	39.5	31.5	5.6	1.6	21.8
職員の態度やマナー	124	63	33	3	2	23
	100	50.8	26.6	2.4	1.6	18.5
食事	124	57	24	7	2	34
	100	46	19.4	5.6	1.6	27.4
入浴	124	53	27	8	1	35
	100	42.7	21.8	6.5	0.8	28.2
外出・外泊	124	38	21	9	2	54
	100	30.6	16.9	7.3	1.6	43.5
レクリエーション	124	36	39	3	4	42
	100	29	31.5	2.4	3.2	33.9
意思疎通	124	50	36	6	2	30
	100	40.3	29	4.8	1.6	24.2
リハビリテーション	124	31	32	16	5	40
	100	25	25.8	12.9	4	32.3
総合的な満足度	124	51	41	4	2	26
	100	41.1	33.1	3.2	1.6	21



(4) 希望する要介護者の生活の場

希望する要介護者の生活の場

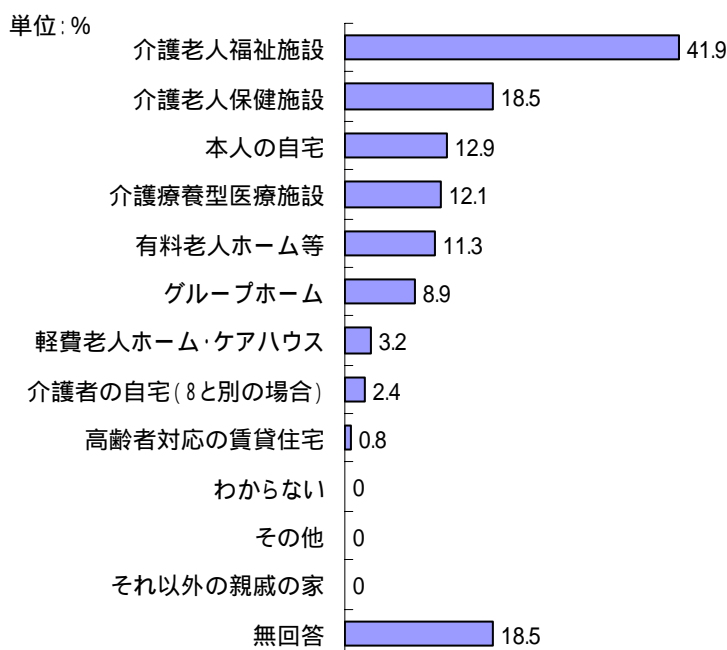
* 該当者 = 124 人

問 12 あなたは、今後要介護者がどこで暮らして欲しいと思いますか。(は2つまで)	
1. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	7. 高齢者対応の賃貸住宅
2. 介護老人保健施設(老人保健施設)	8. 本人の自宅
3. 介護療養型医療施設(療養型病床群等)	9. 介護者の自宅(8と別の場合)
4. 軽費老人ホーム・ケアハウス	10. それ以外の親戚の家
5. 有料老人ホーム等	11. その他()
6. グループホーム	12. わからない

介護者が今後 希望する要介護者の生活の場 としては、41.9%が「介護老人福祉施設」と答えた。「介護老人保健施設」18.5%、「介護療養型医療施設」12.1%であり、介護保険施設への入所希望が7割を超えている。このほか、「本人の自宅」12.9%、「有料老人ホーム等」11.3%、「グループホーム」8.9%、「軽費老人ホーム・ケアハウス」3.2%などがみられる。

希望する要介護者の生活場所(複数回答) * 該当者 = 124人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	介護老人福祉施設	52	41.9
2	介護老人保健施設	23	18.5
3	介護療養型医療施設	15	12.1
4	軽費老人ホーム・ケアハウス	4	3.2
5	有料老人ホーム等	14	11.3
6	グループホーム	11	8.9
7	高齢者対応の賃貸住宅	1	0.8
8	本人の自宅	16	12.9
9	介護者の自宅(8と別の場合)	3	2.4
10	それ以外の親戚の家	0	0
11	その他	0	0
12	わからない	0	0
	無回答	23	18.5
	全体	124	100



要介護認定者調査の結果

希望する生活の場		* 該当者148人	
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	介護老人福祉施設	49	33.1
2	介護老人保健施設	18	12.2
3	介護療養型医療施設	17	11.5
4	軽費老人ホーム・ケアハウス	3	2
5	有料老人ホーム等	24	16.2
6	グループホーム	15	10.1
7	高齢者対応の賃貸住宅	0	0
8	自宅	30	20.3
9	親戚(介護者)の家	3	2
10	その他	4	2.7
11	わからない	7	4.7
	無回答	17	11.5
	全体	148	100

要介護者の要介護度別にみると、要介護1と要介護4、5の約半数が「介護老人福祉施設」を希望している。

入所・入居前の同居状況別では、要介護者と別居していた人で、「有料老人ホーム等」や「グループホーム」を希望する割合が、比較的高くなっている。

上段:人
下段:%

	全体	希望する要介護者の生活場所												
		介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	軽費老人ホーム・ケアハウス	有料老人ホーム等	グループホーム	高齢者対応の賃貸住宅	本人の自宅	介護者の自宅(本人の自宅と別の場合)	それ以外の親戚の家	その他	わからない	無回答
合計	124	52	23	15	4	14	11	1	16	3	0	0	0	23
	100	41.9	18.5	12.1	3.2	11.3	8.9	0.8	12.9	2.4	0	0	0	18.5
要介護度	要支援1、2	5	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2
		100	20	0	20	0	20	20	0	20	0	0	0	40
	要介護1	6	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
		100	50	0	0	0	0	0	0	33.3	0	0	0	33.3
	要介護2、3	50	17	14	4	2	8	10	0	4	1	0	0	10
		100	34	28	8	4	16	20	0	8	2	0	0	20
要介護4、5	61	29	8	10	2	5	0	1	9	2	0	0	10	
	100	47.5	13.1	16.4	3.3	8.2	0	1.6	14.8	3.3	0	0	16.4	
わからない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
同居状況	同居している	61	23	17	8	0	6	2	1	8	2	0	0	11
		100	37.7	27.9	13.1	0	9.8	3.3	1.6	13.1	3.3	0	0	18
別居している	別居している	60	28	6	6	4	7	9	0	8	0	0	0	12
		100	46.7	10	10	6.7	11.7	15	0	13.3	0	0	0	20

5 介護保険以外のサービスについて

(1) 介護者支援サービス

介護者支援サービスの利用経験と利用希望

問13 介護者支援サービスの利用についておたずねします。

(1) あなたは、次のような介護者支援サービスを利用したことがありますか。

(ア～カの 利用経験、 今後の利用希望について はそれぞれ1つ)

介護者支援サービスの利用経験と利用希望 について聞いたところ、総じて今後の利用希望が現状の利用を上回っている。

『利用したことがあるもの』は、「紙おむつの支給」が 22.1%で最も多い(平成 17 年前回調査では 16.5%)。その他のものは低率にとどまっており、『制度を知らない』との回答も約 2~3 割みられる。

今後『利用したい』との回答は、「紙おむつ支給」37%、「家族介護慰労金の支給」21%、「家族介護者リフレッシュ事業」及び「家族介護者支援事業」各 15.1%、「徘徊高齢者探索器の貸与」9.3%、「徘徊高齢者 SOS ネットワーク」8.8%となっている。

介護者支援サービス 利用経験

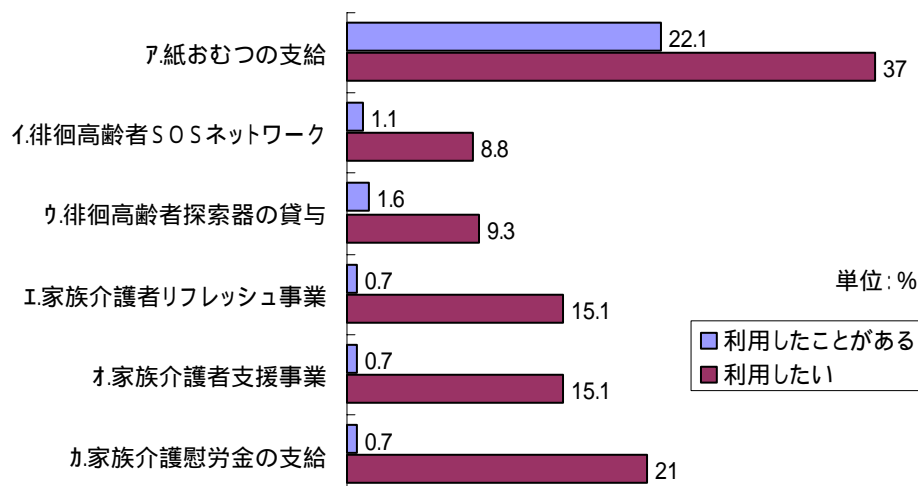
* 該当者 = 443人

サービスの名称	全体	利用したことがある	利用したことはない	制度を知らない	無回答
ア.紙おむつの支給	443	98	188	31	126
	100	22.1	42.4	7	28.4
イ.徘徊高齢者SOSネットワーク	443	5	196	80	162
	100	1.1	44.2	18.1	36.6
ウ.徘徊高齢者探索器の貸与	443	7	201	74	161
	100	1.6	45.4	16.7	36.3
エ.家族介護者リフレッシュ事業	443	3	186	98	156
	100	0.7	42	22.1	35.2
オ.家族介護者支援事業	443	3	189	96	155
	100	0.7	42.7	21.7	35
カ.家族介護慰労金の支給	443	3	143	148	149
	100	0.7	32.3	33.4	33.6

今後の利用希望

上段:人
下段:%

利用したい	利用希望はない	分からない	無回答
164	35	89	155
37	7.9	20.1	35
39	8.8	120	196
8.8	19.9	27.1	44.2
41	8.9	117	196
9.3	20.1	26.4	44.2
67	6.9	124	183
15.1	15.6	28	41.3
67	6.9	123	184
15.1	15.6	27.8	41.5
93	5.9	122	169
21	13.3	27.5	38.1



上段：人
下段：%

		全体	今後の利用希望			
			利用したい	利用希望 はない	分からない	無回答
ア.紙おむつの支給	利用したことがある	98	70	3	1	24
		100	71.4	3.1	1	24.5
	利用したことはない	188	66	28	72	22
		100	35.1	14.9	38.3	11.7
	制度を知らない	31	18	3	9	1
		100	58.1	9.7	29	3.2
イ.徘徊高齢者SOSネットワーク	利用したことがある	5	1	0	2	2
		100	20	0	40	40
	利用したことはない	196	21	66	70	39
		100	10.7	33.7	35.7	19.9
	制度を知らない	80	15	18	42	5
		100	18.8	22.5	52.5	6.3
ウ.徘徊高齢者探索器の貸与	利用したことがある	7	2	2	2	1
		100	28.6	28.6	28.6	14.3
	利用したことはない	201	23	63	76	39
		100	11.4	31.3	37.8	19.4
	制度を知らない	74	15	20	32	7
		100	20.3	27	43.2	9.5
エ.家族介護者リフレッシュ事業	利用したことがある	3	2	0	0	1
		100	66.7	0	0	33.3
	利用したことはない	186	30	52	77	27
		100	16.1	28	41.4	14.5
	制度を知らない	98	34	14	41	9
		100	34.7	14.3	41.8	9.2
オ.家族介護者支援事業	利用したことがある	3	1	0	1	1
		100	33.3	0	33.3	33.3
	利用したことはない	189	36	51	71	31
		100	19	27	37.6	16.4
	制度を知らない	96	28	15	45	8
		100	29.2	15.6	46.9	8.3
カ.家族介護慰労金の支給	利用したことがある	3	1	0	0	2
		100	33.3	0	0	66.7
	利用したことはない	143	26	43	54	20
		100	18.2	30.1	37.8	14
	制度を知らない	148	59	14	62	13
		100	39.9	9.5	41.9	8.8

もっと利用できるといいと思うサービス（自由記述）

(2) 特に役立っていて、もっと利用できるといいと思うサービスがありましたら、名称やその内容について、ご自由にお書きください。

紙おむつの支給（回答数 = 10）

- 紙おむつの支給は、非常に役立っています。要望は女性用の紙パンツが利用できなくなったことです。
- 支給の量を増やしてほしい。
- 「福祉用具貸与」以外は介護サービスを受けず、在宅で本人・家族が協力して頑張っている。ただ高齢のため「紙おむつ」は本当に必要。サービスを利用していない分、課税世帯にも、もう少し支給額を増やしてもらえると本当に助かります。
- 限度をすぐに越えてしまい自費でまかなっている。
- 紙おむつは自宅まで配送していただけることや、経済的にも助かっています。
- 大変助かっていますが、なるべく多めに支給してほしい。
- 紙おむつの支給は助かります。
- 限度額を増やしていただきたい（現在は必要量の1/3程度）。

家族介護者リフレッシュ事業（回答数 = 1）

- 介護の毎日から離れ、1年に1度、自分の時間を持つことができ、明日から頑張ろうという気分になれます。こういう機会を与えていただき、ありがたく思います。

家族介護者支援事業（回答数 = 2）

- 「家族介護者支援事業」はできるだけ参加したいと思っている。
本当に困っている人は出て来れないと思う。当日の録音やレジュメを希望者に貸出しができれば、自分の自由な時間に聞くことができると思うが、いかがか。
なお、各種セミナーの内容のダブリに関しては、出席者に次回何をしてほしいかを聞いたらどうか。

訪問サービス（回答数 = 8）

- 身体介護・生活介護、午前中のおむつの取り替え（4時～6時ごろ）、昼食の手伝い。
- 要介護者の部屋の掃除、食事の支度。
- 訪問介護：もっと回数が増やせると良い。
- 掃除：介護者の負担を軽減できるから
- 生活援助内容の拡大：現在、調理のみなので、掃除・買い物も認めてほしい。調理は、本人分に加えて、介護者の分もお願いできないか。
- 訪問看護：現在週2回であるが、適切なアドバイスがあり、医者との連携も良い。
- ふとん乾燥サービス
- 出張美容師、出張歯科医

付き添いなど（回答数 = 2）

- 散歩のときに付き添いがいると安心なので、そのようなサービスがあればよいと思う。
- 外出時の介護：車椅子利用で、家から外に出ることが、病院への通院以外にない。

短期入所サービス（回答数 = 4）

- 短期入所（ショートステイ）を月平均 10 日くらい利用していますが、料金的に限界であり、あと 5 日くらい伸ばせるようになって欲しい。
- 介護者 2 人で交代で介護していますが、2 人一緒に出かけたいとき、1~2 日ほど急な休みがほしいとき、預かっていただける所があるといいです。
- 短期入所が増えると良いと思う。
- リハビリテーション、レクリエーションが、もっと増えると入所者の生きがいも増えるのではないのでしょうか。

通所サービス（回答数 = 5）

- 施設でのリハビリや入浴：もっと回数を多く利用できるとよいと思う。
- リハビリ：役立っています。主人は週 2 回リハビリに通っています。確かにリハビリをした帰りは足の運びがしっかりしていいです。
- デイサービスは好んで行くので、週 5 回より、もっと増やしてほしい。家の中で高齢の男性のやる仕事はなく、暇を持て余しているようだ。
- 通所介護でリハビリや年 1~2 回の健康診査（骨密度、体脂肪、脳年齢等も）
- デイサービス：外の世界に関わり、会話などすることで元気が出ているようです。

福祉給食サービス（回答数 = 3）

- 福祉給食：拡大の方向で。
- 福祉給食サービス（週 2 回）には感謝しています。夫婦共 85 歳以上なので、もう少し回数を増やしてもらいたい。
- お弁当サービス：介護者の負担を軽減できるから。

移送サービスなど（回答数 = 3）

- 福祉タクシー
- 通院等乗降介助・移送サービス：自宅に車がないので大変助かっている。
- 移送サービス

福祉用具など（回答数 = 1）

- レンタルベッド、レンタル車椅子

その他

- 現在は全くサービスを受けていないので、必要になってみないと分からない。
- 介護している人も一緒に年をとるので、その点を一緒に支援するような仕組みを、ケースバイケースで考えてほしいと思う。
- エ・オ・カの内容が、またその制度が分からない。制度自体の詳細が分からない。
- 介護認定申請中なので利用できるサービスが未定です。認定がありたら、訪問入浴介護、福祉用具貸与を利用したいと思っています。

利用しにくいと思うサービス（自由記述）

（3）利用しにくいと思うサービスがありましたら、名称やその理由について、ご自由にお書きください。

紙おむつ支給（回答数=1）

- 要介護者は全面介助が必要ですが、65歳以下のため紙おむつの支給がありません。65歳以下でも介護度の高い人には支給していただけたらと思います。

家族介護者リフレッシュ事業（回答数=2）

- 1泊旅行や日帰り旅行もあるようだが、落ち着いて楽しめないで利用したことはない。リラックスできる音楽会など、2時間程度家を空けるほうが安心して楽しめる。
- 広報で募集しているのを見かけますが、日ごろから介護者の集いなど、交流がないのに、いきなり参加はしにくいと思います。

訪問サービス（回答数=2）

- 在宅介護内容が厳しくなりすぎて、ヘルパーさんの活動も制限され、最近形式的になりがちで、ぎくしゃくしています。肉体的に見える介護ばかりでなく、見えない精神的（対認知症）な介護への強化を望みます。
- 病院受診など、必要時にヘルパー（有料でも可）の依頼を円滑にできるシステム（独居、歩行困難、認知低下者に対して）

通所サービス（回答数=4）

- 通所リハビリサービス（近くにない、時間が長い）
- ショートステイのサービスが、1ヵ月後ではなく2ヶ月先と聞いたが、あまり先では予定がたたない。
- 人との出会いが好きな本人なので、高齢者センターに行けると良いのになと言っています。しかしバスは人の手をわずらわせる人は乗れないと聞きました。センターは健常者しか利用できないのが残念です。
- 1時外泊を3回利用しましたが、帰ってきて調子が悪く、介護する者が普段の倍の注意を必要とするようになりました。どのように過ごしてきたのか本人は話すことができませんので分かりません。

その他

- 本人が税金を支払っているからと利用できないサービスが多すぎて、がっかりしています。
- 老人が家で生活/生きているのかの信号（トイレの開閉などにより生存を確認するシステム）などが、もっと認められると良いと思います。
- 家族介護慰労金の支給について、詳しく知りたいです。

(2)高齢者福祉サービス

高齢者福祉サービスの利用状況

問 14 要介護者が、介護保険のサービス以外で利用している高齢者福祉サービスをお知らせください。(あてはまるものすべてに)

1. 福祉給食サービス	7. 社会福祉協議会のフレンドリーヘルパー
2. 寝具乾燥サービス	8. ボランティアによるサービス
3. 訪問理美容出張費の助成	9. 民間の配食サービス
4. ひとり暮らし訪問	10. 民間の緊急通報システム
5. 紙おむつの支給	11. その他 ()
6. 福祉緊急通報システム	12. 特にない

要介護者の 高齢者福祉サービスの利用状況 については、35.9%が「特にない」と答えた。

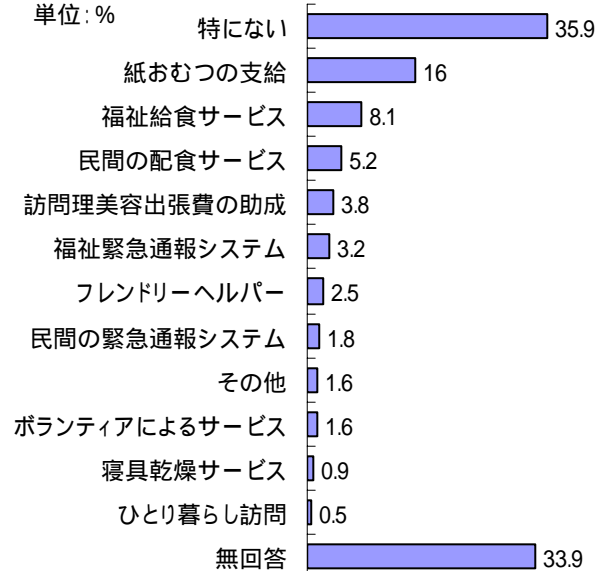
比較的利用率が高いのは、「紙おむつの支給」16%、「福祉給食サービス」8.1%で、このほか「民間の配食サービス」5.2%、「訪問理美容出張費の助成」3.8%、「福祉緊急通報システム」3.2%、「社会福祉協議会のフレンドリーヘルパー」2.5%、「民間の緊急通報システム」1.8%などがみられる。

利用しているサービス(複数回答)

* 該当者 = 443人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	福祉給食サービス	36	8.1
2	寝具乾燥サービス	4	0.9
3	訪問理美容出張費の助成	17	3.8
4	ひとり暮らし訪問	2	0.5
5	紙おむつの支給	71	16
6	福祉緊急通報システム	14	3.2
7	社会福祉協議会のフレンドリーヘルパー	11	2.5
8	ボランティアによるサービス	7	1.6
9	民間の配食サービス	23	5.2
10	民間の緊急通報システム	8	1.8
11	その他	7	1.6
12	特にない	159	35.9
	無回答	150	33.9
	全体	443	100

単位: %



* 要介護認定者調査の結果

利用している高齢者福祉サービス(複数回答) * 該当者 = 459人

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	福祉給食サービス	45	9.8
2	寝具乾燥サービス	4	0.9
3	福祉緊急通報システム	15	3.3
4	訪問理美容出張費の助成	10	2.2
5	ひとり暮らし訪問	5	1.1
6	紙おむつの支給	76	16.6
7	社会福祉協議会のフレンドリーヘルパー	17	3.7
8	ボランティアによるサービス	8	1.7
9	民間の配食サービス	30	6.5
10	民間の緊急通報システム	11	2.4
11	その他	6	1.3
12	特にない	163	35.5
	無回答	139	30.3
	全体	459	100

(3)相談について

制度やサービスについて相談しやすいところ

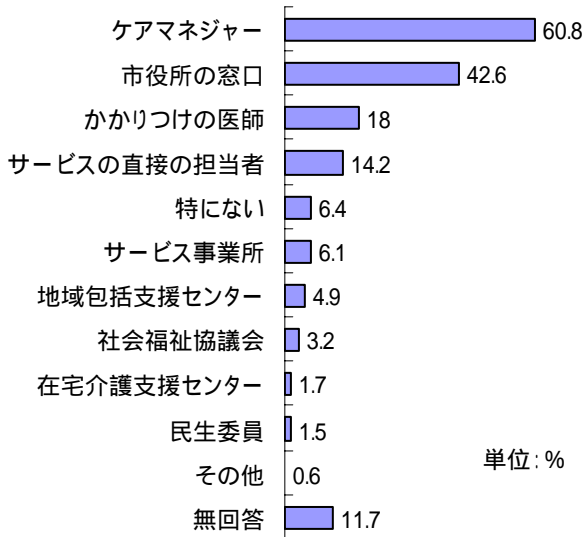
問 15 介護保険制度をはじめ、各種高齢者の保健福祉制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところはどこですか。(あてはまるものすべてに)

1 . 市役所の窓口	7 . サービスの直接の担当者
2 . ケアマネジャー	8 . サービス事業所
3 . 地域包括支援センター	9 . 社会福祉協議会
4 . 在宅介護支援センター	10 . その他 ()
5 . 民生委員	11 . 特にない
6 . かかりつけの医師	

介護者が 制度やサービスについて相談しやすいところ としては、「ケアマネジャー」が 60.8%で第 1 位、「市役所の窓口」が 42.6%で第 2 位に挙げられた。これに次いで「かかりつけの医師」18%、「サービスの直接の担当者」14.2%、「サービス事業所」6.1%、「地域包括支援センター」4.9%などがある。

サービスの相談先(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	市役所の窓口	201	42.6
2	ケアマネジャー	287	60.8
3	地域包括支援センター	23	4.9
4	在宅介護支援センター	8	1.7
5	民生委員	7	1.5
6	かかりつけの医師	85	18
7	サービスの直接の担当者	67	14.2
8	サービス事業所	29	6.1
9	社会福祉協議会	15	3.2
10	その他	3	0.6
11	特にない	30	6.4
	無回答	55	11.7
	全体	472	100



要介護認定者調査の結果

サービスの相談先(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	市役所の窓口	202	33.4
2	ケアマネジャー	335	55.5
3	地域包括支援センター	38	6.3
4	在宅介護支援センター	9	1.5
5	民生委員	17	2.8
6	かかりつけの医師	133	22
7	サービスの直接の担当者	85	14.1
8	サービス事業所	36	6
9	社会福祉協議会	22	3.6
10	その他	13	2.2
11	特にない	45	7.5
	無回答	79	13.1
	全体	604	100

6 意見（自由記述）

(1)介護保険制度全般について

問 1 6 介護保険制度全般についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

介護保険制度全般について

制度のあり方、内容

- 複雑すぎる。
- 今年初めて介護保険を利用することになったが、制度が分かりにくい。介護度認定に納得いかないこともあった。別居して仕事を持つ家庭には負担である（サービスを利用するまで何度も連絡をとったり、平日昼間家にいなければならない）。
- 介護保険と健康保険の併用をできないのが分からない。ショートステイ中、健康保険が使えないのはなぜなのか。
- 職員を含め介護者の負担は大きいと思う。施設側にとっても利用者側にとっても負担軽減になるような制度であってほしい。
- 認知症に重点がおかれている現在の制度では、身体的に介護が必要な者には不十分な面が多いと思います。身体的介護が必要な高齢者にも、もう少し配慮のある制度になるよう願います。
- 在宅介護、自立支援が目的の介護保険制度ができ、有難いとは思いますが、当初の趣旨と違ってきているのではと疑問に思うことがあります。利用者が増えたために認定の審査を厳しくしているのはおかしいのではないのでしょうか。要介護者にとって、どのようなサービスを受けるのが良いのかというのを、一人一人の要介護者に合わせた、きめこまやかな制度を希望します。
- 介護予防の方向は高齢者は誰もが望むところで、ぜひ充実していただきたい。費用節減ありきでなく、結果として費用節減になるような介護保険制度にしてほしい。
- 介護保険制度ができてから高齢者を社会全体で支えるという意識が広まったことは大変良いことだと思います。サービス提供事業所にはそれぞれ思惑があり、事件に発展する事例もありましたが、利用する者が見極める目をもつことが必要であると同時に、自治体も適格な情報を提供していただければと思います。

人材の確保、報酬

- 介護士等の報酬が低く、結婚もできない程とか。彼らが結婚し、子どもを養っていけるぐらいの報酬にすべきである。
- 書類作成などの事務経費を減らして、介護職員の給与を上げていただきたい。
- 施設等で見ると、職員（パートが多い）の在職年月が異常に短く、人が変わると対応も変わってしまう。給与が低すぎるため、若者が希望をもっていないようだ。
- 直接介護してくれるヘルパーさんたちの待遇を手厚くしていただきたいと希望します。

施設について

- 父がなくなり母一人での暮らしが困難になったとき、ショートステイに利用していた老健に長期利用を申し込んだが当分無理とのことで、都内の有料ホームに入所しました。ケアはとても行き届いて満足できますが、費用がかなりかかり、今後やや不安があります。一人暮らしが難しい老人が、もっと容易に入所できるよう、公的な施設が多くできることを望みます。
- 有料老人ホームへの指導なども強化してやってほしい。

- 公立の老人ホームを作ってほしい。
- 老健入所 6 ヶ月の感想：老健が病院から家庭へ戻るため、体力機能回復の中間地点という謳い文句を信じて入所させましたが、リハビリや回復への志向が施設に感じられず、食べさせていただけ。本人の希望を無視して、排泄をおむつにしています。介護度の高い老人をわざわざ作って囲い込んでるようにさえ思われました。たまたま入所した先が、そのようなところだったということなのかもしれませんが。
- 経営上の問題か、人手が不足しているようで、一生懸命に介護してくれていますが、事故がおきないか心配することがあります。
- 施設が増えるといいと思います。費用はもっと安いと助かります。

要介護認定について

- 身体はとても丈夫ですが、少々の認知症のため、料理の手順など分からず、鬱状態もあるが、ときにはしっかりと見て目には全く元気な老人として見えます。ただ精神的な状態が不安定で、認定をするとき、その辺もしっかり見てほしい。
- 厳しい内容に変わり、不自由であり不満がある。状態は回復していないのに「介護 3」から「2」になり制度の厳格化に大いに不満。歩行器で歩ける(?)と介護 2 になってしまう。また、グループホームは住民票のあるところしか入れない。
- 介護認定のランクがもっと分かりやすくグラフなどにして配布してほしい(複雑だと思うので)。
- 夫婦共に 85 歳以上だが、夫は昼間の施設サービスを受けているのに、妻は認定されずサービスを受けられない。どのような基準で認定しているのか、なぜ夫婦共に福祉サービスを受けられないのか。
- 介護度はどのようにして決まるのでしょうか。要支援 2 ですが、朝の起床時から就寝するまで一日の生活状況を見て決めてください。歩行困難で外出ができないのに、なぜ要支援 2 なのでしょう？
- 認定するまで、家族にとって、時間と労力が多大である。

経済的な負担

- 年ごとに個人の負担が大きくなるようです。老人ホームに入所していると、ダイレクトに他の負担が多くなる気がします(光熱費、洗濯代等)。
- 保険料を安くしてほしい。
- 細かく出費が増えているため、年金から所得税を減額してほしい。
- 年金収入のみの者にとって、毎年の費用負担増は無常と思う。
- 各種施設の増設、負担料金の軽減。
- 介護保険の費用が高くなり、サービスがともなわない。
- 要介護者がかなり生活支援が必要なため、施設をやっと見つけ入れましたが、自分は楽になった分、かなりの費用がかかり負担になっています。もっともっと国からの補助が必要だと思います。
- 年金のみの収入では、施設の利用料金を払うと生活が苦しいです。
- 要介護者自身が市の介護保険 3700 円を支払わなければいけない矛盾がある。
- 保険料のアップによる負担増。
- 受益者負担の原則は当然と思うが、介護サービスの利用料は年金では賅えない状況にきている。ぜひ利用者負担の軽減を検討してほしい。例えば住宅改修で家族が簡単にできるものは福祉用具購入でも選択できるようにすれば、工事費相当分が減少し、軽費の節約につながるのではないか。
- 負担料を軽減してほしい(食事代も含め)。

不安、懸念／要望、期待

- 今後、確実に受給者が増えるが、そのときの経済的負担が増えるかが心配。また、それに伴いサービスの低減があるのか、そのため希望のサービスが受けられないのでは、デイサービスの職員などの質の低下があるのではないかと非常に心配である。
- 男性の介護者や老老介護で必死な方々へのケアを充実させてほしい。ボランティアや有料などで。私としては介護保険ができて助かっている。今のサービスを落とさないよう、なんとか利用者側も手助けをしたいと思う。
- 高齢化がどんどん進んでいくと、いずれ介護保険料はあがるであろうし、本人の負担も一割ではすまなくなるでしょう。介護する側も高齢で、在宅で介護しつづけられなくなることは必至。老人施設の充実に力を入れた制度の見直しを考えてもらいたい。
- 1年位前に制度が変わってから厳しくなったと思う。今後ますます高齢者に厳しくなるのではないかと心配である。デイサービスの職員など、給与が少ないようなので、なり手が少ないのではないかと。自分が高齢になったときのことを考えると不安だらけである。
市レベルでどうにもならないのなら、県・国へ声を届かせてほしい。

サービスの制限について

訪問サービスなど

- 病院からの帰りに薬局に寄ることを違法でなくする。ヘルパーが脚立に乗って電球の交換等、簡単なことは援助してもらいたい（高いところに昇れない故）。
- 老老介護に配慮したサービスがあったらいいと思います。ヘルパーさんに家事を手伝ってほしいと思ったが、介護保険制度では基本的にヘルパーさんは独居家庭に適用されるということでしたので。老老介護の場合、できるだけ料金を安くしていただけたら有難いと思います。今はまだ何とかありませんが、これから先のことが大変不安です。
- 訪問介護の時間が年々少なくなり、老いていくのに不安です。
- 制限が多く利用できないものが多い。一人暮らしのため、季節の変わり目など、日常の家事以上をお願いしたいこともあるが、制度上できないことが多い。
- 地域全体で要介護者・介護者を支える介護保険制度には感謝しています。しかし、ヘルパーさんの介護のための在宅時間が1時間半に限られていて、次の訪問時間まで1時間半空けなければならないという規定は見直していただきたい。

同居の場合

- 同居人がいる家庭は介護保険が適用できないとのこと。同居人がサラリーマンの場合、仕事優先になり介護に専念することはできないので矛盾している。この制度はおかしい。
- 介護保険制度が使えることは、とても助かっています。ただ、働いている家族にとっては、いくら同居とはいえ、訪問介護の内容に制約がありすぎだと思います。休日に家事に追われ、自分の休息がなかなかとれません。日曜日に利用できるデイサービスなどもないので。
- 介護者も仕事を持っており、昼間は独居老人と同じなので、ヘルパーに来てもらいたいとの要望があるが、「屋根が一緒」というだけで同居扱いとなり、ヘルパーは無理と言われた。もっと個々の状況に合った、本当に介護者の立場に立ったサービスをしてほしいと思います。高い介護保険料を支払っていても何もしてもらえないという気持ちです。

介護度と病気の程度が全く関係ないのもなぜ、という感じです。とりあえず自分で体が動かせれば介護度が低く、受けられるサービスも限られますが、病気を持っていて不安があるという家族の気持ちは受け入れられないのでは、何のための介護保険なのか疑問です。

その他

- 介護者が高齢になってくると自身が疲れてきますが、健常者であるといろいろな公的サービスを受けられないと聞きます。どうにかなると良いなと思っています。
- 高齢者夫婦二人暮らしで、一方だけが介護認定を受けていても、もう一人は認定外であると、現在の支援サービスを利用できるものが限られてしまうのは納得できない。
- 家族（本人も含めて3人）で介護保険料を払っているのに、これだけのサービスという感じです。保険だからしょうがないか、と感じます。

情報の不足

- ケアマネジャーの話が良くわからず、何のサービスがあるのか良く分かりません。
- 要介護の認定を受けた後、ケアマネジャーの選び方、事業所の選び方がよく分からないで、手続きに時間がかかってしまう。
- 現在は重度の状態ではないので、いろいろなことが分からないし、計画されたものをそのまま受け入れる状態にある。ケアプラン等にしても印刷されたものは目にするが、自身にとって身近なものとして意識できていない。

感謝など

- 仕事を続けながら介護を続けられること、また母親が他人が介在することでかえって精神的に安定したことに感謝しています。社会の中での介護の重要性を痛感しています。
- 以前、玄関前階段の手すり、浴室の手すり等の設置の際、担当の方々に親切に指導していただき、費用も90%支給してもらって、非常に助かった。

その他

- 糖尿病でベッドのうえで生活をして、自身で何もできないので無理なことも注文することがあると思いますが（その場にはないので話し合いが分からない）、できれば本人に介護に来なくていいのだねと言わないで、理由を家族に話してほしい。
- 下部組織がいくらがんばっても、制度そのものの土台がしっかりできていないので、問題解決も難しい。厚生労働省に声が届くよう、自治体もしっかり声を出して行ってほしい。何も言わなければ何も変わらないのだから。

(2)市の高齢者保健福祉サービスや介護者のための支援策について

問17 市の高齢者保健福祉サービスや介護者のための支援策についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

市の高齢者保健福祉サービス全般について

- 市は、市長が変われば福祉サービスを低下するなんてことのないよう、長いスパンで政策をしっかりと立てていってもらいたい。より良いアイデアを出して、実行できるようにがんばってもらいたい。
- 他市に比べると当市は厳しく思われます。
- 福祉サービスの充実を図るのは大賛成なのですが、逗子市の財政はこれに対応できるのかが非常に心配です。これに伴う増税によって、今働き盛りの人、また将来の年金問題をかかえている若い人たちに負担がかかるのは申し訳ないと思います。
- 要介護認定者と介護者の実態を調査するには、このようなアンケートでは大変分かりにくい。担当の皆様方が、直接利用者を訪ね、実状を見て実感していただくのがよいと思う。ケアマネに任せるのではなく、ケアマネの毎月の利用者訪問時に、必要に応じて同行してはいかがでしょうか。

サービス提供への要望、期待

訪問サービスなど

- 要支援1でヘルパーさんに週2回、計3時間来ていただいておりますが、1回1時間半では交通不便な家ではとても間に合いません。何かにつけて今の介護保険制度は実状に全く合わないと思います。
- 出張理容を安く、また依頼しやすくできるようにしてくれたら有難いことです。
- 市内で深夜帯の訪問介護をしてくださる事業所があるといいです。
- 介護者は私1人なので、1日だけの用事でもショートステイに入れなければ外出できませんし、急なとき（親類の不幸など）には出かけられません。安心して要介護者を見てください、留守番をしていただけるサービスを市で考えていただけないでしょうか。
- 部屋の掃除（とくにお風呂場等の水周り）を頼めればよいと思う。仕事の帰宅時間が遅いため、食事の支度が精一杯で、掃除まで手がまわらないから。
- 訪問医療に力を入れていただきたいです。
- 夜間介護サービス、支援を充実してほしい。
- 介護者が留守のとき、気軽に頼めるサービス事業所と出会えてほっとしているが、介護保険料を支払っているのに、自費である。
しっかり者の要介護者なので、薬を飲んだかどうかの確認のみの利用で済んでいる。一日中一人にしておくよりは話し相手を、という利用もあることを分かってもらいたい。
- 認知症でなくても、一人暮らしでなくても、介護支援してほしい。

見守り、医療、緊急時などの対応

- 老老介護の状態なので、どんなことが起きてくるか分かりませんので、SOSと言う事で窓口を大きくして、その希望に応じて、それぞれのセンターへ通じるようにして欲しいと思う。
- 24時間緊急時に相談できるところがほしい。意識を失ってしまったとき、救急車を呼ぶか様子を少し見守るか判断に悩むことあり。ケアマネ、訪問看護師、保健センター、医師のどこも休みで救急車を呼んだが、しばらくして（病院で）気がつく。家族はパニックになる。同じ時間帯になると、どき

どきしてしまう。もし総合病院ができれば、総合医をぜひ常勤させてほしい。

- 独居高齢者の危機管理面からも毎日他人に接することができるようケアマネに組んでもらっていますが、総合的に点検できるような訪問を定期的にしていただけると有り難い。ケアマネジャーに願いますればよいのでしょうか。
- 介護施設等への往診の充実、機器等の関係で当然難しい場合の病院等への移送サービスの充実（車椅子での搬送ができない場合）。
- 介護者が1人であるため、突然の対応についてはほとんど不可能である。

通所サービスなど

- デイケアサービスには個人的には限りがある。時間的に制約されずに対話をしてくださる方がいけると良いが。在宅ではなく通所で。
- 訪問理美容の助成もありがたいですが、デイサービスやショートステイ先に出張をしてもらえると助かります。
- 薬を塗ってもらうことを頼んだら、看護師が夜間いないので受け入れることができないと、ショートステイを断られました。昼間はデイサービスで見てくださり、助かりましたが。
- 最後まで自宅で見守りたいと思いますが、急に家族の入院や病気などで介護ができないとき、1~2日、預かってくれるところがあると安心です。予定はできませんので。

紙おむつの支給など

- 脳梗塞になって入院していますが（10/1に）、おむつの使用料が大変です。寝たきりの状態の支援として、おむつのサービス券のようなものができないでしょうか。
- ティッシュペーパーなど特によく使用するので、そのような生活用品なども利用できる金券なども検討してほしいと思います（他市では実施しているところもある）。
- 介護制度はありがたいと思っています。とくに、おむつ支給は助かっています。足りないので、もう少し支給していただければと望みます。
- 毎週楽しくケアセンターへ通っています。要支援2ですが、おむつを使って生活しています。介護度が低くても、おむつの支給をしていただけると有り難いです。介護度に関わらず、もっと自由に、家族の希望を取り入れ、使えるようになったら良いと思います。

福祉給食サービスなど

- 配食サービスの内容がもっと充実したものになればいいと思う（メニューなど）。また、多少の保険からの援助がほしい。
- 糖尿病用の食事のサービスができれば、でもお金が大変です。

経済的な負担について

- 要介護4・5の認定を受けた者がいる世帯は水道料金の一部が免除されるとのことだが、わざわざ申請しなくても自動的に免除されるようにしてほしい。申請に行く時間がない（面倒）。
- 介護保険料を減額して欲しい。
- 社会福祉協議会のフレンドリーヘルパーを週1回頼んでいます。1時間900円をもう少し安くしてほしいです。
- 何かと出費がかさむので、各項目別に出費上限を決めてもらい、それ以上の出費の場合は還付金があるような制度をお願いしたいです。

移送サービス、交通機関など

- 車椅子利用（自分で乗り降りもできない）でも年1~2度でいいので、楽しいところへ連れ出してやりたい。移送サービスを受けられることを希望します。
- 病院への通院で、多いときは週2~3回、タクシーを使います。1日7000円です。少しでも安くしてくれるシステムがほしいです。
- 病院へ通院するタクシー料金について、何か制度があるでしょうか。
- 病院への通院時の交通手段・補助を希望する。
- 足が悪くて不自由していますので、通院するときの交通費への支援が受けられればと思います。
- 私も高齢に近くなり、ときどき市内のバスを利用しますが、高床バスが多いと思います。低床バスの増加を希望します。また市内の坂のある住宅地へのミニバス運行の路線も増加させてほしいと思います。市・京急・利用者の三者協議会の設置も希望します。
- 福祉バス、ミニバス等、交通手段の実施を切に願います。

介護者へのサービス

- 介護者への支援サービスにどのようなものがあるのかを知りたいです。
- 介護者のための支援は、一番に、負担感を少なくすることだと思います。高齢の要介護者と同居する家族にとって、自分の時間を持ってないことが、一番負担や拘束感があるので、介護者をケアするための介護保険制度であってほしいと思います。
- 個人に対する支援だけではなく、同居家族を含めての、生活単位としての福祉サービス制度を充実してほしい。例えば、家事支援など。
- 要介護者が二人いて、大変。介護する人への補助等の対策がほしい。
- 介護者のための支援策見直しを是非してほしい。例えば、生活援助（調理）は介護者は自費ですが、高齢・持病などの介護者の実態も考慮していただきたい。

その他：懸念、不安、要望

- 認知症ということもあって、個人個人全く内容が違う過ごし方を加味して、ボランティアの方に頼むなどして、それぞれの希望のリクリエーションに付き合ってもらってほしい。
- 話し相手や、近くの公園などに集まってできる手軽なレクリエーションなどをしてくださると参加しやすい。近いというのと、手軽に参加できるものがあると助かります。
- 難聴で、電話による会話もできない。もっぱら FAX で連絡しているが、何か支援してもらえないだろうか。
- 身障者手帳も持ってはいるが、80歳を過ぎて視力がほとんどなくなったので、歩行訓練等、受けてもなかなか吸収できない。今は何とか一人で暮らしているが、全く見えなくなっても、目だけではなかなか要介護にはならないと聞いている（現在は要支援1）。サービスには制限があるので心配。
- 車椅子のまま入場できる「さざなみホール」を使用して、身障者向けイベント（音楽鑑賞、演劇など）を企画してほしい。
- もっときめ細かなサービスがあるとよいです。
- 要支援1ですが、大腿骨骨折後、杖を使用して、歩行や立ち上がりが困難な状態なのに、ベッドのレンタルが介護保険で利用できない。現在、自費でレンタルしています。毎日の生活を維持していくうえでも、レンタルを認めていただきたい。

相談、情報の提供について

相談、ネットワークなど

- 居宅介護者の横のつながりがない。
- 市役所から直接声をかけて説明してほしい。こちらから相談に行くのではなく。
- 困っていることを詳しく地域包括支援センターへ相談しても「へ連絡します」と言ったままで、どこからも連絡がなく現在に至っております。頼りにしているのが市役所の窓口ですが、窓口は混んでいるし、担当者はいないの一点ばかり。私一人で悩んでおります。
- 相談しやすい窓口がほしい。
- 一人暮らしの要介護者と離れて住んでおり、とても困っています。もっと近くの民生委員の方が相談にのっていただきたいと思います。市役所の方がよく相談にのっていただきましたが、その前は介護センターのことなど、いろいろ知りませんでした。
- 子どもが何人かいる場合など、介護者が複数いる場合、誰が介護するのか、介護費用の分担をどう決めるか等、介護者間のトラブルが発生します。このようなトラブルの解消の例など、方法を相談できる窓口を設けてほしい。
- 介護サービスの実態が良く分からない。身近に相談する人もなく、サービス等、何も分からない。
- 戸塚では民生委員に相談をしていましたが、逗子では居るのが分からない。
- 妻が入所しているため独居であるが、いまだ、公的な面で、民生委員を含め福祉関係者が、この7年間一度も生存確認等のケアがない。自己申告しなければ、全く関係ないのかと思う。
- 福祉サービスにはとても助かっていますが、相談相手がほしいです。

情報の提供

- 施設の利用を求め、紹介を期待して行っても資料の提供のみでは少々期待はずれ。斡旋ではなくても、それに近い紹介があってもいいのではないかと思います。
- 福祉サービスを知りたいと思うが、ケースワーカーさんを通さなければ分からないことが不自由。
- 往診してくれる医師、医院の情報、利用できるサービスの情報についての提供をしてほしい。
- 介護に慣れない人のための、初歩的な知識の提供があったら良い。
- 市のサービスはよく分からないので、ケアマネジャー経由での提案がありがたい。今後もそうしてほしい。
- 高齢者保健福祉サービス、支援の情報提供があれば良いと思う。
- 介護内容の分かりやすい説明書がほしい。
- 老老介護をしながらもおかげさまで現在何とか過ごしていますが、今後さらに高齢になったときのことを考え、各施設の入居条件等が詳しく分かればと思います。
- 介護制度そのものの説明会等の実施を希望したい。
- 介護制度の予算の制限は十分承知しているが、ケアマネジャー、介護者が知識不足であり、法的なことは詳しいが、全体の情報不足。市役所窓口も同様。
- 食事について、いつも咳き込んで苦労しています。大きさに気をつけたり、とろみをつけたりしていますが思うように食事がとれません。高齢者の食事について、アドバイスがほしいです。要介護者は1人では立ち上がることができません。私1人では力が足りません。あまり力をいれずに椅子に座らせたり、寝かす方法の講習会など開いていただくと助かります。
- 現在は一番近いサービス事業所を利用していますが、デイケア内容を他の事業所と比べることができ、一番利用したいと思うところを見つけることができたかと思っています。

施設について

- 介護療養型施設に現在申し込み、1年経過待ちである。料金の高い個室をもっと減らして、多床室化をはかり、利用率向上と低料金化をはかることを行政指導していただきたい。
- 逗子市では要介護4以上になり特養に入所したくても入れません。施設の充実をはかってください。
- 公立の施設は金額が安いので、待機的人数が多く、なかなか入所できない。
- 認知症の人が自宅で暮らすには、一日中見守りが必要なもので、同居する家族が一人では無理です。軽費で入れる施設を増やしてほしい。
- 特養の申し込み：各施設を個人がひとつひとつ訪問して申し込むのは、高齢な家族にとって大変なことです。どこかに（市？）一括の窓口を作って、そこへ申し込むわけにはいきませんか。
老健と特養の費用：必要総額として、第3段階から第4段階へ、がくっと費用が増えるのはなぜでしょうか。もう少し細かく段階を決めて、第5段階以上にいくつかの段階を作って、応分の負担を求めたいと思います。
高齢者対応の賃貸住宅：このごろ耳にしますが、目的主旨はどこにあるのか。具体的に、どのようなものなのか分からない。周知のため、行政のアクションを望みます。
- 施設を増やしてほしい。
- 特養老人ホーム、グループホームが足りない。
- 将来、特別養護老人ホームを利用したいと思っているが、現在逗子市には2か所しかないのではなかなか困難な状況です。もちろん要介護度が重度な人から入所していることは理解できますが、高齢者比率の高い逗子市の状況からすると、特養が2か所だけというのは、いささか理解しにくいところです。また、本人の居住地以外の特養には入所困難（居住者優先）ということだと尚更ということですか。例えば、鎌倉・逗子・葉山・三浦などの広域を一地域として対応できないものでしょうか？
- いまだに特養老人ホームに入所ができず、市内病院に入院中です。病院は衛生面等の問題から、紙おむつ等の持込ができず、支援サービスの利用ができません。自己負担金が出ていく一方です。早く入所できるように手伝っていただけるようなサービスを希望します（介護者が直接施設等に問い合わせるのではなく、パイプ役になっていただけるようなサービス）。

感謝など

- おむつ支給は助かっています。
- 昔に比べ、係りの方たちは親切に相談にのってくださるようになりました。これからもよろしくお願ひします。
- 介護者が高齢で体の動きが思うようでなく、福祉施設への入所でお世話になっており本当にありがたいと思っています。
- 同封してくださった福祉サービス一覧を見て、初めて知りました。ありがとうございました。
- 家族介護者リフレッシュ事業：このような機会を与えてくれると出かける気分になり有難い。
- 私が県外に住んでおり仕事もあるため、毎週のふれあいゴミ収集は本当にありがたいサービスで感謝しています。
- 福祉給食サービスを利用していますが、1人で出かけられないので助かっています。
- 社会福祉協議会から、週1回2時間、買い物と掃除に来てくださいます。感謝しています。
- 玄関外の階段に手すりをつけていただき、1割負担で済んで、とてもありがたく思いました。

- デイサービス、ケアマネジャー、施設の方に大変良くしていただいております。
- 息子家族・娘家族全員で在宅を希望し、そのなかで介護サービスをケアマネジャーと相談しながらなので、とても満足しています。現在の所、安心しながら生活しています。
- ケアマネジャーと相談しているので心配なく生活している。なんでも相談できる。

その他

- 本人がもっと大変にならないと、今のところどうしたらよいか見当がつきません。
- 在宅介護で介護者が高齢化した場合、どうなるのだろうか。
- 10ヶ月ぐらい、ショートステイを使用していましたが、施設の物（水道コード等）を壊して、断られました。直接電話をかけて知らせてくれると早く処置できたのではないのでしょうか。
- 車の運転や銀行へ行くなどお金の管理ができる人が、ご主人が家にいるとうとうしいからという理由で、デイサービスを週3日も受けているという人がいます。もっと審査を厳しくして、介護保険の無駄使いをなくしてもらいたい。

逗子市介護保険事業計画策定

要介護認定者調査・介護者調査結果報告書

2008年（平成20年）3月

発行 逗子市福祉部介護保険課

〒249 - 8686 逗子市逗子5丁目2番16号

電話 046 - 873 - 1111

FAX 046 - 873 - 4520